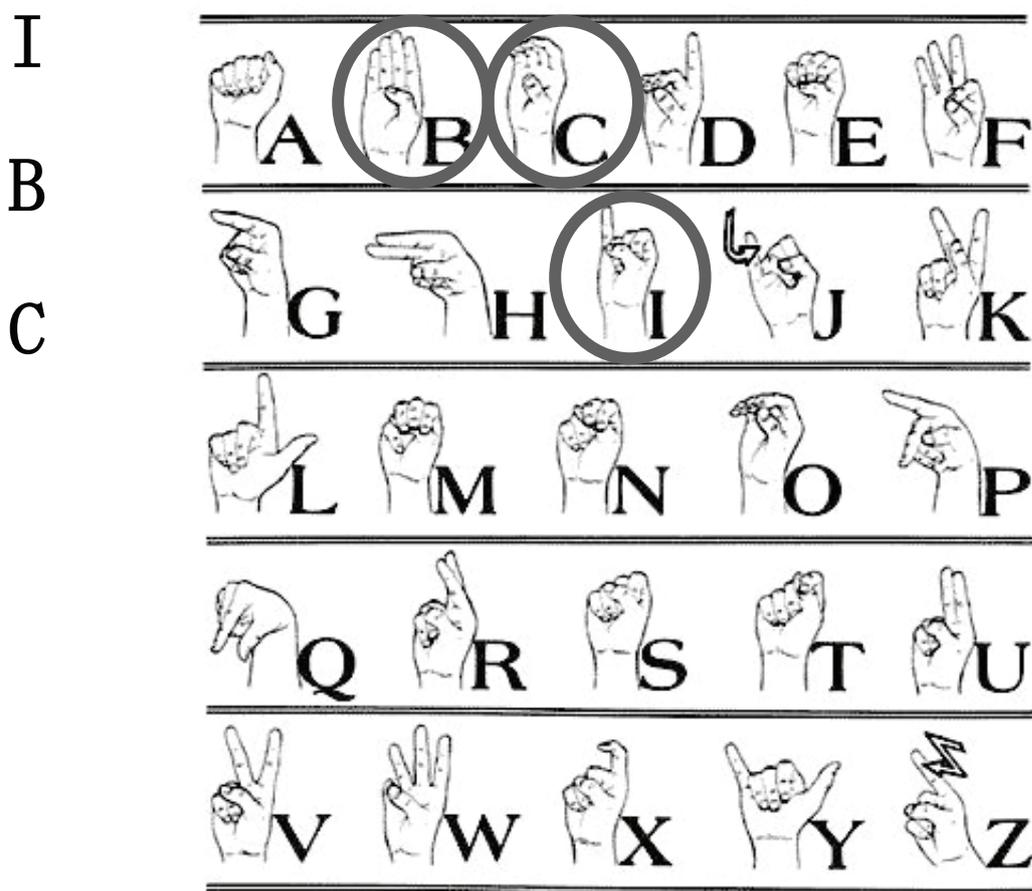


2024年度 前期 シラバス



クラス		名前	
-----	--	----	--

専門学校西鉄国際ビジネスカレッジ

<目次>

共通	P1 ~ 17
ホテル・ブライダル	P19 ~ 46
エアライン	P47 ~ 77
鉄道	P79 ~ 102
国際ホテルマネジメント	P103~ 141
国際ビジネス	P143 ~ 172
IT ビジネス	P173 ~ 185
夜間総合観光	P187 ~ 197

共通

学年	科目名	クラス
1	TOEIC I	APMCZ①
1	TOEIC II	APMCZ①
1	英検対策 I・II	APMCZ②~⑦
1	コンピュータ	A、P、Z
1・3	ビジネスマナー・ビジネス能力検定	P、C、M、Z、G、U
1	SPI言語対策	GP
1	SPI非言語対策	GP
1、2	観光英語	QC
1、2	コミュニケーションイングリッシュ	CY
1、2	韓国語	E、N、Y、P
1、2	中国語	E、N、P
2	選択TOEIC	ECP
2	フランス語	E
2	フロントオフィス	ES
2	コンピュータ	NS
2	サービス接客検定対策	NY

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	ホテル・フライダル・エアライン・鉄道 国際ビジネス・夜間総合観光科	
科目名	TOEIC I			クラス	APMCZ①	
担当講師(フルネーム)	挽田雅子			実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	TOEICの試験形式に慣れ、聴解力、語彙力、読解力の強化をめざす。 TOEIC頻出の文法事項を理解する。			授業形態	講義	
到達目標	TOEIC試験で目標スコアを獲得する					
使用テキスト	公式TOEIC LISTENING & READING 問題集10					
成績評価方法	・期末試験・単元試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	Part1	授業の進め方、評価方法の説明 写真をチェックする 人物、風景と物、乗り物についての表現				
2回	Part2(2)	Yes/No疑問文 付加疑問文 平叙文				
3回	Part3(1)	Part3の攻略の基本を学ぶ 音のひっかけに注意する 練習問題				
4回	Part3(3)	設問を先に読む 図・イラスト問題を攻略する 選択肢を読む				
5回	Part4(2)	場所を問う問題 職業を問う問題 次の行動を問う問題				
6回	Part5(1)	Part5の攻略の基本を学ぶ 品詞問題 名詞の形と役割を理解する				
7回	Part5(3)	動詞の形と役割を理解する 時制 能動態と受動態				
8回	Part5(5)	代名詞 適切な格を判断する 可算名詞・不可算名詞				
9回	Part5(7)	Part5のまとめ 単元テスト 前置詞と接続詞の練習問題				
10回	Part6(2)	「文挿入問題」の解き方を学ぶ 空所の前後の内容をリンクさせるキーワードに注意する 練習問題				
11回	Part7(2)	ウェブページ、用紙を読む 文脈を意識して読む 練習問題				
12回	模試	リスニング模試 Part1/Part2/Part3/Part4 答え合わせと解説				
13回	模試復習	リーディング 文法 読解				
14回	期末試験対策	語彙問題 文法問題 読解問題				
15回	IPテスト対策	リーディング対策 文法・語彙問題 読解問題				

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	ホテル・フライダル・エアライン・鉄道 国際ビジネス・夜間総合観光科	
科目名	TOEIC II			クラス	APMCZ①	
担当講師(フルネーム)	挽田雅子			実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	TOEICの試験形式に慣れ、聴解力、語彙力、読解力の強化をめざす。 TOEIC頻出の文法事項を理解する。			授業形態	講義	
到達目標	TOEIC試験で目標スコアを獲得する					
使用テキスト	公式TOEIC LISTENING & READING 問題集10					
成績評価方法	・期末試験・単元試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	Part2(1)	Part2の攻略の基本を学ぶ WH疑問文を聞きとる キーワードをとらえる				
2回	Part2(3)	「許可」「依頼」「提案」の応答の典型を覚える 音のひっかきに注意する 練習問題				
3回	Part3(2)	設問を先に読む 設問の意味を単純化する 選択肢を読む				
4回	Part4(1)	Part4の攻略の基本を学ぶ 設問の順番に沿ってヒントを聞きとる お知らせや電話のメッセージを聞く				
5回	Part1~4	Listeningのまとめ 単元テスト				
6回	Part5(2)	品詞問題 形容詞の形と役割を理解する 副詞の形と役割を理解する				
7回	Part5(4)	準動詞の形と役割を理解する 不定詞・動名詞の練習問題 分詞の形と用法について理解する				
8回	Part5(6)	前置詞の用法について理解する 接続詞の用法について理解する 前置詞と接続詞の練習問題				
9回	Part6(1)	Part6の攻略の基本を学ぶ 設問を分類する 文法・語彙問題を解く				
10回	Part7(1)	Part7の攻略の基本を学ぶ 短い文章から取り組む クーポン、メモを読む				
11回	Part7(3)	広告、テキストメッセージを読む テキストメッセージは書き手の関係を整理して読む 時間を管理する				
12回	模試	リーディング Part5/Part6/Part7 答え合わせ				
13回	IPテスト対策	リスニング対策 よくある場面と設問 頻出語彙				
14回	期末試験	Part5/Part6/Part7 単語プリント				
15回	まとめと復習	期末試験のフィードバック 文法・語彙問題 読解問題				

対象学年	1年	学期	通年	学科	ホテル・フライダール、エアライン、鉄道 国際ビジネス、夜間総合観光科	
科目名	英検対策 I & II			クラス	APMCZ	
担当講師(フルネーム)	平島千華、日高郁子、加藤亜希、脇谷奈々、榎本美和子			実務経験	有	
授業概要(内容)	英検各級の語彙、文法についての解説等 注:各クラスで取得目標級が異なる為、授業内容や進度はそれぞれ異なる。			授業形態	講義	
到達目標	英検2024年度第1回に合格できる力をつける。					
使用テキスト	2024年度版 英検過去6回全問題集(旺文社)					
成績評価方法	・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	4
期末試験	15週の授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	2023年度第2回検定問題	語彙問題 会話問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。				
2回	2023年度第2回検定問題	長文問題、語彙を学ぶとともに英文の基本構成を学ぶ。 作文指導(取得目標級により異なる) 文型、熟語の習得及び作文指導に於いては、自己の意見を表現できるようにする。				
3回	2023年度第2回検定問題	リスニング問題 英作文指導 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。				
4回	2023年度第2回検定問題	語彙問題 会話問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。				
5回	英作文指導 リスニング	作文指導(取得目標級により異なる) 2023年度第2回検定問題での未修得箇所の再学習。 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。				
6回	2023年度第2回検定問題	語彙問題 会話問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。				
7回	2023年度第2回検定問題	長文問題 語彙を学ぶとともに英文の基本構成を学ぶ。 文型、熟語の習得及び作文指導に於いては、自己の意見を表現できるようにする。				
8回	2024年度第1回検定 解答解説	2024年度第1回検定解答、解説 自身の弱点研究 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。				
9回	2023年度第1回検定問題	長文問題 語彙を学ぶとともに英文の基本構成を学ぶ。 文型、熟語の習得及び作文指導に於いては、自己の意見を表現できるようにする。				
10回	2023年度第1回検定問題 二次試験対策	リスニング問題 英作文問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。				
11回	2023年度第1回検定問題 二次試験対策	語彙問題 会話問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。				
12回	2023年度第1回検定問題 二次試験対策	長文問題 語彙を学ぶとともに英文の基本構成を学ぶ。 文型、熟語の習得及び作文指導に於いては、自己の意見を表現できるようにする。				
13回	2022年度第3回検定問題	リスニング問題 英作文問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。				
14回	2022年度第3回検定問題	長文読解 英作文問題 リスニング問題				
15回	期末試験	前期授業総括 期末試験解説 前期総復習				

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	ホテル・エアライン・ITビジネス科	
科目名	コンピュータ			クラス	A P G	
担当講師(フルネーム)	乙咩 清美			実務経験	有(通信業界勤務歴)	
授業概要(内容)	タイピング、ビジネスレター(文書、メール等)を繰り返し練習する。 ビジネス文書のルール、ファイル管理を練習する。			授業形態	講義&演習	
到達目標	Microsoft Wordの基礎知識を学び、タイピングスキルと、就活や社会人として必要なITスキルを身につける					
使用テキスト	実教出版 30時間でマスターOffice2019					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	IT基礎	OAルームの使用について 授業の進め方・その他の確認、ファイルとフォルダの操作・クラウドについて ウィンドウズについて、タイピングスキルチェック、自己紹介カードの入力				
2回	Word基礎	キーボード操作(様々な入力方法やショートカットキーの活用) ビジネス文書作成(社内文書) ※ページ設定、文字書式、文字のコピー・削除・移動など、ファイル保存について				
3回	Word基礎	タイピング練習 ビジネス文書作成(社内文書) ※表作成、ビジネス文書の基本など				
4回	Word基礎	タイピング練習 ビジネス文書作成(社内文書) ※画像の挿入、図形描画など				
5回	Word基礎	タイピング練習 ビジネス文書作成(社外文書) ※ビジネス文書の基本、箇条書きなど				
6回	Word基礎	タイピング練習 ビジネス文書作成(社外文書) ※ページ設定、文字書式、段落書式(箇条書き・均等割り付け)				
7回	Word基礎	タイピング練習 ビジネス文書作成(社外文書) ※送付状やお礼状の練習				
8回	Word基礎	タイピング練習 ビジネス文書作成(社外文書) ※送付状やお礼状の練習				
9回	Word基礎	タイピング練習 ビジネス文書作成(ビジネスレター、ビジネスメール) ※ビジネスメールの基本、書き方				
10回	Word基礎	タイピング練習 ビジネス文書作成(ビジネスレター、ビジネスメール) ※ビジネスメールの基本、書き方				
11回	Word基礎	タイピング練習 ビジネス文書作成(チラシ・ポスター作成) ※画像の挿入、図形描画・ワードアートなど				
12回	Word基礎	タイピング練習 ビジネス文書作成(チラシ・ポスター作成) ※画像の挿入、図形描画・ワードアートなど				
13回	Word基礎	タイピング練習 ビジネス文書作成(今までの復習)				
14回	前期期末試験	前期期末試験実施				
15回	Word基礎	タイピング練習 期末試験解説・ビジネス文書作成(ポストカード作成) 写真や画像の挿入・スマホ画像の活用など				

対象学年	1・3年共通	学期	通年(前期)	学科	国際ビジネス・夜間総合観光・国際ホテルマネジメント科	
科目名	ビジネスマナー			クラス	CZU	
担当講師(フルネーム)	池田香織			実務経験	有(鉄道業界勤務歴)	
授業概要(内容)	・社会人になるための心構え、また専門学校での過ごし方を学ぶ			授業形態	講義	
到達目標	・社会の仕組みの理解と社会人としてのビジネスマナーを習得させる。					
使用テキスト	ビジネス能力検定 3級テキスト 2024年度版					
成績評価方法	・期末試験60%平常点40% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	授業内容、成績評価方法				
2回	第1編 ビジネスと コミュニケーションの基本	第1章 キャリアと仕事へのアプローチ				
3回	第1編 ビジネスと コミュニケーションの基本	第2章 仕事の基本となる8つの意識				
4回	第1編 ビジネスと コミュニケーションの基本	第3章 コミュニケーションとビジネスマナーの基本 ・身だしなみ、あいさつ、おじぎ、仕事時のマナー				
5回	第1編 ビジネスと コミュニケーションの基本	第4章 指示の受け方と報告・連絡・相談				
6回	第1編 ビジネスと コミュニケーションの基本	第4章 指示の受け方と報告・連絡・相談				
7回	第1編 ビジネスと コミュニケーションの基本	第5章 話し方と聞き方のポイント ・敬語の種類と必要性				
8回	第1編 ビジネスと コミュニケーションの基本	第6章 来客対応と訪問の基本マナー				
9回	第1編 ビジネスと コミュニケーションの基本	第7章 会社関係でのつき合い				
10回	第2編 仕事の実践と ビジネスツール	第1章 仕事への取り組み方 第2章 ビジネス文書の基本				
11回	第2編 仕事の実践と ビジネスツール	第1章 仕事への取り組み方 第2章 ビジネス文書の基本				
12回	第2編 仕事の実践と ビジネスツール	第3章 電話対応				
13回	第2編 仕事の実践と ビジネスツール	第4章 統計・データの読み方・まとめ方				
14回	第2編 仕事の実践と ビジネスツール	第5章 情報収集とメディアの活用				
15回	期末試験	期末試験 前期授業のまとめ				

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	エアライン科・ITビジネス科	
科目名	SPI言語対策			クラス	PG	
担当講師(フルネーム)	前田 恭子			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	就職試験の筆記試験(SPI言語、一般常識)への対策授業			授業形態	講義	
到達目標	就職筆記試験の点数を確実に取るために基礎学力の向上を目指す					
使用テキスト	一般常識と時事問題をひとつひとつわかりやすく(Gakken)					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	目指せ「漢検2級」	授業の進め方、評価方法、課題についての説明 漢字検定模擬試験(現在取得している級より上の級の問題に挑戦する)				
2回	地理基礎知識(1)	日本地理について知識を確認する (日本の国土、都道府県庁所在地、政令指定都市、領土問題)				
3回	地理基礎知識(2)	世界地理について知識を確認する (世界地図、主要都市の首都、時差)				
4回	地理基礎知識(3)	日本と地球の環境問題について学ぶ 時事問題で扱われる国や地域について学ぶ				
5回	国際(1)	国際連合のしくみについて学ぶ (主要機関、専門機関)				
6回	国際(2)	ヨーロッパ連合および地域協定について学ぶ 経済や安全保障にかかわる条約や機関を学ぶ				
7回	国際(3)	主要国首脳会議(G7サミット)について学ぶ				
8回	政治(1)	日本国憲法について学ぶ (三権分立、国会のしくみ)				
9回	政治(2)	内閣と行政について学ぶ (内閣のしくみ、省庁とその役割)				
10回	政治(3)	裁判所について学ぶ (裁判所のしくみ、裁判員制度)				
11回	政治(4)	地方自治について学ぶ (地方自治体の組織、直接請求権、地方財政)				
12回	経済(1)	経済の三主体について学ぶ (家計・財政・企業のしくみ)				
13回	経済(2)	市場経済と景気について学ぶ (需要・供給、景気変動)				
14回	経済(3)	金融について学ぶ (日本銀行の役割、為替相場、主要国の通貨単位)				
15回	前期のまとめ	前期で学習した内容を復習 夏季休暇中の課題について説明				

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	エアライン・ITビジネス科	
科目名	SPI非言語対策			クラス	クラス	GPクラス
担当講師(フルネーム)	榎木田裕夫			実務経験	無	
授業概要(内容)	SPIは企業がおこなう就職試験です、授業では非言語(数学系)の得点差が付きやすい計算問題や様々な論理問題を解きます。			授業形態	講義	
到達目標	SPI、玉手箱、SCOAなどの採用試験が解ける計算力や論理的思考能力を身につける。					
使用テキスト	SPI基本問題集(大和書房)					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション	SPIの説明、計算演習				
2回	四則計算1	小数、分数から一次方程式までの計算演習				
3回	四則計算2	計算演習の応用				
4回	割合の問題	百分率や比を使った問題を解く				
5回	金銭の問題1	精算を求める問題				
6回	金銭の問題2	損益を求める問題を解く①				
7回	金銭の問題3	損益を求める問題を解く②				
8回	速度算1	速さを求める基本計算を確認する 単位を変えた時の計算を正確に行う				
9回	速度算2	濃度算の標準的な問題を解く				
10回	速度算3	濃度算の応用問題を解く				
11回	代入法の問題	表中のA、B、C、D、Eにあたる数を代入して式の答えを求める				
12回	濃度算1	食塩水の濃度の基本問題を解く 公式を理解する				
13回	濃度算2	濃度算の標準的な問題を解く				
14回	濃度算3	濃度算の応用問題を解く				
15回	期末試験	前期のまとめ、期末試験				

対象学年	1・2年共通	学期	通年(前期)	学科	エアライン・国際ビジネス科	
科目名	観光英語			クラス	QC	
担当講師(フルネーム)	秋満陽子・挽田雅子・平島千華			実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	エアライン・観光ビジネスに必要な英語の語彙と表現を学ぶ プロとして必要な英語コミュニケーションを場面に応じて学ぶ			授業形態	講義	
到達目標	航空・観光系の英語を身につける。接客に必要な英語表現を学び、実際に会話ができるようになる。					
使用テキスト	English for Tourism Professionals					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	Unit1(1) Recommending a tour	イントロダクション(授業内容、評価方法について) 旅行の情報を英語で伝える ツアーの案内				
2回	Unit1(2) Recommending a tour	Dialogue at a Travel Agency Pair Speaking Practice Role Play				
3回	Unit2(1) Taking a tour booking	ツアーの予約を受ける お客様の情報を入手する 支払いの手続きをする				
4回	Unit2(2) Taking a tour booking	Dialogue at a Travel Agency Pair Speaking Practice Role Play				
5回	Unit5(1) Taking an airline reservation	時刻、日付、便名、電話番号の読み方 予約や問い合わせの電話に対応する Vocabulary and Useful Expressions				
6回	Unit5(2) Taking an airline reservation	Dialogue at an Airline Office Pair Speaking Practice Role Play				
7回	Unit5(3) Taking an airline reservation	予約と支払いに関する情報を読む フライトアテンダントの募集要項を読む 質問に答える				
8回	Unit6(1) Giving flight information	時差の知識 フライトの情報、予約の確認や変更についての電話に対応する Vocabulary and Useful Expressions				
9回	Unit6(2) Giving flight information	Dialogue at an Airline Office Pair Speaking Practice Role Play				
10回	Unit6(3) Giving flight information	E-ticketの内容を読み取る お客様宛の手紙を読む 質問に答える				
11回	Unit7(1) Helping passengers check in	空港のチェックインカウンターでの対応について学ぶ チェックインから搭乗までの流れを確認する Vocabulary and Useful Expressions				
12回	Unit7(2) Helping passengers check in	Dialogue at the Airline Check-in Counter Pair Speaking Practice Role Play				
13回	Unit7(3) Helping passengers check in	荷物の許容範囲に関する説明書を読む オンラインチェックインの方法の説明を読む 質問に答える				
14回	期末試験	Unit1(1)(2)/Unit2(1)(2) Unit5/Unit6/Unit7				
15回	まとめと復習	前期の復習 期末試験のフィードバック				

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	国際ビジネス科、夜間
科目名	コミュニケーションイングリッシュ			クラス	CZ
担当講師(フルネーム)	Tim Orris			実務経験	無
授業概要(内容)	Doing self introductions. Making various presentations about oneself with a lot of partner work. A lot of vocabularies. Practicing role plays. Understanding various culture points.			授業形態	講義
到達目標	To improve students' fluency and ability to use simple English at work and socially. To raise their confidence levels using simple English by creating more opportunities for the students to speak.				
使用テキスト	Challenge book #4、Takeoff!、Warm-up Booklet 2、Vocabulary Book (Noun)				
成績評価方法	・期末試験50% 平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施				
	テーマ		授業内容		
1回	Orientation Warm Up: P1, Vocabulary: P1 Challenge Book: P9 Dialog 1		Orientation: Explanation about Class rules Q&A: Personal Information Nouns starting with A, Role play with Take off!		
2回	Warm Up: P2, Vocabulary: P1 Challenge Book: P9 Dialog 1		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Personal Information Sentences using nouns starting with A, Role play with Take off!		
3回	Warm Up: P3, Vocabulary: P2 Challenge Book: P10 Dialog: 2		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: Introducing a Friend Nouns starting with B, Role play with Take off!		
4回	Warm Up: P4, Vocabulary: P2 Challenge Book: P10 Dialog: 2		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: Introducing a Friend Sentences using nouns starting with B, Role play with Take off!		
5回	Warm Up: P5, Vocabulary: P3 Challenge Book: P11 Dialog: 3		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Family Test Nouns starting with C, Role play with Take off!		
6回	Warm Up: P6, Vocabulary: P3 Challenge Book: P11 Dialog: 3		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Family Test Sentences using nouns starting with C, Role play with Take off!		
7回	Warm Up: P7, Vocabulary: P4 Challenge Book: P12 Dialog: 4		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: My Family Presentation Nouns starting with D, Role play with Take off!		
8回	Warm Up: P8, Vocabulary: P4 Challenge Book: P12 Dialog: 4		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: My Family Presentation Sentences using nouns starting with D, Role play with Take off!		
9回	Warm Up: P9, Vocabulary: P5 Challenge Book: P13 Dialog: 5		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Sports Interview Nouns starting with E, Role play with Take off!		
10回	Warm Up: P10, Vocabulary: P5 Challenge Book: P13 Dialog: 5		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Sports Interview Sentences using nouns starting with E, Role play with Take off!		
11回	Warm Up: P11, Vocabulary: P6 Challenge Book: P14 Dialog: 6		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: My Favorite Sport Nouns starting with F, Role play with Take off!		
12回	Warm Up: P12, Vocabulary: P6 Challenge Book: P14 Dialog: 6		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: My Favorite Sport Sentences using nouns starting with F, Role play with Take off!		
13回	Warm Up: P13, Vocabulary: P7 Challenge Book: P15 Dialog: 7		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Cuisine Interview Nouns starting with G, Role play with Take off!		
14回	Warm Up: P14, Vocabulary: P7 Challenge Book: P15 Dialog: 7		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Cuisine Interview Sentences using nouns starting with G, Role play with Take off!		
15回	Warm Up: P15, Vocabulary: P8 Challenge Book: P16 Dialog: 8, Test		Oral Test Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab, Presentation: My Favorite Restaurant Nouns starting with H, Role play with Take off!		

対象学年	1・2年共通	学期	通年	学科	エアライン・鉄道・夜間総合観光科	
科目名	韓国語			クラス	PMY	
担当講師(フルネーム)	権京愛			実務経験	無	
授業概要(内容)	教科書主体に文法を確実に身に付けさせ、毎回の授業には必ず演習を取り入れ、「読む、聞く、話す、書く」の4技能をまんべんなく学ばせる。			授業形態	講義	
到達目標	将来仕事で活用できるように会話練習を通してコミュニケーション能力を身につけさせることを目標とする。					
使用テキスト	韓国語の世界へ「入門編」朝日出版					
成績評価方法	・期末試験50% 平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	文字と発音Ⅰ	ハングル誕生の背景や韓国語の特徴を知ろう！ 単母音を覚える。 発音と読み書き練習をする。				
2回	文字と発音Ⅱ	半母音を覚える。 発音と読み書き練習をする。 簡単な挨拶表現を覚え、授業中に使えるように練習する				
3回	文字と発音Ⅲ	初声(平音)と発音の規則(有声音化)を覚え、正しく発音できるようにする。 発音と読み書き練習をする。 関連単語の読み書きの練習をし、単語の意味を覚える。				
4回	文字と発音Ⅳ	二重母音と発音の規則(連音化)を覚え、正しく発音できるようにする。 発音と読み書き練習をする。 関連単語の読み書きの練習をしながら単語の意味を覚える。				
5回	文字と発音Ⅴ	初声(激音)を覚え、正しく発音できるようにする。 発音と読み書き練習をする。 関連単語の読み書きの練習をしながら単語の意味を覚える。				
6回	文字と発音Ⅵ	初声(濃音)を覚え、正しく発音できるようにする。 発音と読み書き練習をする。 関連単語の読み書きの練習をしながら単語の意味を覚える。				
7回	終声(パッチム)	パッチムの仕組みを理解し、覚える。 発音と読み書き練習をする。 関連単語の読み書きの練習をしながら単語の意味を覚える。				
8回	ハングル表記と教室用語	ハングルで自分の名前を書く練習をする。 授業中、毎回使う用語とフレーズを覚える。 発音の規則(濃音化)を覚え、正しく発音できるようにする。				
9回	発音の規則	「激音化」の呼び方を覚え、正しく発音できるようにする。 短文を作って練習をする。 クラスメートと会話練習をする。				
10回	「助詞～が」	文の主語をあらする助詞を覚える 例文を作って練習をする。 クラスメートと会話練習をする。				
11回	体言文「～です・ですか？」	「～です・～ですか？」の表現を覚える。 例文を作って練習をする。 クラスメートと会話練習をする。				
12回	体言文「否定表現」	「～ではありません・～ではありませんか？」の表現を覚える。 否定文の例文を作って練習をする。 日本語と異なる助詞を使う表現を覚える。				
13回	復習	復習問題を解く クラスメートと会話練習をする。				
14回	期末テスト	期末テスト 韓国文化の紹介				
15回	まとめ	テストのフィードバック				

対象学年	2年	学期	通年	学科	ホテル・ブライダル、鉄道、エアライン科	
科目名	中国語			クラス	ENPクラス	
担当講師(フルネーム)	青山 祐子			実務経験	無	
授業概要(内容)	中国語の基礎的な発音・文法・単語を習得し、簡単な会話文について			授業形態	講義	
到達目標	中国語の音読、語彙の使い方、文の表現しながら、業務上で使うリスニング能力と会話能力を高めることが目標です。					
使用テキスト	はじめまして！中国語(白水社)					
成績評価方法	・期末試験 50% 小テスト+発表 30% 授業態度+欠席回数等 20%				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	中国のについての理解	中国および中国語についての理解 教室の指示言葉 知って便利な呼称 ・ 知って便利な挨拶				
2回	中国語の発音	発音の練習(四声) 発音の練習(単母音) 発音の練習(唇音、舌尖音、舌根音、舌面音、そり舌音、舌歯音)				
3回	中国語の発音”母音” 声調の変化	発音の練習(重母音、鼻母音) 第3声+第3声→第2声+第3声などの練習 ※1回目小テスト				
4回	第1課校門で	1. 人称代名詞 2. 動詞”是”を使った文 3. ”吗”を使った疑問文				
5回	トレーニング1 第2課廊下で	4. 動詞述語文 5. 疑問詞疑問文(”什么”・”谁”) 6. 省略疑問文 ◇人の呼び方				
6回	トレーニング2 第3課キャンパスで	7. 指示代名詞 8. 形容詞述語文 9. ” ~的 ”				
7回	トレーニング3 第4課携帯を見ながら	10. 語気助詞”吧” 11. 所有を表わす”有” 12. 反復疑問文				
8回	トレーニング4	13. 数 詞 ※2回目小テスト				
9回	第5課学生食堂で	14. 場所を表わす代名詞 15. 存在を表わす”有”				
10回	トレーニング5	16. 副詞”也”と”都” 17. 二重目的語文 ◇方位詞				
11回	第6課王先生の研究室で	18. 動詞”在” 19. 動詞の重ね型 20. 時を表わす語の位置 ◇時を表わす語(1)				
12回	トレーニング6 第7課コンビニで	21. 量 詞 22. 実現・完了を表わす”了” 23. 助動詞”想” ◇”几”と”多少”				
13回	トレーニング7 前期総復習	今まで勉強した内容についてのおさらい				
14回	期末テスト	自己紹介の表現				
15回	業務上で使う会話練習	現場で実際に使う会話練習				

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	エアライン科 鉄道科 ホテルブライダル科
科目名	選択TOEIC			クラス	QNE
担当講師(フルネーム)	大神香寿沙 日高 郁子			実務経験	有
授業概要(内容)	1年時に身に着けた基礎文法力を強化。語彙力をあげてスコアアップにつなげる。シャドーイング、ディクテーションでリスニングを強化する。 ※レベルに合わせるためシラバス通りに進まない場合があります。			授業形態	講義
到達目標	各自の目標スコアを達成する。				
使用テキスト	TOEIC L&Rテスト書き込みドリル 全パート標準編 スコア650/プリント等				
成績評価方法	期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	Part1&5	1年の復習 Part1の解き方 Part1に特化した単語を覚えよう Part5品詞問題 テキストDay1&Day7			
2回	Part2&Part5	Part2の解き方 疑問詞で始まる疑問文 Part5 態 分詞 テキストDay3&Day8			
3回	Part3&Part5	Part3の解き方 問題の先読み 問題の取捨選択 森問題と木問題の見極め方 Part5 接続詞 前置詞 テキストDay12&Day9			
4回	Part4&Part6	Part4の解き方 問題の先読み 問題の取捨選択 森問題と木問題の見極め方 Part6 時制 代名詞 語彙 テキスト Day17&Day28			
5回	Part7	読解の基礎を身に着ける 詳細情報を特定する テキスト Day22&23			
6回	Part1&5	Part1 ものに関する描写 Part5 代名詞 関係代名詞 テキスト Day2			
7回	Part2,3&5	Part2 Yes, No疑問文 Part3 日常生活における会話 Part5 分詞構文 テキスト Day4&Day13			
8回	Part1&2	Part2 ステートメント 付加疑問文 テキスト Day5&Day6			
9回	Part6&7	Part6 つなぎ語 文選択 Part7 話の展開を読み取る テキスト Day24&29			
10回	Part3&4	Part3 オフィスでの会話 Part4 アナウンス 宣伝 会議 イベント テキスト Day14,15,18,19			
11回	模擬テスト (リスニング) Part7	模擬テストリスニング 解答 Part7 話の展開を読み取る テキスト Day24			
12回	模擬テスト (リーディング)	模擬テストリーディング 解答			
13回	模擬テスト復習 Part5	模擬テスト復習 解説 Part5 語彙問題 テキスト Day10&11			
14回	Part3&4	Part3 グラフィック問題 Part4 ニュース ラジオ放送 テキスト Day16,20&21			
15回	期末テスト	期末テスト(授業中に期末テストを行います)			

対象学年	2・3年共通	学期	通年	学科	ホテルプライダール科2年、国際ホテルマネジメント科3年
科目名	フランス語			クラス	AT
担当講師(フルネーム)	ニコラ ドゥ メニス			実務経験	有
授業概要(内容)	フランス語での挨拶から、簡単な自己紹介・フランス語での旅行のために、「何・どこ・いつ」などの質問と答え方まで。			授業形態	講義
到達目標	主に、皆さんが楽しく色んな勉強をしながら、フランスの文化を学ぶ。				
使用テキスト	Pascal au Japon & Spirale				
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験					
	テーマ	授業内容			
1回	Bonjour!	授業の流れの説明した上でフランスの文化等についてQ&A Bonjour! Je suis Nicolas. Je suis Français. J'aime le Japon. Etre動詞 / Lesson 1			
2回	自己紹介	自己紹介 J'habite à Fukuoka. Je travaille dans une école. -ER動詞 / Pascal 2			
3回	持っているもの・気分	私は何々を持ちます。私はお腹空いた。 J'ai une voiture. J'ai faim. Avoir動詞 / Lesson 3			
4回	趣味について	～が好きです。～好きですか？ J'aime la musique. Tu aimes la musique? Aimer動詞 / Lesson 4 / ミニテスト			
5回	パリ、フランスへ	パリに行きたいです。～見に行きたいです。Vouloir動詞 パリ・フランスについて何を興味あるかを話す。 Je veux aller à Paris. Je veux visiter le Louvre. テスト1回～4回			
6回	人の話	彼・彼女はだれですか？ / Qui c'est ? 仕事を覚えるためロールプレイ Lesson 5			
7回	誘い方	～しませんか？ Tu ne veux pas ... ? ～出来ますか？ Tu peux ... ? Pouvoir動詞 / Lesson 6			
8回	気持ち	お元気ですか？ Je vais bien. J'ai faim. J'ai soif. Aller 動詞 (Avoir・Etre動詞の復習) Lesson 7			
9回	場所や天気	～はどこですか？ 前・後ろ・隣など。 Où est ~ ? C'est devant, derrière, à Faire 動詞 Lesson 8			
10回	家族・形容詞	5回～9回 テスト 大城・小さい・男性名詞・女性名詞 Lesson 9			
11回	数字・歳・時間	何歳ですか？いくらですか？ Tu as quel age? C'est combien? 質問の作り方 Lesson 10			
12回	質問	どこ・いからの復習・ いつ・どうやって・なぜ・何時 -IR動詞 (Finir, Partir...) Lesson 11 + ミニテスト			
13回	質問ロールプレイ	皆でロールプレイ Comment tu t'appelles? Qu'est-ce que tu aimes? Lesson 12 + 試験の練習			
14回	試験	授業内で試験			
15回	パリを感じる	映画で文化を勉強する: Amélie			

対象学年	2年	学期	通年(前期)	学科	ホテル・ブライダル, 国際ホテルマネジメント	
科目名	フロント・オフィス			クラス	E,S	
担当講師(フルネーム)	中牟田登喜枝			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	ホテル業界フロント経験者が実務経験をもとにフロントオフィス業務を解説			授業形態	講義	
到達目標	基本業務知識を身につけ、ホテル全体の流れを理解する					
使用テキスト	ホテルテキスト宿泊I フロントオフィス編					
成績評価方法	・試験50% 実技・提出物・平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	授業内容、評価方法、実技について フロントオフィスの意義と役割 フロントオフィスの組織と業務				
2回	客室の種類	客室タイプ 料金シルテム				
3回	リザーベーション業務	予約業務の重要性 イールドマネジメント				
4回	リザーベーション業務	宿泊予約の種類 宿泊予約システム概要				
5回	リザーベーション業務	予約受付の流れ				
6回	リザーベーション業務	宿泊予約受付業務 ①電話予約の基本 ②キャンセルと変更 ③リザーベーションカード作製 ④キャンセルチャージ				
7回	リザーベーション業務	インターネット予約業務 宿泊予約におけるその他の業務				
8回	リザーベーション業務	通常予約の演習 ①				
9回	リザーベーション業務	通常予約の演習 ②				
10回	リザーベーション業務	予約変更、キャンセル演習				
11回	リザーベーション業務	予約、顧客情報更新				
12回	レセプション業務	レセプションサービス ルーム・アサインメント 接客マナー				
13回	レセプション業務	チェーンの手順 レジストレーションカード記入方法				
14回	レセプション業務	オーバーブッキングとダブルブッキングの対応方法 レイトチェンジとルームチェンジの処理方法				
15回	前期まとめ	前期項目の復習				

対象学年	2年	学期	通年(前期)	学科	鉄道・国際ホテルマネジメント 科
科目名	コンピュータ			クラス	N S
担当講師(フルネーム)	乙咩 清美			実務経験	有(通信業界勤務歴)
授業概要(内容)	タイピング、ビジネスレター(文書、メール等)を繰り返し練習する。 Excelを使って、データの集計や報告書などの練習をする。			授業形態	講義
到達目標	キーボード操作のマスター。Excel基礎を学び、自分のスキルとして定着させる。				
使用テキスト	実教出版 30時間でマスターOffice2019				
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数 2
期末試験	△ 授業中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	パソコンの活用	クラウドについて Microsoftアカウントの取得・確認とクラウド機能の使い方をマスターする。 データのダウンロードやアップロードをマスターする。			
2回	Word基礎	タイピング練習 ビジネス文書作成(社内文書) ※表作成、ビジネス文書の基本など			
3回	Word基礎	タイピング練習 ビジネス文書作成(社外文書) ※ビジネス文書の基本、箇条書きなど			
4回	Word基礎	タイピング練習 ビジネス文書作成(社外文書) ※ページ設定、文字書式、段落書式(箇条書き・均等割り付け)			
5回	Word基礎	タイピング練習 ビジネス文書作成(ビジネスレター、ビジネスメール) ※ビジネスメールの基本、書き方			
6回	Excel基礎	タイピング練習 Excel2019について、画面構成、文字・数値の入力と編集、テンキー練習 四則演算式と関数			
7回	Excel基礎	タイピング練習 表作成 関数(SUM・AVERAGE・COUNT・MAX・MINなど)			
8回	Excel基礎	タイピング練習 表作成・先週の確認 関数(SUM・AVERAGE・COUNT・MAX・MINなど)			
9回	Excel基礎	タイピング練習 表作成 グラフ作成(基本的な縦棒・横棒・折れ線・円グラフ)			
10回	Excel基礎	タイピング練習 表作成 相対参照と絶対参照、比率・割合を求める			
11回	Excel基礎	タイピング練習 表作成 関数(IF関数など)			
12回	Excel基礎	タイピング練習 表作成 関数(IF関数など)			
13回	Excel応用	タイピング練習 今までの復習			
14回	Excel応用	タイピング練習 今までの復習			
15回	後期期末試験	前期期末試験実施			

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	鉄道・夜間総合観光科
科目名	サービス接客検定				N・Y
担当講師(フルネーム)	榎本美和子			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	検定合格に向けて、サービス業務に対する考え方や態度・振舞いを学び、過去問解答演習をする。			授業形態	講義
到達目標	6月に行われるサービス接客検定2級合格				
使用テキスト	サービス接客検定実問題集2級(早稲田教育出版)				
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	オリエンテーション・過去問解説	授業内容・評価方法・サービス接客検定の説明 過去問解答 実務技能			
2回	過去問解説	過去問解答 対人技能			
3回	過去問解説	過去問解答 実務技能			
4回	過去問解説	過去問解答 サービススタッフの資質			
5回	過去問解説	過去問解答 サービススタッフの資質			
6回	過去問解説	過去問解答 サービススタッフの資質			
7回	過去問解説	模擬試験			
8回	過去問解説	弱点演習			
9回	答え合わせ	サービス接客検定受験後の答え合わせ			
10回	ロールプレイング	車内アナウンスの練習 話し方・声のトーンや大きさ・表情の練習			
11回	ロールプレイング	様々なシーンにおける接客の練習①			
12回	ロールプレイング	様々なシーンにおける接客の練習②			
13回	ロールプレイング	様々なシーンにおける接客の練習③			
14回	ロールプレイング	授業内期末試験			
15回	ロールプレイング	前期を振り返り総合練習			

ホテル・ブライダル

学年	科目名
1	レストランバンケットサービス
1	ソムリエ&バーテンダー
1	フロントサービス
1	ホテル総論
1	ホテル・ブライダル業界研究
1	ホテル英会話
1	ビジネスマナー
1	就職活動講座
1	和のサービス
1	ブライダル総論
1	ブライダルセールス
1	ペン字
2	フロントオフィス
2	ホテル英会話
2	コミュニケーションイングリッシュ
2	web広告戦略
2	HRS対策（筆記）
2	HRS対策（実技）
2	面接対策
2	就職活動講座
2	SPI言語対策
2	SPI非言語対策
2	セレモニープロデュースⅠⅡ
2選択	英語面接対策
2	総合英語
2	国際情勢
2	オンライン英会話

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	ホテル・ブライダル 科	
科目名	レストラン&バンケットサービス			クラス	A	
担当講師(フルネーム)	長野 美穂			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	レストランにおけるサービスの基本動作、知識を学ぶ HRS試験を意識した講義と実践を行う			授業形態	講義&演習	
到達目標	企業実習にむけて料飲サービスの基礎を身に付ける					
使用テキスト	なし					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	授業の目的と進め方、評価方法について説明する 身だしなみと歩き方のチェック 姿勢改善トレーニング、チェアサービス				
2回	料飲部門の概要	FB部門の特徴を知る テーブルクロスの取り扱い方				
3回	基本のサービス①	シルバーウェアの基礎知識と取り扱い方 テーブルセッティング				
4回	基本のサービス②	フランス料理のフルコース トレイサービス				
5回	基本のサービス③	グラスウェアの基礎知識と取り扱い方 トレイサービス徹底練習				
6回	レストラン用語	業界の専門用語 ナプキンの折り方				
7回	ドリンク①	コーヒーについて ウォーターピッチャーサービス				
8回	ドリンク②	ティーについて プレートサービス				
9回	ドリンク③	アンフュージョンについて プレートサービス				
10回	日本料理①	会席料理について 和室での立居振舞い実践				
11回	日本料理②	箸の持ち方実践 お鮎子の扱い方				
12回	その他の西洋料理	イタリアン サーバーサービス				
13回	期末試験課題発表	期末試験の課題を発表 練習				
14回	期末試験	実技試験 制限時間内に課題ロールプレイングを行う				
15回	前期まとめ	前期のおさらい 実技の復習				

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	ホテルブライダル科・国際マネジメント科
科目名	ソムリエ&バーテンダー			クラス	A・T
担当講師(フルネーム)	水田 勇太			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	酒類に興味を持ってもらい、レストラン・バー業務に活かすこと。現場での業務が円滑に行える、お客様との会話のツールにする。			授業形態	講義&演習
到達目標	バー・ラウンジにおける接客、お酒の基礎知識また、基本習得				
使用テキスト	ホテルテキスト料飲Ⅱ バー・ラウンジ編				
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	シラバス説明	前期講義概要、バー・ラウンジについて、ホスピタリティーとは			
2回	酒類の定義と分類	酒類の詳細			
3回	ワインの基礎知識	ワインの歴史、酒類			
4回	ワイン用ブドウについて	ワイン用ブドウ栽培、栽培地域、土壌について			
5回	スティルワインについて	スティルワインとは？ 醸造について			
6回	ワイン用ブドウ品種	ワイン用ブドウの種類と特徴。 ヴィンテージチャートの見方。			
7回	フランスワインについて	フランスワイン概要、主要産地の特徴			
8回	フランスワインについて	フランスワイン概要、主要産地の特徴			
9回	イタリア、ドイツワイン	イタリア、ドイツワインの特徴			
10回	その他ワイン産地	アメリカ、ニュージーランドなどのワインの特徴			
11回	ワインと料理の相性	ソムリエの役割、マリアージュ、ペアリングについて			
12回	ワインサービス実技	プレゼン、抜栓の練習			
13回	ワインサービス実技	スパークリング、白、赤ワインのサーブ。 ソー、パニエ、デカンタージュ、エアレーションについて 期末試験について			
14回	ワインサービス実技	ワインの表現、売上を上げるソムリエについて。 期末試験			
15回	前期まとめ	解答、復習			

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	フロント・サービス			クラス	A	
担当講師(フルネーム)	中牟田 登喜枝			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	ホテル業界での勤務経験のある教員がホテルでの基本的な知識を指導する			授業形態	講義	
到達目標	フロント・サービスとしての基本的な知識と技術を習得する					
使用テキスト	宿泊Ⅱ フロント・サービス編 ウイネット					
成績評価方法	・試験50% 実技・平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		授業スケジュール説明 成績評価説明 世界のホテル			
2回	第1章 宿泊部門の業務		組織と業務 フロント・サービスとは			
3回	第1章 宿泊部門の業務		フロント・サービスとはスタッフの基本 各種施設			
4回	第2章ドアマン		ドアマン業務の概要 お客さまの送迎			
5回	第2章ドアマン		玄関周辺での業務			
6回	第2章ドアマン		バレーサービス ドアマンの案内業務			
7回	第3章ベルマン		ベルマンとは			
8回	第3章ベルマン		接客サービスの種類			
9回	第3章ベルマン		ロビー管理			
10回	第3章ベルマン		その他の業務			
11回	第3章ベルマン		演習～挨拶から客室までの案内			
12回	第4章ベルマン		演習～パケッジダウンとお見送り			
13回	第5章クローク		クローク業務とは 作業手順			
14回	客室についての基礎知識		客室タイプと特徴 客室の設備、備品 ルームキーの種類と管理			
15回	前期まとめ		関連用語の確認とまとめ			

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	ホテル・ブライダル科
科目名	ホテル総論			クラス	A
担当講師(フルネーム)	小西翼			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	ホテルの歴史や基礎知識を学ぶ。			授業形態	講義
到達目標	ホテル業の基礎知識や今後の展望を学び、企業実習や就職活動等に役立てる。				
使用テキスト	なし				
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施				
	テーマ		授業内容		
1回	オリエンテーション 「ホテル」とは①		・自己紹介、前期の学習内容について説明、評価方法について説明 ・ホテルの役割 ・宿泊部の職種と仕事		
2回	「ホテル」とは②		料飲部の職種と仕事		
3回	「ホテル」とは③		ホテル内のその他の職種と仕事		
4回	ホテルの種類 様々な経営・運営方法		様々なホテルの種類とその名称 ホテルはどのように運営されているのか ホテルの商品の特性		
5回	日本を代表する 歴史あるホテル①		日本が誇る『ホテル御三家』		
6回	日本を代表する 歴史あるホテル② 観光立国		日本が誇る『ホテル御三家』 日本が目指す「観光立国」とは…		
7回	旅館業法 客室の名前、眺望の名前 ホテルの魅力		ホテルに関わる法律 客室や、そこから見える眺望について 「朝食が美味しいホテルランキング」		
8回	ホテルに関わる偉人 専門用語①		昨今のホテルの基礎を築き上げた、伝説のホテルエタたち ホテルで働く上で知っておきたい専門用語を学ぶ		
9回	専門用語②		ホテルで働く上で知っておきたい専門用語		
10回	専門用語③		ホテルで働く上で知っておきたい専門用語		
11回	専門用語④		ホテルで働く上で知っておきたい専門用語		
12回	宿泊約款 レピュテーションマネジメント		宿泊約款とは… 「レピュテーションマネジメント」とは…〇〇〇を管理すること！		
13回	ホテルの安全		日本のホテル史上最悪の人災から学ぶ		
14回	前期まとめ		前期の学習内容についてのまとめ、振り返り		
15回	期末試験		前期期末試験を実施		

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	ホテル ブライダル業界研究			クラス	A	
担当講師(フルネーム)	橋口 淳二			実務経験	有	
授業概要(内容)	ホテルやホスピタリティ産業に特化した講話を核とする。 業界に対しての学びと気付き知識を増やすレポート提出にて評価。			授業形態	講義	
到達目標	ホスピタリティ業界で使える知識を取得できる。					
使用テキスト	なし					
成績評価方法	レポート70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		ホテル ブライダル業界とは			
2回	この業界で働く意義		ホテル ブライダル業界の階層			
3回	業界について		ホテル ブライダル業界の動向			
4回	業界について		ホテル ブライダル業界の動向			
5回	業界について		ホテル ブライダル業界の動向			
6回	業界について		ホテル ブライダル業界の動向			
7回	業界について		ホテル ブライダル業界の動向			
8回	業界について		ホテル ブライダル業界の動向			
9回	業界について		ホテル ブライダル業界の動向			
10回	業界について		ホテル ブライダル業界の動向			
11回	業界について		ホテル ブライダル業界の動向			
12回	業界について		ホテル ブライダル業界の動向			
13回	業界について		ホテル ブライダル業界の動向			
14回	業界について		ホテル ブライダル業界の動向			
15回	まとめ		夏季実習へ向けて			

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	ホテル・ブライダル科
科目名	ビジネスマナー			クラス	A
担当講師(フルネーム)	宮前訓子			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	ビジネスマナーの必要性和重要性について学ぶ。実技を通して使えるマナーを習得する。			授業形態	講義
到達目標	相手に好感を持たれるマナーを実践的に学び、質の高い接客力を身につける。				
使用テキスト	使用しない(プリント教材)				
成績評価方法	・期末試験70% 平常点20% 提出物10% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	授業案内	ビジネスにおいてなぜマナーが必要かを学ぶ 接遇5原則 実技(挨拶・お辞儀)			
2回	好感を持たれるマナー①	聞くことの重要性を学ぶ 実技(話の聞き方)			
3回	好感を持たれるマナー②	話をする際の注意事項を学ぶ 実技(話の仕方)			
4回	好感を持たれるマナー③	実技(スピーチ)			
5回	8つの意識①	ビジネスにおいて基本の意識を学ぶ			
6回	8つの意識②	ビジネスにおいて基本の意識を学ぶ			
7回	言葉遣い①	敬語の基礎を学ぶ			
8回	言葉遣い②	基礎的な敬語を使えるようになる			
9回	電話対応マナー①	電話の基本を知る			
10回	電話対応マナー②	ビジネス場面の電話の法則を学び応用できるようになる			
11回	訪問マナー	訪問時の基本と実践を学ぶ			
12回	対応マナー	訪問者への対応を学ぶ(上座・下座)			
13回	冠婚葬祭のマナー	知っておきたい冠婚葬祭のマナーを学ぶ			
14回	期末試験	授業内で試験			
15回	解説とまとめ	解説とまとめ			

対象学年	1年	学期	通年	学科	ホテルブライダル科	
科目名	就職活動講座			クラス	A	
担当講師(フルネーム)	安部紀美江			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	・就職試験に必要な自己分析や表現力の文章化を徹底して行う。			授業形態	講義	
到達目標	・学生から社会人となるためのマナーやスキルを習得させ、職業人としての意識づけを行う。					
使用テキスト	・「専門学校生のための就職内定基本テキスト」 ・就職ノート ・オリジナルレジュメ					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		<ul style="list-style-type: none"> ・前期授業内容の説明を行う。 ・各自プロフィールを記入し個別に質問をしていく。 			
2回	就職活動へのアプローチ		<ul style="list-style-type: none"> ・就職とは何か、なぜ働くのかを理解させ、社会人となる為の準備を自覚させる。 ・キャリア形成の重要性と社会や企業について考えさせる。 ・専門学校生の強みを認識させ、どのように発揮していくのかを考えさせる。 			
3回	就職活動に必要な書類の書き方		<ul style="list-style-type: none"> ・当校における就職活動の流れを説明する。 ・就職室の活用方法を教える。 ・就職活動に必要な書類や行動を説明する。 			
4回	履歴書の書き方		<ul style="list-style-type: none"> ・履歴書の当校における書き方を説明し実際に書いてみる。 			
5回	職業を知る		<ul style="list-style-type: none"> ・ホテルで働くとはどういう仕事をするのかを説明する。 ・ホテルの種類や日本におけるホテル業界の説明をする。 			
6回	自分自身を知る		<ul style="list-style-type: none"> ・自分自身をどの程度分かっているかの洗い出しをし自己PR作成への布石とする。 ・自分のライフスタイルとは何かを再認識させる。 			
7回	自分自身を知る		<ul style="list-style-type: none"> ・将来の夢や目標の設定が就職に必要であることを理解させる。 			
8回	自己分析		<ul style="list-style-type: none"> ・自己分析の意義を認識させ表現力へと転化させる。 			
9回	自己分析		<ul style="list-style-type: none"> ・自分の能力や適性を把握させる。 			
10回	自己分析		<ul style="list-style-type: none"> ・将来の夢や目標の設定が就職に必要であることを理解させる。 			
11回	自己PRの作り方		<ul style="list-style-type: none"> ・自分史の作成を通して自己PRの作成をしやすくしていく。 ・自己分析からPRできるものをピックアップし、肉付けする。 ・自分と業界の接点を認識させ、企業でどう活かせるのかを考える。 			
12回	自己PRの作り方		<ul style="list-style-type: none"> ・自己PRを書いてみよう。 			
13回	志望動機の作り方		<ul style="list-style-type: none"> ・志望動機作成に必要な文言や自己PRとの関連性について考えていく。 			
14回	企業研究		<ul style="list-style-type: none"> ・企業研究の重要性と企業研究シートの作成方法を学ぶ。 ・情報収集の必要性とその収集方法ができるようになる。 ・企業開催セミナー・説明会に参加する意味と就活への活用方法をわかるようになる。 			
15回	完成品のチェック		<ul style="list-style-type: none"> ・前期提出物のチェック 			

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	ホテル・ブライダル 科	
科目名	和のサービス			クラス	A	
担当講師(フルネーム)	長野 美穂			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	旬の食材や季節の行事、日本料理の特徴などを詳しく学ぶ 日本を代表する旅館を知る			授業形態	講義	
到達目標	料理や思想、その他様々な観点から日本文化の特徴が語れるようになる					
使用テキスト	なし					
成績評価方法	・期末試験100% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	ホテルと旅館		ホテルと旅館 それぞれの魅力を知る 食材には3つの顔がある			
2回	和室の立居振舞		和室のルールを知る お客様の出迎え～湯茶のサービスの重要ポイント			
3回	言葉遣い		美しい言葉遣い 知っておきたい業界用語			
4回	シーンに合わせた準備		掛け軸に隠された意味を知る 和室の整え方			
5回	日本料理		◎このマークが関係します 究極のサービス それは…			
6回	板場の世界		板場の組織図 職人の世界をのぞいてみる			
7回	食材研究		知っておきたい調理法 「みぞれ」「しぐれ」…料理名の意味			
8回	アルコールのサービス		ビール、日本酒、焼酎を美味しく提供するために 本当に美味しい水割りのつくりかた			
9回	器の話		木と石と土の器の話 好きな食器はありますか			
10回	法要		難易度の高い法要のサービスを学ぶ 精進料理 それは…			
11回	見合いと結納		お見合いサービスの注意点を学ぶ 忌み言葉 それは…			
12回	その他の行事		知っておきたい家族行事 まずは帯祝いから			
13回	知っておきたい伝統文化①		模様の話 現代に生きる伝統模様			
14回	期末試験		筆記試験実施			
15回	知っておきたい伝統文化②		家紋の話 あなたの家の家紋を調べてください			

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	ホテル・ブライダル科
科目名	ブライダル総論			クラス	A
担当講師(フルネーム)	小西 翼			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	ブライダルについての基礎知識及び専門知識を説明・紹介する。			授業形態	講義
到達目標	ブライダル業界および結婚そのものについての基本的な知識を理解する。				
使用テキスト	なし				
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	オリエンテーション ブライダルとは 結婚記念日	前期の学習内容・評価方法について説明 「ブライダル」の定義とそれを構成するもの みなさんにとって「結婚」「夫婦」とは？ブライダル業とは？ 結婚記念日について			
2回	お見合い 婚約	昔の出会い、現代の出会い 婚約・プロポーズ・結納			
3回	婚約 結納	六輝/六曜 結納とは			
4回	結納	結納品について			
5回	結婚に関する法律	結婚できる関係・できない関係			
6回	招待状 挙式	結婚式が決まったら… 挙式とは 挙式の種類			
7回	挙式	キリスト教式について			
8回	挙式	挙式の流れ 挙式で使用するアイテム、ウェディングパーティー			
9回	披露宴	テーブルプラン 披露宴の流れ			
10回	披露宴	披露宴の流れ			
11回	衣装	女性の衣装・アクセサリ&ブーケ			
12回	衣装	男性の衣装 & ブーケ…ではなく「ブー○○○」			
13回	前期のまとめ	前期授業のまとめと振り返り			
14回	期末試験	前期末試験を実施			
15回	期末試験の解説 業界の様々なランキング	期末試験の返却⇒解説⇒回収 人気の結婚式 人気のブライダルアイテム			

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	ホテル・ブライダル科
科目名	ブライダルセールス			クラス	A
担当講師(フルネーム)	田中香利			実務経験	有(ブライダル業界勤務歴)
授業概要(内容)	ウェディングシステムアカデミック版を使用してプランナーの役割・ウィディングアイテムの詳細・打合せ方法・操作方法を学ぶ			授業形態	講義
到達目標	ウェディングシステムの使用方法・プランナーの基礎知識と打合せ手順を見につける				
使用テキスト	ウェディングアカデミックシステム(PC)				
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	オリエンテーション PC初期設定	自己紹介 シラバス詳細 PCログイン・動作確認			
2回	アカデミック版A	ウェディング業界のそれぞれの職種と役割 結婚式場全容(チャペル・ウェディング・ブライズルーム・披露宴会場)			
3回	アカデミック版A	ウェディングBGM シーン別の映像演出 テーマ別 カラー別 ウェディング装花 婚礼料理の単価と詳細			
4回	アカデミック版A	婚礼料理の単価と詳細シミュレーション			
5回	アカデミック版A	テーマ設定 披露宴会場 コーディネートシミュレーション			
6回	アカデミック版A	カラー診断シミュレーション シーン別衣裳シミュレーション			
7回	アカデミック版B	成約～申し込み～打合せの手順 ログイン設定 新郎新婦仮想設定 使用方法 BOOK1 規約			
8回	アカデミック版B	BOOK1 打合せの流れ 接客シミュレーション 招待状			
9回	アカデミック版B	BOOK2 婚礼料理・衣裳・装花・演出・写真 各アイテムのプレゼンテーション			
10回	アカデミック版B	BOOK2 婚礼料理・衣裳・装花・演出・写真 各アイテムのプレゼンテーション			
11回	アカデミック版B	BOOK3 オンライン上の発注業務シミュレーション 婚礼料理・衣裳・装花・演出・写真			
12回	アカデミック版B	BOOK3 オンライン上の発注業務シミュレーション ギフトプランナー 引き出物セレクト～席次表作成			
13回	アカデミック版B	BOOK4 招待客リスト アップロード 席次表作成			
14回	アカデミック版B	BOOK4 席次表作成 試験対策			
15回	期末試験	筆記・PC操作			

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	ホテルブライダル科
科目名	ペン字			クラス	A
担当講師(フルネーム)	しんがき佐世			実務経験	有(通信業界勤務歴)
授業概要(内容)	ブライダル業界でお客様の特別なライフイベントに関わるうえで、美しい手書き文字でおもてなしする精神(マインド)と実力(技術)を身につける。書く機会が少ない現代だからこそ手書きの価値を通して人間力を高める。			授業形態	講義
到達目標	・場面に応じて他者に好感を与える筆記具、書き方を使い分けられる・落ち着いて文字を書く習慣化で自己肯定感(他者肯定感)が上がる				
使用テキスト	常用漢字書き方字典/宮澤 正明 編/二玄社				
成績評価方法	提出物70% 授業態度30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	オリエンテーション	15回で目指すゴールを共有し、生徒それぞれの目標を明確化する(自分の名前、定型文など実践物) BeforeとAfterで成長を実感するため、Beforeの筆記で現状把握する			
2回	ひらがなの基本	ひらがなの特徴を捉えて、バランスの取れた美しいひらがなを書く			
3回	カタカナの基本	カタカナの特徴を捉えて、バランスの取れた美しいカタカナを書く			
4回	漢字(楷書)の基本	漢字の特徴を捉えて、バランスの取れた美しい漢字を書く 字形の整え方、部首名、ひらがなやカタカナとのバランス			
5回	タテ書きの基本	タテ書きの特徴を捉えて、適正な姿勢でバランスの取れたタテ書きの基本を押さえる			
6回	ヨコ書きの基本	ヨコ書きの特徴を捉えて、適正な姿勢でバランスの取れたヨコ書きの基本を押さえる			
7回	筆ペンの基本	筆ペンの特徴を捉えて、適正な姿勢でバランスの取れた楷書体で書く基本を押さえる			
8回	(実践)はがき・手紙・のし袋を書く	はがき、封筒、のし袋それぞれの書式を学習する 手紙文の書き方を学習する			
9回	(実践)お礼状を書く	お礼状の目的を知り、書式を学習する			
10回	(復習/振り返り)ひらがな、カタカナ、漢字	ひらがな、カタカナ、漢字の復習をする			
11回	(復習/振り返り)タテ書き・ヨコ書き	タテ書き・ヨコ書きの復習をする			
12回	(実践)履歴書を書く	履歴書の目的を知り、書式を学習する			
13回	(実践)履歴書を書く	字の美しさに加え、自分の良さが伝わる履歴書の書き方を学習する			
14回	(実践)履歴書を書く	字の美しさに加え、自分の良さが伝わる履歴書の書き方を学習する			
15回	まとめ	ペン字、手書きで学んだこれまでの復習 BeforeとAfterの筆記でこれまでの成長を確認する			

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	ホテル・プライダル科,国際ホテルマネジメント科
科目名	ホテル英会話			クラス	A,T
担当講師(フルネーム)	加藤亜希、日高郁子、中牟田登喜枝			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	接客英語の基本表現を学ぶ ホテル各部門の業務内容に沿った英語表現を学ぶ			授業形態	講義
到達目標	ホテルでの基本的な業務対応を英語でできるようになる				
使用テキスト	ホテル英会話I 基礎編				
成績評価方法	・筆記試験50% 会話テスト・提出物・平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	オリエンテーション	授業内容、評価方法、筆記・会話テストについて 英語で自己紹介 ホテル英会話の特徴を知る			
2回	Lesson1 Greetings	ホテルの状況に応じた挨拶を知ろう			
3回	Lesson1 Greetings	ロールプレーで挨拶を身に着けよう 言い換え練習をする			
4回	Lesson2 Polite expressions	Lesson 1 復習テスト 丁寧な英語で注文取りの練習			
5回	Lesson2 Polite expressions	丁寧な英語で質問に答えたりお願いをしてみよう			
6回	Lesson2 Polite expressions	お客様の言われていることがわからない時の対処法			
7回	Lesson3 Expressing thanks and appology	Lesson 2 復習テスト 感謝、謝罪の表現を学ぶ			
8回	Lesson3 Expressing thanks and appology	ロールプレーで感謝、謝罪表現を身に着けよう 言い換え練習をする			
9回	Lesson4 Expressing numbers	Lesson 3 復習テスト 時間、営業時間の言い方を学ぶ			
10回	Lesson4 Expressing numbers	階数の表現 部屋番号の言い方			
11回	Lesson4 Expressing numbers	電話番号の言い方 金額の言い方			
12回	Lesson5 doorman	Lesson 4 復習テスト ゲスト送迎時の表現			
13回	Lesson5 doorman	館内、ホテル近郊の案内表現			
14回	Lesson5 doorman	市内案内 Lesson 5 復習テスト			
15回	前期まとめ	前期復習筆記テスト			

対象学年	2年	学期	通年(前期)	学科	ホテル・フライダル/3年グローバルコース /国際ホテルマネジメント	
科目名	フロント・オフィス			クラス	E,S	
担当講師(フルネーム)	中牟田登喜枝			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	ホテル業界フロント経験者が実務経験をもとにフロントオフィス業務を解説			授業形態	講義	
到達目標	基本業務知識を身につけ、ホテル全体の流れを理解する					
使用テキスト	ホテルテキスト宿泊I フロントオフィス編					
成績評価方法	・試験50% 実技・提出物・平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション	授業内容、評価方法、実技について フロントオフィスの意義と役割 フロントオフィスの組織と業務				
2回	客室の種類	客室タイプ 料金シルテム				
3回	リザベーション業務	予約業務の重要性 イールドマネジメント				
4回	リザベーション業務	宿泊予約の種類 宿泊予約システム概要				
5回	リザベーション業務	予約受付の流れ				
6回	リザベーション業務	宿泊予約受付業務 ①電話予約の基本 ②キャンセルと変更 ③リザベーションカード作製 ④キャンセルチャージ				
7回	リザベーション業務	インターネット予約業務 宿泊予約におけるその他の業務				
8回	リザベーション業務	通常予約の演習 ①				
9回	リザベーション業務	通常予約の演習 ②				
10回	リザベーション業務	予約変更、キャンセル演習				
11回	リザベーション業務	予約、顧客情報更新				
12回	レセプション業務	レセプションサービス ルーム・アサイメント 接客マナー				
13回	レセプション業務	チェーンの手順 レジストレーションカード記入方法				
14回	レセプション業務	オーバーブッキングとダブルブッキングの対応方法 レイトチェンジとルームチェンジの処理方法				
15回	前期まとめ	前期項目の復習				

対象学年	2年	学期	通年(前期)	学科	ホテルブライダル/3年グローバルコース	
科目名	ホテル英会話			クラス	E	
担当講師(フルネーム)	日高郁子・中牟田登喜枝			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	接客英語の基本表現を学ぶ ホテル各部門の業務内容に沿った英語表現を学ぶ			授業形態	講義	
到達目標	状況に応じて英語で対応できるようになる					
使用テキスト	ホテル英会話II 応用編					
成績評価方法	筆記試験50% 会話テスト・提出物・平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		授業内容、評価方法説明			
2回	Lesson 1 Reservation		宿泊予約の手順と英語表現			
3回	Lesson 1 Reservation		D1 第三者からの予約			
4回	Lesson 1 Reservation		D2 予約の変更 D3 取り消し D4 満室の対応			
5回	Lesson 2 Check in		Lesson 1 復習テスト チェックインの手順と英語表現			
6回	Lesson 2 Check in		D1 延泊の申し入れ D2 ウォークイン D3 ルームチェンジ			
7回	Lesson 2 Check in		D4 カードキーの説明 D5 障がいをお持ちの方のチェックイン			
8回	Lesson 3 Hotel service		Lesson 2 復習テスト D3&D4 メツツセージ			
9回	Lesson 3 Hotel service		D5&D6 セーフティデポジットボックスの受け渡し			
10回	Lesson 3 Hotel service		D7、D8&D9 外貨両替			
11回	Lesson 3 Hotel service		D10\$D11 遺失物の取り扱い D12 日本の土産			
12回	Lesson 4 Tour Information		Lesson 3 復習テスト D1&D2 観光案内			
13回	Lesson 4 Tour Information		福岡の観光案内			
14回	Lesson 5 Check out		Lesson 4 復習テスト チェックアウトの手順と英語表現 現金支払いでのチェックアウトの復習			
15回	Lesson 5 Check out		D1クレジットカードでの支払い			

対象学年	2年	学期	通年(前期)	学科	ホテルブライダル(3年コースをのぞく)	
科目名	コミュニケーションイングリッシュ			クラス	Eクラス	
担当講師(フルネーム)	久保田 博子			実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	日常生活およびホテルで使う語彙や会話表現を学び オンラインレッスンで実践する			授業形態	講義&演習	
到達目標	学んだ英語をホテル業界での接客に活かせるようにする					
使用テキスト	絵で見てパッと言う英会話トレーニング基礎編(新装版) 予習・復習プリント					
成績評価方法	・オンラインレッスン評価60% アセスメント25% 平常点15% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	日常英会話 基礎編	Lesson1 自己紹介・質問①				
2回	日常英会話 基礎編	Lesson2 自己紹介・質問②				
3回	おもてなし英会話	Lesson3 ホテル:チェックイン①				
4回	日常英会話 基礎編	Lesson4 日常のあいさつ①				
5回	日常英会話 基礎編	Lesson5 日常のあいさつ②				
6回	おもてなし英会話	Lesson6 ホテル:チェックイン②				
7回	日常英会話 基礎編	Lesson7 聞き返し・つながぎ				
8回	日常英会話 基礎編	Lesson8 お礼				
9回	おもてなし英会話	Lesson9 ホテル:施設案内①				
10回	日常英会話 基礎編	Lesson10 感想①				
11回	日常英会話 基礎編	Lesson11 感想②				
12回	おもてなし英会話	Lesson12 ホテル:設備案内②				
13回	日常英会話 基礎編	Lesson13 気づかう				
14回	日常英会話 基礎編 スピーキングアセスメント	Lesson14 依頼 スピーキングアセスメント				
15回	おもてなし英会話	Lesson15 ホテル:滞在中				

対象学年	2年	学期	通年(前期)	学科	ホテル・ブライダル(3年コースをのぞく)	
科目名	WEB広告戦略			クラス	A	
担当講師(フルネーム)	乙咩 清美			実務経験	有(通信業界勤務歴)	
授業概要(内容)	デザインの基本を知り、様々なコンテンツ作りを目指す。 Excelを使って、データの集計や報告書などの練習をする。			授業形態	講義&演習	
到達目標	1年で学習したOffice基礎やWeb・クラウドなどを再確認しながら、集客力のあるかっこいいコンテンツができるようになる					
使用テキスト	配布資料やスライドなどを使用					
成績評価方法	・提出課題50% 小テスト20% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	デザイン基礎とチラシ作成		基本的なデザインを学ぶ 文字列の配置によるデザイン、余白のとり方 練習			
2回	デザイン基礎とチラシ作成		基本的なデザインを学ぶ 文字列の配置によるデザイン、余白のとり方 課題作成			
3回	デザイン基礎とチラシ作成		基本的なデザインを学ぶ 写真が主役のデザイン、トリミング 練習			
4回	デザイン基礎とチラシ作成		基本的なデザインを学ぶ 写真が主役のデザイン 課題作成			
5回	デザイン基礎とチラシ作成		基本的なデザインを学ぶ 文字と写真の応用デザイン 練習			
6回	デザイン基礎とチラシ作成		基本的なデザインを学ぶ 文字と写真の応用デザイン、画像とベタのバランス、複数の画像の配置 課題作成			
7回	Excel応用		Excel基礎の復習 集計関数の学習 データベース機能の学習			
8回	Excel応用		データを集計して、表やグラフなどの作成 表やグラフ・画像以外に、データを解説したテキストも含めた報告書作成			
9回	Excel応用		スケジュール表作成			
10回	PowerPoint課題作成		チーム別に課題作成 テーマ:ホテル・ブライダル科の紹介 素材の準備、シナリオ作成			
11回	PowerPoint課題作成		チーム別に課題作成 スライド作成			
12回	PowerPoint課題作成		チーム別に課題作成 各種効果の設定			
13回	PowerPoint課題作成		チーム別に課題作成 発表準備 リハーサルと動画ファイルの準備			
14回	発表					
15回	発表					

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	ホテル・ブライダル/3年グローバルコース	
科目名	HRS対策(筆記)			クラス	E	
担当講師(フルネーム)	長野 美穂			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	HRS試験に必要な知識を学ぶ 過去問題を参考に試験対策を行う			授業形態	講義	
到達目標	8月8日実施のHRS筆記試験合格					
使用テキスト	西洋料理 料飲接客サービス技法					
成績評価方法	・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件と ・平常点には授業中に行うミニテストを加味する				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	第1章 食材・飲料等の基礎知識	6つの基礎食品を知る 食品の分類別特徴を学ぶ 過去問題を解く				
2回	第1章 食材・飲料等の基礎知識	西洋料理に使用される主な食材を知る フルコースの流れとそのポイントを学ぶ 過去問題を解く				
3回	第1章 食材・飲料等の基礎知識	西洋料理の食器用器具と備品について学ぶ 銀食器の取り扱い方を学ぶ 過去問題を解く				
4回	第4章 食文化	食事の国際習慣について学ぶ プロトコールの歴史を学ぶ 過去問題を解く				
5回	第7章 食品衛生及び公衆衛生	食品衛生および公衆衛生について学ぶ 食中毒の分類、発生状況を知る 過去問題を解く				
6回	2022年度過去問題	過去問題を解く 答え合わせと解説				
7回	2022年度過去問題	過去問題を解く 答え合わせと解説				
8回	2022年度過去問題	過去問題を解く 答え合わせと解説				
9回	2021年度過去問題	過去問題を解く 答え合わせと解説				
10回	2021年度過去問題	過去問題を解く 答え合わせと解説				
11回	ミニテスト	本番を想定した問題を解く 真偽減点方式による採点を行なう				
12回	2020年度過去問題	過去問題を解く 答え合わせと解説				
13回	2020年度過去問題	過去問題を解く 答え合わせと解説				
14回	2020年度過去問題	過去問題を解く 答え合わせと解説				
15回	期末試験	期末試験 真偽減点方式による採点実施				

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	ホテル・ブライダル/3年グローバルコース	
科目名	HRS対策(実技)			クラス	E	
担当講師(フルネーム)	小西翼			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	HRS試験合格のために必要な技術を向上させる。 過去の課題を参考に試験対策を行う。			授業形態	実技	
到達目標	レストランサービス技能検定3級に合格する。					
使用テキスト	なし					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	評価方法の説明、『国家資格』についての説明 備品のセッティングと片付けについて ロールプレイ(作業開始⇒お迎え⇒席へのご案内⇒メニューの提示⇒料理のお勧め)				
2回	BFサービス	セッティング(BF) ロールプレイ(水のサービス⇒コーヒーのサービス⇒オーダーテイク⇒ジュースのサービス) 整理整頓				
3回	BFサービス	セッティング(BF) ロールプレイ(パンのサービス⇒卵料理のサービス⇒食器下げ) 整理整頓				
4回	BFサービス	セッティング(BF) ロールプレイ(お見送り⇒テーブル上の片付け⇒リセット⇒作業終了) 整理整頓				
5回	BFサービス	セッティング(BF) 通し練習 整理整頓				
6回	BFサービス	セッティング(BF) 通し練習 整理整頓				
7回	BFサービス	セッティング(BF) 通し練習 整理整頓				
8回	BFサービス ランチサービス	セッティング(BF&ランチ) 通し練習 ※BFサービスの習得が早い学生はランチサービスの練習を開始 整理整頓				
9回	BFサービス ランチサービス	セッティング(BF&ランチ) 通し練習 整理整頓				
10回	BFサービス ランチサービス	セッティング(BF&ランチ) 通し練習 整理整頓				
11回	BFサービス ランチサービス	セッティング(BF&ランチ) 通し練習 整理整頓				
12回	期末テストに向けて	セッティング(BF) 課題範囲の発表・通し練習 整理整頓				
13回	期末テスト	セッティング(BF) BFサービスの試験を行う 整理整頓				
14回	期末テスト	セッティング(BF) BFサービスの試験を行う 整理整頓				
15回	期末テスト	セッティング(BF) BFサービスの試験を行う 整理整頓				

対象学年	2年	学期	通年(前期)	学科	ホテルブライダル/3年グローバルコース	
科目名	面接対策講座			クラス	E1 E2	
担当講師(フルネーム)	宮前訓子			実務経験	あり(航空業界)	
授業概要(内容)	自己PRの熟成と志望動機の完成 面接におけるアピール力と対応力を付ける			授業形態	講義	
到達目標	自己PR力を育成し、どのような質問にも柔軟に対応できる能力を身に付ける					
使用テキスト	使用しません (毎回プリントを配布しますのでクリアファイル等をご用意ください)					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点10% 提出物20%			単位数	2	
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	授業案内	この授業の進め方と2年次における目標を設定する				
2回	自己PR①	実習経験を踏まえた自己PRを考える (実技) シートを作成し発表				
3回	志望動機①	志望する業界に対する志望動機を考える (実技)シートを作成し発表				
4回	GD①	業界でのGDのテーマを実際に体験する 他者のディスカッションを観察・評価				
5回	質疑応答①	面接で聞かれる基本的質疑応答に対応する				
6回	自己PR②	現時点での経験を踏まえた自己PRを考えプレゼンする				
7回	志望動機②	業界の動向を調べたうえでの志望動機を作成演習				
8回	GD②	あらゆるテーマのディスカッションに対応できるようアドリブ力を鍛える				
9回	質疑応答②	時事問題に関する質疑応答の演習				
10回	ディベート	社会人として必要な考え方を習得するためのディスカッション演習				
11回	質疑応答対策③	面接で聞かれる質疑応答に対する演習				
12回	質疑応答対策④	面接で聞かれる質疑応答に対する演習				
13回	質疑応答対策⑤	面接で聞かれる質疑応答に対する演習				
14回	実技試験①	個人面接(待機時間に書類を作成)				
15回	実技試験②	個人面接(待機時間に書類を作成)				

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	ホテルブライダル/3年グローバルコース
科目名	就職活動講座			クラス	E
担当講師(フルネーム)	安部紀美江			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・受験企業の絞り込みと企業研究の充実を図り、面接対策のフォローアップをす ・内定後の処し方と入社後に最低限必要な知識を身につける。 			授業形態	講義
到達目標	・志望する企業への内定を勝ち取る。				
使用テキスト	・「専門学校生のための就職内定基本テキスト」 ・就職ノート ・オリジナルレジュメ				
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	× 期末試験なし				
テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の就職活動状況を把握する。 ・自分自身の問題点の洗い出しを行い弱点を見つける。 ・前期授業内容及び授業時間内ルールの説明 			
2回	自己PR	<ul style="list-style-type: none"> ・冬の実習での失敗や成果の具体的な内容を拾い上げる。 ・実習体験を使った新しい自己PRを作成する。 ・バリエーション豊富な自己PRを作成してみる。 			
3回	面接対策	<ul style="list-style-type: none"> ・面接の形式や種類を学び対応策を考える。 ・面接の受け答えチェックポイントを学ぶ。 			
4回	受験企業の研究シート作成	<ul style="list-style-type: none"> ・受験企業の研究シートの充実を図り、どのような質問にも答えられるようにする。 			
5回	受験企業の研究シート作成	<ul style="list-style-type: none"> ・受験企業の研究シートの充実を図り、どのような質問にも答えられるようにする。 			
6回	受験企業の志望動機作成	<ul style="list-style-type: none"> ・受験企業の志望動機を完成させる。 			
7回	企業研究・面接対策	<ul style="list-style-type: none"> ・受験企業の自己PRならびに志望動機の完成品を作成し再度精査する。 ・個々人の状況に応じた疑問や質問に対して答えていく。 			
8回	企業研究・面接対策	<ul style="list-style-type: none"> ・現状の個別活動状況中間報告を行い、それぞれが抱える問題点の洗い出しを行う。 			
9回	内定後にすること	<ul style="list-style-type: none"> ・内定とは何かを説明し企業人としての第一歩の自覚を促す。 ・内定後の学校生活が入社に関係してくることを確認をさせ規律を守らせる。 ・就業規則とは何かを知らしめ企業内での言動について考えさせる。 			
10回	企業研究・面接対策	<ul style="list-style-type: none"> ・内定者と未定者とを分け、内定者にはプリントを配布し作成させる。 ・内定未定者に対し個別指導を行う。 			
11回	企業研究・面接対策	<ul style="list-style-type: none"> ・内定者と未定者とを分け、内定者にはプリントを配布し作成させる。 ・内定未定者に対し個別指導を行う。 			
12回	企業研究・面接対策	<ul style="list-style-type: none"> ・内定者と未定者とを分け、内定者にはプリントを配布し作成させる。 ・内定未定者に対し個別指導を行う。 			
13回	企業研究・面接対策	<ul style="list-style-type: none"> ・内定者と未定者とを分け、内定者にはプリントを配布し作成させる。 ・内定未定者に対し個別指導を行う。 			
14回	入社後に必要なこと	<ul style="list-style-type: none"> ・就業規則とは何か、どう守っていくかを知らしめる。 ・組織について最小限の知識を身に付ける。 			
15回	前期提出物の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・自分自身の給料を計算してみよう。 ・前期提出物のチェック 			

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	ホテル・ブライダル/3年グローバルコース
科目名	SPI言語対策			クラス	E
担当講師(フルネーム)	山本真美			実務経験	無
授業概要(内容)	就職試験の筆記分野(SPI言語、一般常識、時事問題など)対策			授業形態	講義
到達目標	WEBテスト、適性検査、時事問題などにも対応できるように実力をつける				
使用テキスト	朝日キーワード就職2024最新時事問題&一般常識				
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	必ず復習する	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 毎回テストを実施し解答と解説をします。解けなかった問題は必ず見直す 残りの時間は、時事問題用語解説、新聞コラムに取り組む			
2回	漢検二級レベル	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 就職試験にかかわらず、漢字は私たちの生活に欠かせません。漢検二級レベルを目指す			
3回	最新のニュース	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 試験当日は特に最新のニュースチェックを忘れずに			
4回	情報を分析する	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 先輩たちの受験報告書を活用していますか？各企業の試験問題の傾向がわかります			
5回	はじめてにあわてない	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 見慣れない問題がでることがあります。落ち着いて解きます			
6回	範囲を絞る	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 範囲を絞って、その分野をマスターする。達成感の積み重ねが大事			
7回	時間配分を考える	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 解答時間は足りていますか？紙の試験問題の場合、解く前に試験問題の量のチェックも忘れずに			
8回	ニュースを読む	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 ニュースの「なぜ？」を考える			
9回	自分の意見を考える	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 ニュースの「なぜ？」をから自分の意見を考える			
10回	意見交換をする	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 ニュースを読んで相手の考えを聞く			
11回	SDGsを考える①	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 ・時事問題:SDGsを考える①SDGsとは？			
12回	SDGsを考える②	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 ・時事問題:SDGsを考える②17の目標			
13回	SDGsを考える③	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 ・時事問題:SDGsを考える③2023年度の達成度			
14回	SDGsレポート作成	・「私が実行するSDGs」レポート①			
15回	前期末試験	・前期末試験(30分) ・「私が実行するSDGs」レポート②			

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	ホテル・ブライダル/3年グローバルコース	
科目名	SPI非言語対策			クラス	E	
担当講師(フルネーム)	榎木田裕夫			実務経験	無	
授業概要(内容)	SPIは企業がおこなう就職試験です、授業では非言語(数学系)の得点差がつきやすい計算問題や様々な論理問題を解きます。			授業形態	講義	
到達目標	SPI、玉手箱、SCOAなどの採用試験が解ける計算力や論理的思考能力を身につける。					
使用テキスト	SPI基本問題集(大和書房)					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	Webtテスト対策1	WEBテスト(玉手箱) 計算問題中心の四則逆算、図表の読み取り問題を解く				
2回	Webテスト対策2	WEBテスト(玉手箱) 四則逆算の応用問題、表の空欄の読み取り問題を解く				
3回	確率の問題1	確率とはある条件下で事象が起こる割合をもとめるものです。基本問題を解く				
4回	確率の問題2	確率の標準問題から応用問題を解く				
5回	金銭に関する問題	精算を求める問題、分割を求める問題を解く				
6回	割合と比	割合や比を使って問題を解く				
7回	推論1	推論(正誤)(位置)の問題を解く				
8回	推論2 テスト	推論(順序)(平均)の問題を解く テスト				
9回	資料の読み取り問題1	表やグラフの資料全体の傾向を捉え、素早く計算する力をつける				
10回	資料の読み取り問題2	グラフから変化の傾向をつかみ項目ごとに丁寧に計算する				
11回	図形	面積や体積の基礎から応用問題を解く				
12回	物の流れと比率	表を読み問題を解く				
13回	命題	対偶や三段論法を理解し問題を解く				
14回	装置と回路	関係性や法則を正しくとらえ問題を解く				
15回	期末試験	前期のまとめ、期末試験				

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	ホテル・ブライダル/3年グローバルコース	
科目名	セレモニープロデュース I・II			クラス	E	
担当講師(フルネーム)	長野美穂			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	「ホテル・ブライダルフェア」に向けて企画から当日運営までプロデュース			授業形態	講義 & 演習	
到達目標	8月4日(日)実施の「ホテル・ブライダルフェア」を成功させる					
使用テキスト	なし					
成績評価方法	・平常点(提出物、日頃の取り組み等)50%、本番当日の活動50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ	授業内容				
1回	イントロデュース	授業の進め方、成績評価方法 「ホテル・ブライダルフェア」に向けての流れ				
2回	テーマ決め	どのようなフェアにするか話し合い テーマを持ち寄りプレゼンテーション				
3回	テーマ決め	テーマに合わせたイベントを考える 個人プレゼンテーション				
4回	実施内容決め	当日実施するものを決める 実施にあたりどのような役割が必要か話し合う				
5回	役割分担決め	前日までの準備と当日、分けて役割分担 チーム編成				
6回	チームごとに作業	必要な備品のピックアップ 予算を考えつつコストパフォーマンスを意識した備品の選定				
7回	チームごとに作業	プレゼンテーション I のはじめにチームごとに「本日の到達目標」を発表 プレゼンテーション II の終わりに「本日の達成事項」を発表 * チームで提案したことはクラスで発表し、承認を得てから決定となる				
8回	チームごとに作業	プレゼンテーション I のはじめにチームごとに「本日の到達目標」を発表 プレゼンテーション II の終わりに「本日の達成事項」を発表 * チームで提案したことはクラスで発表し、承認を得てから決定となる				
9回	チームごとに作業	プレゼンテーション I のはじめにチームごとに「本日の到達目標」を発表 プレゼンテーション II の終わりに「本日の達成事項」を発表 * チームで提案したことはクラスで発表し、承認を得てから決定となる				
10回	チームごとに作業	プレゼンテーション I のはじめにチームごとに「本日の到達目標」を発表 プレゼンテーション II の終わりに「本日の達成事項」を発表 * チームで提案したことはクラスで発表し、承認を得てから決定となる				
11回	チームごとに作業	プレゼンテーション I のはじめにチームごとに「本日の到達目標」を発表 プレゼンテーション II の終わりに「本日の達成事項」を発表 * チームで提案したことはクラスで発表し、承認を得てから決定となる				
12回	チームごとに作業	この時間までに必要な備品はすべて購入しておくこと (当日に必要な食材などは除く)				
13回	本番に向けて	リハーサル準備 次回のリハーサルに向けての事前打ち合わせ				
14回	本番に向けて	当日と同じ状況でリハーサル 時間配分、改善点をチェック				
15回	本番に向けて	前回のリハーサルを受けての微調整 最終打ち合わせ				

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	ホテル・ブライダル(3年コースをのぞく)	
科目名	英語面接対策			クラス	E	
担当講師(フルネーム)	中牟田登喜枝			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	英語面接の基礎知識、面接を成功させるためのテクニックを学ぶ			授業形態	講義	
到達目標	実践で使える自分用のシュミレーションパターンを作成、暗記する					
使用テキスト	プリント配布					
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	1
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	仕事的话题を膨らませよう		志望動機 将来の夢			
2回	面接実践		模擬面接で、英語の質疑応答を体験			
3回	面接実践		模擬面接で、英語の質疑応答を体験			
4回	スピーチ発表		自己PRスピーチをクラスの皆の前で発表する			

対象学年	2年	学期	通年(前期)	学科	ホテルブライダル科/3年グローバルコース	
科目名	総合英語			クラス	E2	
担当講師(フルネーム)	加藤 亜希			実務経験	有(通訳翻訳業界勤務歴)	
授業概要(内容)	英語のボキャブラリー、イディオム、文法、リーディングすべてにおいて基礎から練習し、アウトプット力、応用力を養う。			授業形態	講義	
到達目標	英語圏での生活に問題なく適応できるよう、総合的に英語力を伸ばす。					
使用テキスト	Useful College English / Let's Read Aloud & Learn Englishの2冊を交互に使用します。					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	2023年度の復習	期末テストの復習など				
2回	Unit 8	病院での会話問題 現在完了形、期間を尋ねる、症状を述べる How long have you felt this way?				
3回	Unit 7 ①	Unit 7 Exercise and sports 2語から成る群前置詞 仮定法過去、仮定法過去完了				
4回	Unit 7 ②	時を表す前置詞 動名詞の意味上の主語 TOEIC文法問題				
5回	Unit 9	Unit 9 道案内 形容詞、副詞 援助を求める、道順を示す				
6回	Unit 8	Unit 8 houses and housework have[get]+目的語+過去分詞 目的語としての動名詞とto-不定詞				
7回	Unit 9	Unit 9 politics and economics 名詞的用法のto-不定詞 複合関係代名詞				
8回	Unit 10	観光地 不定詞 援助を申し出る 確認を求める Do you want me to take your picture?				
9回	Unit 10	Unit 10 Parties how+形容詞[副詞] 関係代名詞whatを用いた慣用表現 自動詞、他動詞 動名詞を用いた慣用表現				
10回	Unit 11	遺失物取扱所 分詞 問題を述べる 確信を示す I've lost my phone.				
11回	Unit 12	アミューズメントパーク 比較 賛同する 感想を述べる I love roller coasters !				
12回	Unit 11	Unit 11 Food and drink 分詞構文 to-不定詞のみを目的語にとる動詞 準否定語 頻度を表す副詞				
13回	Unit 13	ホームパーティー 関係詞 人を紹介する 手土産を渡す Let me introduce my friend.				
14回	Unit 12	Unit 12 Travel and transport 仮定法の慣用表現 独立分詞構文 分詞構文を用いた慣用表現				
15回	Review	期末試験とフィードバック				

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	ホテル・ブライダル/3年グローバルコース	
科目名	国際情勢			クラス	E(3年コース)	
担当講師(フルネーム)	中牟田 哲也			実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	グループディスカッション、映像を用いて世界の情勢や固有の文化を学び、異文化の理解を深めていく。			授業形態	講義	
到達目標	現在の世界情勢を理解し、地域の特性や日本との関わりを説明できるようになる。異文化の理解を深める。					
使用テキスト	なし。適宜、プリントを配布。					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	ガイダンス	授業運営 成績評価 世界地理・各国事情の理解度調査				
2回	世界の地域	世界地図で地域の確認 ASEAN、BRICS、Global South、NATO等の確認				
3回	微笑みの国	仏教、王国、観光立国 タイの文化と現状				
4回	IT大国	世界最多の人口、IT大国、映画産業 インドの文化と現状				
5回	東西文明の十字路	多彩な食文化、東洋と西洋の文化の融合 トルコの文化と現状				
6回	イスラエル	3つの宗教の聖地、絶えない紛争 イスラエルとパレスチナの問題と現状				
7回	オーストラリア	先住民族、多彩な固有種 オーストラリアの文化と現状				
8回	オリンピック	古代オリンピックと近代オリンピックの歴史 今後のオリンピックと課題				
9回	ムスリム	宗教によるタブー 受け入れ側の課題				
10回	食文化	世界の食文化 宗教による食のタブー				
11回	お酒の文化	世界のお酒事情 ボージョレーヌーボー				
12回	国際ボランティア	国際ボランティアの実際 日本文化伝承(日本語パートナーズ)、海外協力隊、民間ボランティア(植林など)				
13回	ゲーミングビジネス	カジノの現状 日本の現状と課題				
14回	期末試験	まとめ 期末試験				
15回	期末試験フィードバック	期末試験フィードバック まとめ				

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	ホテル・ブライダル科/3年グローバルコース	
科目名	オンライン英会話			クラス	E(3年)クラス	
担当講師(フルネーム)	久保田 博子			実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	与えられたテーマについて講師と会話しながら文法の習熟をはかる			授業形態	講義&演習	
到達目標	高校範囲の文法をスピーキングに役立たせる					
使用テキスト	予習・復習プリント					
成績評価方法	・オンラインレッスン評価60% アセスメント25% 平常点15% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ	授業内容				
1回	高校英文法 for スピーキング アドバンス	Lesson7 推量・可能性・蓋然性をあらわす表現				
2回	高校英文法 for スピーキング アドバンス	Lesson8 意志・感情をあらわす表現				
3回	高校英文法 for スピーキング アドバンス	Lesson9 欲求・願望をあらわす表現				
4回	高校英文法 for スピーキング アドバンス	Lesson10 申し出・提案をあらわす表現				
5回	高校英文法 for スピーキング アドバンス	Lesson11 依頼・勧誘をあらわす表現				
6回	高校英文法 for スピーキング アドバンス	Lesson12 命令・指示をあらわす表現				
7回	高校英文法 for スピーキング アドバンス	Lesson13 比較をあらわす表現				
8回	高校英文法 for スピーキング アドバンス	Lesson14 時をあらわす表現				
9回	高校英文法 for スピーキング アドバンス	Lesson15 強調をあらわす表現				
10回	高校英文法 for スピーキング アドバンス	Lesson16 否定をあらわす表現				
11回	英検2次試験対策 トレーニング	準1級～3級の2次試験を想定した模擬試験				
12回	高校英文法 for スピーキング アドバンス	Lesson17 目的・結果をあらわす表現				
13回	高校英文法 for スピーキング アドバンス	Lesson18 程度・様態をあらわす表現				
14回	高校英文法 for スピーキング アドバンス スピーキングアセスメント	Lesson19 説明を足していく表現① スピーキングアセスメント				
15回	高校英文法 for スピーキング アドバンス	Lesson20 説明を足していく表現②				

エアライン

学年	科目名
1	航空業界研究
1	エアカーゴ概論
1	ホスピタリティ学
1	ユニバーサルサービス
1	就職活動講座
1	コミュニケーションイングリッシュ
1	アマテウスアルテア
1	空港実務
1	グランドハンドリング
1	CA受験対策
1	ビューティー
1	危険物取扱試験対策
2	フライトオペレーション
2	コミュニケーション学
2	コミュニケーションイングリッシュ
2	手話
2	社会人入門講座
2	航空業界受験対策GS
2	航空業界受験対策GH
2	航空業界受験対策CA
2	接客英語
2	観光地理
2	中国語
2	韓国語
2	SPI言語対策
2	SPI非言語対策
2	コンピュータ
2	アマテウスアルテアⅡ
2	アマテウスアルテア
2	CA受験対策

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	エアライン科	
科目名	航空業界研究			クラス	0	
担当講師(フルネーム)	吉原正彦			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	航空業界の知識(航空輸送の歴史、航空機、空港、等)について講義 航空会社の戦略と経営(航空運送業の特徴)について講義			授業形態	講義	
到達目標	航空業界では、どのような業務が行われているか理解し、就職活動に役立つ知識を習得する。					
使用テキスト	航空産業入門(第2版)・プリント					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		授業の目的について説明する 授業の進め方、成績評価方法について説明する 航空業界に対するイメージについて意見交換を行う			
2回	航空輸送の歴史		航空輸送の歴史(第2次世界大戦後の民間航空の発展)について学ぶ 高度経済成長と45/47体制について学ぶ 85日米暫定合意と航空政策の見直しについて学ぶ			
3回	シカゴ体制		シカゴ体制、バミュダ型2国間航空協定について学ぶ 国際民間航空機関(ICAO)と国際航空運送協会(IATA)の発足について学ぶ 航空自由化(オープンスカイ政策)の流れについて学ぶ			
4回	自由化の流れ		米国国内航空の規制緩和について学ぶ 米国の国際航空政策(オープンスカイポリシー)について学ぶ EUの単一航空市場について学ぶ			
5回	自由化の流れ		日本の航空自由化の動きについて学ぶ その他の地域での航空自由化の動きについて学ぶ			
6回	航空機材の変遷		大量輸送時代の到達について学ぶ 空港等、環境整備の推進、発着枠の余裕、小型機による需要適合について学ぶ 日本製の航空機について学ぶ			
7回	空港		日本の空港の現状と課題について学ぶ 空港の分類(拠点空港・地方管理空港・共用空港・その他の空港)について学ぶ 空港民営化(拠点空港・地方管理空港)について学ぶ			
8回	空港		新しい観光における空港の役割について学ぶ 昨今の空港運営に関わるこれまでの国の政策について学ぶ 小テスト(採点と解答説明)			
9回	航空運送業の特徴		航空輸送業及び航空旅客需要の特徴について学ぶ 航空機の生産性と安全運航の追求について学ぶ 地球環境問題への対応について学ぶ			
10回	航空会社の経営計画		航空会社の経営計画の特質について学ぶ 航空会社の提携やアライアンスの背景について学ぶ 航空会社のブランド戦略について学ぶ			
11回	アライアンス		アライアンス(航空連合)の背景について学ぶ グローバル・アライアンスの誕生、発展について学ぶ アライアンスの活動、戦略、消費者利益について学ぶ			
12回	ネットワーク戦略		航空会社の便の選択要素について学ぶ ネットワーク設計プロセスとネットワークの実例について学ぶ ネットワーク戦略とアライアンスについて学ぶ			
13回	航空会社の関連事業		旅客サービス会社について学ぶ グランドハンドリング関連会社について学ぶ 空港周辺事業会社(ケータリング会社、等)について学ぶ			
14回	期末試験		航空業界の今後の動向について学ぶ 期末試験を実施			
15回	まとめ		期末試験用紙を返却(解答説明) 授業全体のまとめ、補足			

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	エアライン科	
科目名	エアカーゴ概論			クラス	Pクラス	
担当講師(フルネーム)	秦 隆益			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	①国内・国際貨物、郵便取扱い業務およびロードコントロール業務を経験 ②航空貨物取扱い全般に加えてその他付随する他業務について講義			授業形態	講義&演習	
到達目標	航空貨物取扱いについての基礎知識を学ぶことにより、航空業務への視野を広げる					
使用テキスト	エアカーゴマニュアル 資料プリント配布					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		・年間コースの説明 ・航空業界認識度調査 ・空港での仕事と役割 ・航空機には何が搭載されているか			
2回	航空機概要		・航空機の種類(WIDE/NARROW BODYの違い) ・内航機と外航機について ・各機種貨物室の説明			
3回			・ULDの種類について ・搬送器材・搭載器材・その他の補助器材			
4回	各種コード/用語説明		・空港コード(IATA/ICAOの違い) ・航空会社コード(PREFIX) ・国コード ・代理店コード ・用語説明			
5回	航空貨物概要		・航空輸送の役割 ・航空輸送書類の説明 ・貨物の種類 ・国内・国際貨物の違い			
6回	国内貨物輸送		・国内貨物の流れ ・国内貨物代理店について ・運送状の役割 ・国内貨物受託要件 ・航空保安			
7回			・直送貨物と混載貨物 ・継越/相次運送 ・運送における優先順位 ・運送約款/運送責任			
8回	郵便の輸送		・国内郵便物の種類 ・コンテナ郵便 ・外国郵便物 ・郵便物の受託から引渡しまで ・米国軍事郵便物			
9回	国際貨物輸送		・国際貨物の流れ ・税関手続きについて			
10回			・運送状の説明 ・国際貨物代理店について ・各種手続き済み貨物について(READY FOR CARRIAGE) ・国際貨物の受託から引渡しまで ・保税運送について			
11回	各種法令		・航空法について ・関税法について ・各種検疫について			
12回	特殊貨物		・PER/WET貨物 ・動物 ・遺体/遺骨 ・危険物 ・貴重品			
13回	運賃計算		・国内運賃および料金の種類/適用・計算 ・国際貨物運賃について			
14回	前期のまとめ / 期末試験		・前期授業のまとめ ・期末試験			
15回	期末試験の解説		・期末試験解答用紙の返却 ・期末試験の解説			

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	エアライン科	
科目名	ホスピタリティ学			クラス	P	
担当講師(フルネーム)	小杉 恵美子 益田 和恵			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	空港におけるホスピタリティについて実践例を交えながら、気づきの感度を高める			授業形態	講義	
到達目標						
使用テキスト	適宜書籍からの抜粋					
成績評価方法	・平常点100% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2	
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	自己紹介で自分をアピールする	一人ひとりに自己紹介してもらい、良い点、改善点をアドバイスする これからの就職活動において、重要である好印象な自己紹介の仕方、また、人前で話すことに慣れる				
2回	仕事の意義を考える	自分の選んだ仕事对社会においてどのような意義があるのか、考える DVD視聴後、その人の働き方について考え、グループディスカッションする				
3回	これまでに自分が受けた感動のサービスについて	課題として考えてきた、過去に自分が受けた感動のサービスについて発表する 他の人の発表について質疑応答(なぜ感動したのかポイントを追求する)				
4回	ホスピタリティとサービスの違いを理解する①	具体的な事例とともに理解していく(無上意のサービスを紹介し、その内容について考える)				
5回	ホスピタリティとサービスの違いを理解する②	具体的な事例とともに理解していく(無上意のサービスを紹介し、その内容について考える)				
6回	気づきの感度を高める①	実際にあったエピソードから、ホスピタリティについて考える 一人で考えをまとめて、他の人とディスカッションし、それを発表する				
7回	気づきの感度を高める②	実際にあったエピソードから、ホスピタリティについて考える 一人で考えをまとめて、他の人とディスカッションし、それを発表する				
8回	空港で働く先輩の話	ランブで働く先輩、空港で旅客担当の先輩の話を聞き、その後質疑応答 車座で先輩との意見交換の時間を設ける				
9回	お手伝いが必要なお客様①	バリアフリーとはなにか考える バリアフリーに関するサインやシンボルマークについて理解する				
10回	お手伝いが必要なお客様②	街の中、生活の中で発見した、気付いたバリア、バリアフリーについて発表する 車いすをご利用のお客様、目や耳がご不自由なお客様への対応について学ぶ				
11回	航空業界について	西鉄エアサービス 木津社長のお話を伺う 航空業界、西鉄エアサービスについて				
12回	気づきを体験する①	ふたり一組になって実際にお店などで接客を受けて感じたことを発表しよう				
13回	気づきを体験する②	ふたり一組になって実際にお店などで接客を受けて感じたことを発表しよう				
14回	制服を着て働くということ	制服を着て働くことについて考え、理解する 空港で働くこと、制服を着こなすことについて必要なこと				
15回	決意表明	自分が考えるホスピタリティとは？ 前期授業で学んだことをこれからどのように活かしていくか みんなの前で決意表明する				

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	エアライン科	
科目名	ユニバーサルサービス			クラス	P	
担当講師(フルネーム)	原田歩			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	障害者や高齢者の生活の一部を体験し、理解を深める 基本的な介助知識を身につける			授業形態	講義&演習	
到達目標	仕事だけではなく、日常生活でも気づき実践できるようになる					
使用テキスト	接客・接遇のためのユニバーサルサービス基本テキスト					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション	授業の目的、進め方、成績評価方法について理解する ユニバーサルサービスについて学ぶ 合理的配慮について学ぶ				
2回	視覚障害者へのサービス①	視覚障害者についての基本知識を習得する 介助犬について学ぶ 盲導犬について理解を深める				
3回	視覚障害者へのサービス②	視覚障害者の日常生活の一部を体験し、理解を深める 全盲体験をする 体験から学んだことを共有する				
4回	視覚障害者へのサービス③	視覚障害者への接客を学ぶ 手引きの方法を学ぶ 空港内を想定し案内する				
5回	視覚障害者へのサービス④	視覚障害者への接客を学ぶ 手引きの方法を学ぶ 空港内を想定し案内する				
6回	聴覚障害者へのサービス①	聴覚障害者の基本知識を習得する 聴覚障害者の日常生活の一部を体験し、理解を深める 体験から学んだことを共有する				
7回	聴覚障害者へのサービス②	様々なコミュニケーション方法を学ぶ 筆談でチェックイン業務を行う				
8回	高齢者へのサービス①	高齢者についての基本知識を習得する 高齢社会について考える 加齢に伴う心身の変化を理解する				
9回	高齢者へのサービス②	認知症についての基本知識を習得する 認知症の症状を学ぶ 高齢者への接客を学ぶ				
10回	妊娠中の方・小さなお子さま連れの方性の多様性	妊娠中の方、小さなお子さま連れの方についての基本知識を習得する 施設や店舗で喜ばれるサービスを考える 性の多様性への理解を深める				
11回	知的・精神障害者へのサービス	知的・精神障害についての基本知識を習得する 知的・発達障害者への接客を学ぶ				
12回	内部障害者へのサービス	内部障害の基本知識を習得する				
13回	肢体障害者へのサービス①	肢体障害者や麻痺のある方についての基本知識を習得する 車椅子の種類と基本操作を学ぶ 校内を自走する				
14回	肢体障害者へのサービス②	車椅子をご利用の方への案内方法を学ぶ 自走体験をもとに注意すべき点に気づく 空港内を想定し案内する				
15回	肢体障害者へのサービス③	車椅子をご利用の方への案内方法を学ぶ 自走体験をもとに注意すべき点に気づく 空港内を想定し案内する				

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	エアライン科	
科目名	就職活動講座			クラス	P	
担当講師(フルネーム)	小林俊也/原田歩			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	就職試験に向け心構えをする 自己分析をし面接対策を行う			授業形態	講義&演習	
到達目標	日常生活でも業界人を意識した行動ができるようになる					
使用テキスト	就職ノート					
成績評価方法	授業態度、提出物、身だしなみ、実技試験により評価 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の目的、進め方、成績評価方法 ・受験への心構え ・日頃から意識すること(挨拶・時間・準備) 				
2回	就活の軸	<ul style="list-style-type: none"> ・就職活動から内定までの流れ ・就活の軸を考える 				
3回	受験の心得	<ul style="list-style-type: none"> ・第一印象の重要性 ・話す姿勢、聴く姿勢 				
4回	手続き	<ul style="list-style-type: none"> ・学内の手続き ・就職室の活用方法 				
5回	自己分析①	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の強み、弱みを知る ・自分の人生を振り返る 				
6回	自己分析②	<ul style="list-style-type: none"> ・自己PRを作成する 				
7回	自己紹介①	<ul style="list-style-type: none"> ・自己PRと自己紹介の違い ・あらゆる角度から自分を見る 				
8回	自己紹介②	<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介をする 				
9回	面接対策①	<ul style="list-style-type: none"> ・入退室を実践する ・ドアの開閉、着席の仕方、手荷物の置き方における注意点を学ぶ 				
10回	面接対策②	<ul style="list-style-type: none"> ・入退室を実践する ・ドアの開閉、着席の仕方、手荷物の置き方における注意点を学ぶ 				
11回	面接対策③	<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介、自己PR 				
12回	面接対策④	<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介、自己PR 				
13回	面接試験①	<ul style="list-style-type: none"> ・実技試験とフィードバック 				
14回	面接試験②	<ul style="list-style-type: none"> ・実技試験とフィードバック 				
15回	面接試験③	<ul style="list-style-type: none"> ・実技試験とフィードバック ・まとめ 				

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	エアライン科	
科目名	コミュニケーションイングリッシュ			クラス	Pクラス	
担当講師(フルネーム)	久保田博子			実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	日常生活および空港・航空機内で使う語彙や会話表現を学び オンラインレッスンで実践する			授業形態	講義&演習	
到達目標	学んだ英語をエアライン業界での接客に活かせるようにする					
使用テキスト	絵で見てパッと言う英会話トレーニング基礎編(新装版) 予習・復習プリント					
成績評価方法	・オンラインレッスン評価60% アセスメント25% 平常点15% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	日常英会話 基礎編		Lesson1 初対面①			
2回	日常英会話 基礎編		Lesson2 初対面②			
3回	おもてなし英会話		Lesson3 空港:チェックイン①			
4回	日常英会話 基礎編		Lesson4 自己紹介・質問①			
5回	日常英会話 基礎編		Lesson5 自己紹介・質問②			
6回	おもてなし英会話		Lesson6 空港:チェックイン②			
7回	日常英会話 基礎編		Lesson7 日常のあいさつ①			
8回	日常英会話 基礎編		Lesson8 日常のあいさつ②			
9回	おもてなし英会話		Lesson9 空港:預け入れ荷物の受託①			
10回	日常英会話 基礎編		Lesson10 聞き返し・つなが			
11回	日常英会話 基礎編		Lesson11 英語について			
12回	おもてなし英会話		Lesson12 空港:預け入れ荷物の受託②			
13回	日常英会話 基礎編		Lesson13 あいづち			
14回	日常英会話 基礎編 スピーキングアセスメント		Lesson14 お礼 スピーキングアセスメント			
15回	おもてなし英会話		Lesson15 空港:施設案内			

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	エアライン科	
科目名	アマデウスアルテア			クラス	Pクラス	
担当講師(フルネーム)	横瀬 敦子			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	航空・旅行業界では必須のGDS(予約発券端末)の存在を理解する。 基本操作(コード検索や簡単な予約など)を習得して、業界で使用する専門用語も学ぶ。			授業形態	講義&演習	
到達目標	GDS予約操作の基本をマスターする(各種コード検索や空席照会からの予約とPNR作成まで)。					
使用テキスト	amadeus ユーザーガイド予約 クイックガイド予約(早見表)					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	GDSの基本	amadeusとは、何かを学ぶ(生い立ちを学ぶ) GDSとは、何か(どういう場面で使用しているのか)? amadeus起動と初期画面の確認を行う(パスワード入力とメインメニュー、コマンドページ)				
2回	国際線基礎知識 I	各種コードを学ぶ 2レター(航空会社コード)と3レター(都市コード)の検索方法を理解する 表示された画面確認も行う				
3回	タイムテーブル	その他のコード検索(国コード・州コード・機材コードなど)を学び、入力をする タイムテーブルTN入力を学ぶ(オプション入力、運航曜日や所要時間・機材確認を行う) 表示された画面確認も行う				
4回	空席照会 I	※「確認テスト」(内容:各種コード検索とタイムテーブル) 空席照会操作の基本を学び、画面表示内容を理解する 空席照会基本エントリー～のオプション入力を学ぶ(航空会社/予約クラス/時間指定/キャビン指定など)				
5回	空席照会 II	空席照会基本エントリー～ショートカットエントリを行う 空席照会・入力練習(練習問題使用)				
6回	空席照会からの予約 I	※「確認テスト」(内容:各種コード検索とタイムテーブル) 空席照会操作の基本を学び、画面表示内容を理解する 空席照会基本エントリー～のオプション入力を学ぶ(航空会社/予約クラス/時間指定/キャビン指定など)				
7回	空席照会からの予約 II	航空機未使用区間入力(アランク)を行う 予約後の画面確認と予約コードを学ぶ				
8回	前期・中間テスト	復習(コード検索～空席照会～航空便予約まで) ※中間試験実施				
9回	予約作成	中間試験の返却と答え合わせ PNRとは何か(PNR作成における必須5項目)を学ぶ PNRを完成させる(ERとIR入力)				
10回	予約完了	PNR抽出を行う(PNRの一部表示方法含む) PNR完了後の画面構成を学ぶ				
11回	PNR構成	専門用語を学ぶ(予約コード/ロケーターなど、それぞれの意味を理解する) RT(画面整理)とIG(中断)				
12回	予約変更	※「確認テスト」(内容:PNR作成) 予約便の変更を行う 旅客データ訂正(電話番号・発券期限の訂正)を行う				
13回	予約取り消し	予約キャンセルを行う 予約変更エントリーとの違いを理解する 前期期末試験対策(対策用プリント有)				
14回	期末試験	PNR作成と添削 ※期末試験(筆記と実技)				
15回	前期・総復習	期末試験返却 期末試験答え合わせ				

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	エアライン科	
科目名	空港実務			クラス	P①	
担当講師(フルネーム)	原田歩			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	国内の空港や航空会社の特徴、国内線におけるお客さまの流れを学ぶ チェックイン業務、ゲート業務、アナウンス業務など実技を交えながら学ぶ			授業形態	講義	
到達目標	国内線の基礎知識を習得する					
使用テキスト	JALグランドスタッフ入門					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション	授業の目的、進め方、成績評価方法について 航空業界について GSに求められる人材について考える				
2回	日本の空港	各空港の特徴を学ぶ 空港の3レターを覚える				
3回	日本の航空会社	各航空会社の特徴を学ぶ 航空会社の3レター・2レターを覚える				
4回	サービス	FSCとLCCについて学ぶ 良いサービスとは何か考える				
5回	GSの業務と役割①	旅客ハンドリング担当会社について学ぶ GSの業務形態を学ぶ				
6回	GSの業務と役割②	GSの業務内容を学ぶ チェックイン業務 アナウンス業務				
7回	GSの業務と役割③	GSの業務内容を学ぶ チェックイン業務 アナウンス業務				
8回	GSの業務と役割④	GSの業務内容を学ぶ ゲート業務 アナウンス業務				
9回	GSの業務と役割⑤	GSの業務内容を学ぶ ゲート業務 アナウンス業務				
10回	Webサイト	各社Webサイトを比較する 空席照会 各種サービス				
11回	手荷物①	受託・持込み手荷物のルールを学ぶ 手荷物タグについて学ぶ 収納ケースについて学ぶ				
12回	手荷物②	危険物について学ぶ BAGトラブルについて学ぶ				
13回	国内線運賃	各種運賃とルールを学ぶ 各社運賃を比較する 搭乗方法について学ぶ				
14回	期末試験	試験 イレギュラーについて学ぶ				
15回	まとめ	テスト返却 前期の復習				

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	エアライン科
科目名	グランドハンドリング			クラス	P選択
担当講師(フルネーム)	松下 良朗			実務経験	有
授業概要(内容)	日々進歩している航空機地上業務・航空輸送業務に対応する知識を習得する 航空会社が求めるグランドハンドリング業務全般を理解する			授業形態	講義
到達目標	グランドハンドリング業務(地上支援業務)に必要な関連知識の習得を目的とする				
使用テキスト	航空機のグランドハンドリング(日本航空技術協会)・パワーポイント				
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	1
期末試験	△ 授業中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の進め方・授業内容の理解・自己紹介(講師・生徒) ・日本の空港・航空行政・空港の機能・今日の空港・空港で働くということをディスカッションしその意義を学ぶ ・社会情勢が航空輸送に与える影響・航空輸送力・航空会社の役割と使命を知りグランドハンドリングの概要を掴む 			
2回	グランドハンドリング概要	<ul style="list-style-type: none"> ・到着から出発までの流れと各作業の内容を知る・グランドハンドリング歴史と意義を学ぶ ・各業務と時間の関連を知る 業務紹介 ・航空保安 保安要員 制限区域/保安区域 LOAD FACTOR 定時制 DGT DLYの影響を学ぶ 			
3回	空港規定	<ul style="list-style-type: none"> ・専門用語と業務の関連性を学ぶ ・空港コード IATA CODE/ICAO CODEについて学ぶ ・グランドハンドリングのSKD DGT 人員計画について知るABL ERA 滑走路 誘導路 航空援助装置等について学ぶ 			
4回	搭載関連業務	<ul style="list-style-type: none"> ・専門用語と業務の関連性を学ぶ 空港コード IATA CODE/ICAO CODEについて学ぶ小テスト ・TIE DOWN 固縛の実践 固縛用具 ・運航SKD/飛行時間/就航都市/PAYLOAD /時差 			
5回	トローイング	<ul style="list-style-type: none"> ・航空機トローイング操作(通常トローイング・ハンガ-IN/OUTについて学ぶ ・コンパス/スイングトローイング・アンダー・ヘリトローイング方法について学ぶ ・トローイングマン養成についてエアライン各社の養成を見る 将来に向けた機材開発とニーズに向けた養成 			
6回	ブレーキマン	<ul style="list-style-type: none"> ・ブレーキマンの作業手順を学ぶ ・ブレーキマンの養成について知る ・航空機の地上移動(緊急時の対応及びその役割について)を学ぶ 			
7回	ウォッチマン	<ul style="list-style-type: none"> ・ウォッチマンの仕事役割について学ぶ(翼端監視とは) ・監視業務における安全確保について学ぶ ・航空機のSIZEを把握する 			
8回	搭載関連業務	<ul style="list-style-type: none"> ・搭載計画(Load PLAN)作成業務の概要を学ぶ ・貨物室カテゴリーについて学ぶ 等級貨物室 ・ウエイト&バランス業務 航空機の重量 PAYLOADについて学ぶ ※小テスト 			
9回	航空機貨物室	<ul style="list-style-type: none"> ・機種別貨物室について学ぶ ULD方式/BULK方式 VOLについて ・貨物室カテゴリーについて学ぶ 等級貨物室 ・ULD DIM 設備 機能 等 			
10回	搭載取り卸し作業	<ul style="list-style-type: none"> ・搭載取り卸し作業の概要を知る 基本的な作業の流れを理解する ・特殊搭載物の取り扱いを学ぶ O/H OSC/OHC/HUM/AVI/DG等の搭載を学ぶ ・税関について 指定地外交通 手荷物お取り扱い 郵便物について学ぶ 			
11回	航空機へのULD搭載	<ul style="list-style-type: none"> ・UNIT LOAD DIVICE 種類 CLMから学ぶ ・SIZE PLT/CONT 実際のサイズを体験する ・ULD NBRから学ぶ BULK作業について学ぶ VOLについて 貨物室での搭載方法 			
12回	搬出/搬入作業	<ul style="list-style-type: none"> ・機種別ULD台数と搬出台数を理解する ・物量情報と搬出のタイミング 機側作業との連携 ・NBR照合と引き渡し 接点業務について知る ※小テスト 			
13回	航空危険物の基礎	<ul style="list-style-type: none"> ・航空危険物 危険物の定義 ・危険物輸送 分類/区分 国内法令 IATA DGR ICAOTI オレンジブック ・マーキング ラベリング 危険物の搭載作業全般を学び理解する 			
14回	前期期末試験	<ul style="list-style-type: none"> ・前期授業まとめ ・期末試験(30分間) 			
15回	前期授業振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・期末試験返却 解説 			

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	エアライン科	
科目名	CA受験対策			クラス	P③	
担当講師(フルネーム)	高田 絵里子			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	自己分析・面接対策 CA職業知識			授業形態	講義&演習	
到達目標	CAについて学ぶ・面接に勝つ印象力の獲得。					
使用テキスト	プリント					
成績評価方法	提出物・授業態度・身だしなみ・出席率により評価 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		学生の自己紹介(自己PR、志望のきっかけ) 授業の進め方 採用試験の流れと就職活動の流れ			
2回	アピアランス・印象力		印象力について アピアランスチェック(メイク・髪型・服装)			
3回	CAの仕事・CA受験とは スピーチ①		CAの仕事・CA受験について知る 30秒スピーチ			
4回	プレゼンテーション		プレゼンテーション			
5回	プレゼンテーション復習		プレゼンテーション復習			
6回	印象力・アナウンス		印象力・アナウンス 30秒スピーチ			
7回	自己PRとは		自己PRづくり			
8回	自己PR		自己PR発表			
9回	面接対策		面接練習(入退室・自己PR) 1分スピーチ			
10回	面接対策		面接練習(入退室・自己PR) 1分スピーチ			
11回	質問内容作成		自分の強み弱み			
12回	プレゼンテーション		プレゼンテーション			
13回	プレゼンテーション復習 面接対策		プレゼンテーション復習 面接対策			
14回	コンテスト		模擬面接(入退室・自己PR・質問)			
15回	フィードバック		フィードバック 夏休みの課題			

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	エアライン科	
科目名	ビューティーレッスン			クラス	P	
担当講師(フルネーム)	山口 ゆみこ			実務経験	無	
授業概要(内容)	顔の役割、好感の持たれる笑顔が映える顔作り スキンケア、日頃のお手入れを学ぶ。立ち居振る舞いの美しい女性になろう。			授業形態	講義 & 演習	
到達目標	30分以内に好感の持たれるメイクアップができるようになる。					
使用テキスト	プリント配布					
成績評価方法	日頃の授業に意欲的に取り組んでいるか。 最終試験で30分以内にフルメイクができるようになる。				単位数	1
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	「顔」の役割	顔の役割/笑顔の大切さ 人相心理学による顔分析 立ち居振る舞い				
2回	エアラインのメイクとは	第一印象が好感がもたれるメイクアップ法 どのようなメイクアップ(表情作り)をするべきか				
3回	スキンケア	肌のメカニズム 日頃の肌のお手入れ方法 クレンジングの仕方・化粧水コットンパック				
4回	ベースメイク①	中高く立体的な骨格に見えるファンデーションの塗り方 骨格修正 血色を良く見せるニュアンスカラー				
5回	ベースメイク②	肌質別ファンデーションの選び方 ベースメイクの復習				
6回	アイメイク	目元に立体感を与えるアイメイク方法 拡張メイク				
7回	アイブロウ	理想的な眉のガイドライン 顔を立体的に見せる眉の書き方				
8回	リップ・チーク・ハイライト	自分の肌色に合うリップカラーを知る 自分に似合うチークカラーと入れ方 ハイライトで顔を立体的に見せる入れ方				
9回	フルメイク	責任感があり、好感を持たれるメイク 自分一人でフルメイクを行う 30分以内で行う				
10回	フレッシュメイク	優しい表情を知り、学ぶ				
11回	スレンダーメイク	知性的で洗練された表情を知り、学ぶ				
12回	春トレンドメイク	ベーシックなメイクに季節を感じてもらえる様なトレンドカラーを使ったメイク				
13回	エアラインメイク	仕事ができ、好感が持てる表情作り、復習していきます				
14回	30分フルメイク	試験を前に復習と共に、仕事を意識したメイクアップの完成度を上げる				
15回	最終試験	責任感があり、好感を持たれるメイク 30分以内に行う				

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	エアライン科	
科目名	危険物取扱者対策(選択)			クラス	P②	
担当講師(フルネーム)	池内 勝			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	国家試験 危険物取扱者乙種4類の免許取得及び危険物取扱全般			授業形態	講義	
到達目標	国家試験 危険物取扱者乙種4類の免許取得					
使用テキスト	危険物取扱必携法令編及び実務編					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	国家資格内容	授業内容の説明及びスケジュールについて 授業の目的及び目標について 危険物の種類について				
2回	危険物に関する法令	危険物の定義及び分類について 指定数量について 製造所等の区分、申請等の手続きについて				
3回	危険物に関する法令	危険物取扱者の責務について 危険物保安監督者の責務について 危険物保安統括管理者の責務について				
4回	危険物に関する法令	危険物施設保安員の業務内容について 予防規定について 製造所等の規制について				
5回	危険物に関する法令	製造所等の規制について				
6回	危険物に関する法令	製造所等の規制について				
7回	燃焼及び消化	物理及び化学の基礎について				
8回	燃焼及び消化	燃焼の定義、消化の原理について 消火方法、消火設備について				
9回	過去問題	過去問題を解く 問題解説				
10回	過去問題	過去問題を解く 問題解説				
11回	試験の復習	試験の復習及び今後の対策について				
12回	試験の復習	試験の復習及び今後の対策について				
13回	試験の復習	試験の復習及び今後の対策について				
14回	危険物のまとめ 期末試験	前期のまとめ 期末試験				
15回	期末試験の解説	期末試験の解説 後期の授業の進め方について				

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	エアライン科	
科目名	フライトオペレーション			クラス	Q	
担当講師(フルネーム)	吉原正彦			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	航空機の開発史、旅客機の区分、空港の構造、航空管制の知識、 運航管理業務、等について講義			授業形態	講義	
到達目標	航空機運航業務の役割、目的を理解し業務に役立つ知識を習得する。					
使用テキスト	航空知識のABC・プリント					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	授業の目的について説明する 授業内容の進め方・成績評価方法について説明する 「安全で快適な空の旅」について意見交換を行う				
2回	旅客機の開発史	飛行機の誕生から旅客機としての運航までを学ぶ 世界で繰り広げられた旅客機の開発競争について学ぶ 大型化・高速化から、効率や環境性能が重視される旅客機について学ぶ				
3回	旅客機の区分	機体の大きさによる区分について学ぶ 旅客機の性能・能力による区分について学ぶ エンジンの種類による区分について学ぶ				
4回	航空機運航	いろいろな種類の航空機について学ぶ 飛行方式・飛行条件について学ぶ 安全に飛ばすための計器や操縦システムについて学ぶ				
5回	空港施設	空港の基本構造について学ぶ 滑走路の長さや向きの決め方について学ぶ 誘導路とエプロンの違いについて学ぶ				
6回	空港施設	滑走路面に書いてある数字やラインの意味について学ぶ 航空法・空港整備法による空港の種類・役割とターミナル施設について学ぶ たくさんある空港灯火の種類について学ぶ				
7回	航空局の業務	航空局の歴史・役割について学ぶ 航空機運航と、その役割について学ぶ 小テスト(採点と解答説明)				
8回	通信・航法装置	旅客機が地上との連絡を行う装置類について学ぶ 旅客機が位置や方向を知るための機器について学ぶ 運航に不可欠な通信・航法装置について学ぶ				
9回	航空管制業務	航空交通管制の役割について学ぶ 航空交通管制の種類について学ぶ 管制空域と航空路について学ぶ				
10回	航空管制業務	航空保安無線施設の種類について学ぶ 有視界飛行方式(VFR)と計器飛行方式(IFR)について学ぶ フライトプランの作成と航空管制の流れについて学ぶ				
11回	航空管制業務	航空管制シミュレーション①離陸まで、について学ぶ 航空管制シミュレーション②上昇から巡航まで、について学ぶ 航空管制シミュレーション③下降から着陸まで、について学ぶ				
12回	運航管理	運航管理者の資格、業務概要と飛行計画書(フライトプラン)の目的・内容について学ぶ ATC・フライトプランとカンパニー・フライトプランの違いについて学ぶ フライトプラン作成に欠かせない航空情報について学ぶ				
13回	運航管理用語	オペレーション用語とその意味について学ぶ 運航管理用語と管制業務用語について学ぶ 小テスト(理解度テスト)				
14回	期末試験	航空無線基本用語とフォネティックコード(欧文通話表)について学ぶ 期末試験を実施				
15回	まとめ	期末試験用紙を返却(解答説明) 授業全体のまとめ、補足				

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	エアライン	
科目名	コミュニケーション学			クラス	Q	
担当講師(フルネーム)	吉良牧子			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	明日から使える「コミュニケーション」を考え 様々な環境下の中、自らが主体的に発信していくノウハウを学ぶ			授業形態	講義	
到達目標	社会で活躍できる人材になる					
使用テキスト	なし					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	自己紹介	これまでの自己紹介とこれからの自己紹介 話を聴いてもらうコツ 感じの良い印象を残すために				
2回	笑顔・挨拶	世界の挨拶 何のため、誰のため、することでどうなるの 第一印象を良くするためのトレーニング				
3回	チェック	日頃のコミュニケーション能力チェック コミュニケーションゲーム・ワーク				
4回	スピーチ	就職問題を使用してのスピーチ作成 勝ち取るためのスピーチとは				
5回	エゴグラム	性格を分析し自分を知る 自分の機嫌をとる				
6回	アンガーマネジメント	怒るの感情をコントロールし職場でいかす 怒りのポイントは人それぞれ タイプ別のコントロール				
7回	お礼状	暑中見舞い、年賀状の由来 お礼状で良い印象を残す 周りがしないことをすることの価値				
8回	男女別世代別	職場で人間関係に困らないために 男女別、世代別のコミュニケーションの回り方				
9回	絵本コミュニケーション	相手へのメッセージはシンプルな方が伝わる ワーク・提出課題あり				
10回	ブログコミュニケーション	印象を残す文章とは そこに集客力があるか おススメを欲しいと思えるか				
11回	就職問題	ネタ作り ワーク・提出課題あり				
12回	チェック	コミュニケーションゲーム・ワーク				
13回	スピーチ1分	課題				
14回	スピーチ3分	課題				
15回	マインドマップ	頭の中を整理する ストレスケア 目標立てと言葉のご褒美				

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	エアライン科	
科目名	コミュニケーションイングリッシュ			クラス	Qクラス	
担当講師(フルネーム)	久保田 博子			実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	日常生活および空港・航空機内で使う語彙や会話表現を学びオンラインレッスンで実践する			授業形態	講義&演習	
到達目標	学んだ英語をエアライン業界での接客に活かせるようにする					
使用テキスト	予習・復習プリント					
成績評価方法	・オンラインレッスン評価60% アセスメント25% 平常点15% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	日常英会話 基礎編		Lesson31 空港で迎える①			
2回	日常英会話 基礎編		Lesson32 空港で迎える②			
3回	おもてなし英会話		Lesson33 機内:食事・飲み物の提供			
4回	日常英会話 基礎編		Lesson34 観光の計画①			
5回	日常英会話 基礎編		Lesson35 観光の計画②			
6回	おもてなし英会話		Lesson36 機内:免税品販売			
7回	日常英会話 基礎編		Lesson37 日本を案内する①			
8回	日常英会話 基礎編		Lesson38 日本を案内する②			
9回	おもてなし英会話		Lesson39 機内:イレギュラー対応①			
10回	日常英会話 基礎編		Lesson40 日本を案内する③			
11回	日常英会話 基礎編		Lesson41 日本を案内する④			
12回	おもてなし英会話		Lesson42 機内:イレギュラー対応②			
13回	日常英会話 基礎編		Lesson43 家を訪ねる①			
14回	日常英会話 基礎編 スピーキングアセスメント		Lesson44 家を訪ねる② スピーキングアセスメント			
15回	おもてなし英会話		Lesson45 機内:よく聞かれる質問			

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	エアライン科	
科目名	手話			クラス	Qクラス	
担当講師(フルネーム)	江口由香			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	聴覚障害者への理解を深め、言語である手話を学ぶ			授業形態	講義&演習	
到達目標	日常会話程度の手話でコミュニケーションがとれる					
使用テキスト	接客手話、プリント					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	聞こえないとは	聞こえない世界とは ろう者、難聴者、中途失聴者について 聴覚障害をとりまく環境と状況				
2回	手で表現してみよう	物の形をイメージして表現する 伝え合うことの難しさ 手話であいさつしてみよう				
3回	伝え合ってみましょう	自己紹介1 名前の表現・指文字				
4回	伝え合ってみましょう	自己紹介2 人物の表現・家族の表現				
5回	感情を表現する	いろいろな気持ちを伝える 表情で表現する方法				
6回	数字に関する手話	数字の表し方 数字を使った接客手話 時間の表現				
7回	趣味について話そう	趣味ななど会話で話を広げていく ジェスチャーの大事さ				
8回	住所を紹介しましょう	地名の手話を学び住所を紹介する 道案内のポイント				
9回	自己紹介まとめ	これまで学んだ手話をつかって自分のことを伝える				
10回	時間の流れの表現	過去・現在・未来の表し方 時間の経過の表現				
11回	接客手話	こんな時どうする？ 手話で応対しよう				
12回	聴覚障害とは	聞こえない世界と聞こえる世界				
13回	実技テスト	実技テスト				
14回	実技テスト	実技テスト(予備)				
15回	まとめ	手話学習まとめ				

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	エアライン科	
科目名	社会人入門講座			クラス	Q	
担当講師(フルネーム)	小林俊也/原田歩			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	社会人としてより良いスタートが切れるように心構えや考え方について考える			授業形態	講義&演習	
到達目標	社会人として求められる基礎力の涵養					
使用テキスト	適宜プリント配布					
成績評価方法	・提出物・授業態度・身だしなみ・出席率により評価 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション	・授業の進め方、成績評価方法について ・1年次の振り返りと社会人として必要なことについて				
2回	ブラッシュアップ①	・キャリアデザインについて ※社会人のスタート「on your mark」				
3回	ブラッシュアップ②	・時世について ※世の中のことについて学び、今起きている出来事にアンテナを張ろう				
4回	ブラッシュアップ③	・時世について ※世の中のことについて学び、今起きている出来事にアンテナを張ろう				
5回	ブラッシュアップ④	・My life line(人生線分析) ※これまでの人生を振り返る				
6回	ブラッシュアップ⑤	・Career Path(キャリアパス) ※仕事人生と個人生活				
7回	ブラッシュアップ⑥	・20代にやりたいことを考える ※近い将来の目標について				
8回	ブラッシュアップ⑦	・ブラッシュアップマインド ※「座右の銘」と「日常五心」				
9回	ブラッシュアップ⑧	・ブラッシュアップマインド ※「心訓七則」				
10回	ブラッシュアップ⑨	・ブラッシュアップマインド ※「時を守り、場を清め、礼を正す」				
11回	ブラッシュアップ⑩	・入社時挨拶と社内報 ※まずは自己紹介から始めよう				
12回	ブラッシュアップ⑪	・チームワークとは ※ペーパータワー大会				
13回	新社会人に向けて	・新社会人に向けての決意表明1 ※将来の自分にメッセージを贈ろう「10年後の自分へ」				
14回	新社会人に向けて	・新社会人に向けての決意表明2 ・後輩にメッセージを贈ろう				
15回	新社会人に向けて	・新社会人に向けての決意表明3 ・保護者や先生にメッセージを贈ろう				

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	エアライン科	
科目名	航空業界受験対策(GS)			クラス	Q①	
担当講師(フルネーム)	原田歩			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	GSの役割や求められる能力を理解し、ESや面接の対策を行う 就業に向け仕事に必要な知識を深める			授業形態	講義	
到達目標	内定を目指し、働く覚悟を持つ					
使用テキスト	就職活動ノート(各自使用しているもの)					
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 課題、小テスト、授業態度で評価する				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション	授業の目的、進め方、成績評価方法について 1分間スピーチについて 面接・添削				
2回	求められる人物像	GSの業務、役割を復習する GSに求められる能力を考える 面接・添削				
3回	目指すGS像と人物像	GSとして3年後、5年後、10年後の業務、役割を復習する 目指すGS像と人物像を考え共有する 面接・添削				
4回	サービス①	サービスについて考える 面接・添削				
5回	サービス②	接客、立ち居振る舞いを実践する 面接・添削				
6回	サービス③	接客、立ち居振る舞いを実践する 面接・添削				
7回	クレーム①	クレームについて考える 面接・添削				
8回	クレーム②	クレーム対応を実践する 面接・添削				
9回	クレーム③	クレーム対応を実践する 面接・添削				
10回	イレギュラー	イレギュラーについて学ぶ 面接・添削				
11回	専門用語	専門用語について復習する 面接・添削				
12回	運賃	各種運賃について学ぶ 小テスト 面接・添削				
13回	マイレージ	マイレージサービスについて学ぶ 小テスト 面接・添削				
14回	入社1年目	小テスト 入社1年目を考える				
15回	まとめ	グループワーク				

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	エアライン科	
科目名	航空業界受験対策(GH)			クラス	Q②	
担当講師(フルネーム)	吉原正彦			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	就職試験に向けた書類作成、面接練習を行う。 内定が決まった学生は自己啓発に取り組ませる。			授業形態	講義	
到達目標	最終目標に向け、取り組ませ内定を勝ち取る。					
使用テキスト	プリント					
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 課題、提出物、授業態度で評価する				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	授業の進め方、評価方法について説明する 就職活動(学校の規則・手続き、等)について学ぶ 個々と面談(方向性の確認)				
2回	受験準備	就職活動(航空業界の現状・企業研究・受験対策)について学ぶ 求人企業の採用状況について確認する 書類作成(添削)				
3回	受験対策	求人企業の採用状況について確認する 書類作成(添削) 面接練習				
4回	受験対策	求人企業の採用状況について確認する 書類作成(添削) 面接練習				
5回	受験対策	求人企業の採用状況について確認する 面接練習 内定者は就業に向けて準備を行う				
6回	受験対策	求人企業の採用状況について確認する 面接練習 内定者は就業に向けて準備を行う				
7回	受験対策	求人企業の採用状況について確認する 面接練習 内定者は就業に向けて準備を行う				
8回	受験対策	求人企業の採用状況について確認する 面接練習 内定者は就業に向けて準備を行う				
9回	受験対策	求人企業の採用状況について確認する 面接練習 内定者は就業に向けて準備を行う				
10回	受験対策	求人企業の採用状況について確認する 面接練習 内定者は就業に向けて準備を行う				
11回	受験対策	求人企業の採用状況について確認する 面接練習 内定者は就業に向けて準備を行う				
12回	受験対策	求人企業の採用状況について確認する 面接練習 内定者は就業に向けて準備を行う				
13回	受験対策	求人企業の採用状況について確認する 面接練習 内定者は就業に向けて準備を行う				
14回	受験対策	求人企業の採用状況について確認する 面接練習 内定者は就業に向けて準備を行う				
15回	まとめ	社会人としての自覚を持たせる 個々と面談				

対象学年	2年	学期	通年(後期)	学科	エアライン科	
科目名	航空業界受験対策 (CA)			クラス	Q	
担当講師(フルネーム)	宮前訓子			実務経験	あり(航空業界)	
授業概要(内容)	CAとしての考え方や振る舞いを自ら考えプレゼンする モックアップを使用して状況に合わせてふるまいを身につける			授業形態	講義	
到達目標	CAとして求められる対応力・柔軟性・思考力を瞬時に発揮できる能力を身につける					
使用テキスト	使用しません (毎回プリントを配布しますので各自クリアファイル等をご用意ください)					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点10% 提出物20%			単位数	2	
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	授業案内	この授業の進め方と2年次における目標を設定する				
2回	自己PR①	実習経験を踏まえた自己PRを考える (実技) シートを作成し発表				
3回	志望動機①	志望する企業に対する志望動機を考える (実技)シートを作成し発表				
4回	GD①	CAの試験でのGDのテーマを実際に体験する (他者のディスカッションを観察・評価)				
5回	質疑応答①	面接で聞かれる基本的質疑応答に対応する				
6回	自己PR②	現時点での経験を踏まえた自己PRを考えプレゼンする				
7回	志望動機②	業界の動向を調べたうえでの志望動機を作成演習				
8回	GD②	あらゆるテーマのディスカッションに対応できるようアドリブ力を鍛える				
9回	質疑応答②	時事問題に関する質疑応答の演習				
10回	ディベート	社会人として必要な考え方を習得するためのディスカッション演習				
11回	質疑応答対策③	面接で聞かれる質疑応答に対する演習				
12回	質疑応答対策④	面接で聞かれる質疑応答に対する演習				
13回	質疑応答対策⑤	面接で聞かれる質疑応答に対する演習				
14回	実技試験①	個人面接(待機時間に書類を作成)				
15回	実技試験②	個人面接(待機時間に書類を作成)				

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	エアライン科	
科目名	接客英語			クラス	Qクラス	
担当講師(フルネーム)	Pat Brown 秋満陽子			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	航空業界の様々な場面での専門的な用語や言い回しなどを、読む、書く、聞く、話すの4技能を通して習得する			授業形態	講義	
到達目標	就労後、自信を持って英語で接遇ができるようになる					
使用テキスト	プリント対応					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	Orientation	シラバス・成績評価について 導入授業				
2回	Reservation①	航空券の予約・発券業務 リスニング、スピーキング練習				
3回	Reservation②	ロールプレイ 航空券の予約・発券業務				
4回	Getting on the plane①	チェックインカウンター業務 リスニング、スピーキング練習				
5回	Getting on the plane②	ロールプレイ チェックインカウンター業務				
6回	At the boarding gate①	搭乗ゲート・出入国エリア業務 リスニング、スピーキング練習				
7回	At the boarding gate②	ロールプレイ 搭乗ゲート・出入国エリア業務				
8回	At the Airport①	空港内の様々な案内業務 リスニング、スピーキング練習				
9回	At the Airport②	ロールプレイ 空港内の様々な案内業務				
10回	On the Airplane①	機内アナウンス・機内食など航空機内での様々な業務 リスニング、スピーキング練習				
11回	On the Airplane②	ロールプレイ 機内アナウンス・機内食など航空機内での様々な業務				
12回	Dealing with complaints①	遅延、キャンセルなどのトラブルや苦情対応で使用する用語や言い回し リスニング、スピーキング練習				
13回	Dealing with complaints②	ロールプレイ 遅延、キャンセルなどのトラブルや苦情対応で使用する用語や言い回し				
14回	期末テスト①	前期Written Test 総括				
15回	期末テスト②	前期Speaking Test 総括				

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	エアライン科	
科目名	観光地理			クラス	Q	
担当講師(フルネーム)	友納真			実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	国内・海外の観光地理を学ぶ(空港から先の観光資源)。有名観光地の映像を見て学ぶ。			授業形態	講義	
到達目標	日本・海外の地域の特性、主な都市・有名観光地を学ぶ。					
使用テキスト	講師作成プリント					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30%(授業態度・出席率・小テスト・提出物含む) ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	国内観光地理①	・授業の進め方の説明 ・国内観光地理オリエンテーション(国内の地域区分・7つの新幹線)				
2回	国内観光地理②	・九州(福岡県・佐賀県・長崎県) ・空港・交通・宿泊地・郷土料理・行事・土産等を学ぶ				
3回	国内観光地理③	北海道・沖縄県 ・北海道・沖縄の地域・交通・気候 ・空港・交通・宿泊地・郷土料理・行事・土産等を学ぶ				
4回	国内観光地理④	東京都 ・空港・交通・宿泊地・郷土料理・行事・土産等を学ぶ				
5回	国内観光地理⑤	大阪府・京都府 ・空港・交通・宿泊地・郷土料理・行事・土産等を学ぶ				
6回	海外観光地理①	・海外観光地理オリエンテーション(海外の地勢・海外旅行の基礎知識) ・時差・言語・宗教・文化の違い				
7回	海外観光地理②	韓国・東南アジアの国々(タイ・マレーシア・シンガポール) ・日本からのアクセス・交通・主要都市・観光地・郷土料理等を学ぶ				
8回	海外観光地理③	オセアニア(オーストラリア・ニュージーランド) ・日本からのアクセス・交通・主要都市・観光地・郷土料理等を学ぶ				
9回	海外観光地理④	英国(イギリス) ・日本からのアクセス・交通・主要都市・観光地・郷土料理等を学ぶ				
10回	海外観光地理⑤	フランス ・日本からのアクセス・交通・主要都市・観光地・郷土料理等を学ぶ				
11回	海外観光地理⑥	ドイツ ・日本からのアクセス・交通・主要都市・観光地・郷土料理等を学ぶ ・ロマンチック街道の観光ルート				
12回	海外観光地理⑦	スイス・オーストリア ・日本からのアクセス・交通・主要都市・観光地・郷土料理等を学ぶ ・スイス山岳鉄道・オーストリアの音楽に触れる				
13回	海外観光地理⑧	アメリカ・ハワイ ・日本からのアクセス・交通・主要都市・観光地・郷土料理等を学ぶ				
14回	まとめ	・授業の振り返り、まとめ				
15回	確認テスト(期末試験)	・確認テスト実施				

・講師作成プリントは講義時に配布します。
マーカーを用意してください。
 ・**小テスト**(数回実施)は
Google Formsを使用し、
スマートフォンで解いてもらいます。

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	エアライン科	
科目名	中国語			クラス	Qクラス	
担当講師(フルネーム)	青山 祐子			実務経験	有	
授業概要(内容)	習得した中国語の音読、語彙の使い方、文の表現についての解説			授業形態	講義	
到達目標	習得した中国語の表現を生かしながら、業務上で使うリスニング能力と会話能力をさらに高めることを目標とする。					
使用テキスト	中国語1年め(白水社)					
成績評価方法	・期末試験 50% 小テスト+発表 30% 授業態度+欠席回数等 20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	発音の復習	中国語の発音"声調" "母音""子音"				
2回	第1課 中国人留学生と知り合う	1. 人称代名詞 2. 動詞"是"の文 3. "吗"の疑問文 <input type="checkbox"/> 姓名の言い方				
3回	トレーニング1 第2課 携帯の写真を見て	1. 動詞が述語になる文 2. 指示代名詞 3. 疑問詞疑問文 <input type="checkbox"/> 4. "的"				
4回	トレーニング2 第3課 いっしょに勉強しよう!	1. 形容詞が述語になる文 2. 副詞"也"と"都" 3. 所有を表わす"有" <input type="checkbox"/> 4. 時を表わす語の位置				
5回	トレーニング3 第4課 ファストフード店で ※1回目小テスト	1. 場所を表わす代名詞 2. 存在を表わす"有" 3. 省略疑問文"呢" <input type="checkbox"/> 4. 反復疑問文				
6回	トレーニング4 第5課 Tシャツを買う	1. 数 詞 2. 量 詞 3. "几"と"多少" <input type="checkbox"/> 4. 所在を表わす動詞"在"				
7回	トレーニング5 第6課いっしょに遊びに出かける	1. 日付・曜日の言い方 2. 時刻の言い方 3. 助動詞(1)"想""要" <input type="checkbox"/> 4. 語気助詞の"吧"				
8回	トレーニング6 第7課 花火は何時から?	1. 前置詞(1)"在""从""离" 2. 動作の完了を表わす"了" 3. 動詞の重ね型				
9回	トレーニング7 第8課 学園祭 ※2回目小テスト	1. 助動詞(2)"会""能""可以" 2. 経験を表わす"过" 3. 動作の回数・時間の長さの表わし方 <input type="checkbox"/> 時間の長さの言い方				
10回	トレーニング8 第9課 カラオケに行く	1. 様態補語 2. 前置詞(2)"给""跟" 3. 連動文				
11回	トレーニング9 第10課 中国の映画を見る	1. 結果補語 2. 動作の進行を表わす"在" 3. 主述述語文				
12回	トレーニング10 よく使われるその他の語	<input type="checkbox"/> 時を表わす語 <input type="checkbox"/> 時間の長さの尋ね方 <input type="checkbox"/> 方向を表わす語 <input type="checkbox"/> お金の数え方 <input type="checkbox"/> 注意する100以上の数の数え方				
13回	総復習(期末テスト対策)	今まで勉強した内容についてのおさらい				
14回	期末テスト	自己紹介の表現				
15回	業務上で使う会話練習	現場で実際に使う会話練習				

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	エアライン科	
科目名	韓国語			クラス	Q	
担当講師(フルネーム)	権京愛			実務経験	無	
授業概要(内容)	教科書主体に文法を確実に身に付けさせ、毎回の授業には必ず演習を取り入れ、「読む、聞く、話す、書く」の4技能をまんべんなく学ばせる。			授業形態	講義	
到達目標	将来仕事で活用できるように会話練習を通してコミュニケーション能力を身につけさせることを目標とする。					
使用テキスト	韓国語の世界へ「入門編」朝日出版					
成績評価方法	・期末試験50% 平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	自己紹介	韓国語で自己紹介をする。 既習の学習内容についてしっかり復習し、理解できるようにする。 特にハングル文字をおぼいし、正しい発音ができるようにする。				
2回	「해요体」の作り方4.	「하다」で終わる用言の活用について学ぶ。 練習問題を解いたり自分で例を挙げたりしながら覚えるようにする。 韓国の歌の歌詞を覚え、単語を増やしてみよう！				
3回	移動の目的を表す「～しに」	用言の語幹について「～しに」など移動の目的を表す表現を学ぶ。 練習問題を解いたり自分で例を挙げたりしながら覚えるようにする。 クラスメートと互いに学んだ表現を使い、質問したり答えたりして会話練習をする。				
4回	助詞「～から～まで」	日本語の「～から」、「～まで」に当たる韓国語の助詞を覚える。 練習問題を解いたり自分で例を挙げたりしながら覚えるようにする。 クラスメートと互いに学んだ表現を使い、質問したり答えたりして会話練習をする。				
5回	復習問題	既習の学習内容について練習問題を通してきちんと理解しているかを確認をする。 クラスメートと会話練習をする。 得意な料理レシピを韓国語で書いてみよう！				
6回	聞き取り練習	CDを聞き、聞き取りの練習をする。 聞き取れた内容をハングルで書く練習をする。 聞き取れなかった単語の発音を繰り返し聞いて正しい発音ができるように練習する。				
7回	過去形の作り方	これまで学んできた「해요体」の過去形の作り方を学ぶ。 練習問題を解いたり自分で例を挙げたりしながら覚えるようにする。 クラスメートと互いに学んだ表現を使い、質問したり答えたりして会話練習をする。				
8回	「으語幹用言」の活用	語幹が母音「으」で終わる用言の活用について学ぶ。 練習問題を解いたり自分で例を挙げたりしながら覚えるようにする。 クラスメートと互いに学んだ表現を使い、質問したり答えたりして会話練習をする。				
9回	「안用言」の活用	韓国語の否定表現の一つである「안用言」について学ぶ。 練習問題を解いたり自分で例を挙げたりしながら覚えるようにする。 クラスメートと互いに学んだ表現を使い、質問したり答えたりして会話練習をする。				
10回	復習問題	既習の学習内容について練習問題を通してきちんと理解しているかを確認をする。 クラスメートと会話練習をする。 面接を想定し、韓国語で練習をする。				
11回	尊敬形の作り方	「해요体」の尊敬形の作り方を学ぶ。 練習問題を解いたり自分で例を挙げたりしながら覚えるようにする。 クラスメートと互いに学んだ表現を使い、質問したり答えたりして会話練習をする。				
12回	意志や推量を表す表現	「～するつもりです」といった話し相手の意志や、「～するでしょう」といった推量を表す表現を学ぶ。 練習問題を解いたり自分で例を挙げたりしながら覚えるようにする。 クラスメートと互いに学んだ表現を使い、質問したり答えたりして会話練習をする。				
13回	希望や願望を表す表現	動詞の語幹について、希望や願望を表す表現を学ぶ。 練習問題を解いたり自分で例を挙げたりしながら覚えるようにする。 テスト対策				
14回	期末テスト	期末テスト 韓国文化の紹介				
15回	まとめ	期末テストのフィードバック				

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	エアライン科	
科目名	SPI言語対策			クラス	Q	
担当講師(フルネーム)	前田 恭子			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	毎回実践問題に取り組み、苦手分野や不足している知識を確認する			授業形態	講義	
到達目標	WEBテスト、適性検査、時事問題にも対応できる実力をつける					
使用テキスト	朝日キーワード就職2025 最新時事用語 & 一般常識					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	内定への近道はない	内定獲得に近道はありません。得点は学習量に比例します。 ・授業の進め方、評価方法について ・実践テストの解答と解説				
2回	必ず復習する	問題を解いたままにしませんか。復習して暗記しない限り、また同じ間違えをします。 ・実践テストの解答と解説 ・一般常識 一問一答テスト ・適性検査				
3回	漢字は不可欠	就職試験でも社会人になっても漢字は不可欠です。 ・実践テストの解答と解説 ・一般常識 一問一答テスト ・適性検査				
4回	情報の分析	先輩の受験報告書を活用して、志望企業の過去問を分析しましょう。 ・実践テストの解答と解説 ・一般常識 一問一答テスト ・適性検査				
5回	初めてに慌てない	見慣れない問題でも対応できるよう、例題を見て即時対応ができるよう練習しましょう。 ・実践テストの解答と解説 ・一般常識 一問一答テスト ・適性検査				
6回	苦手の克服	誰にでも苦手分野があります。諦めないで苦手を克服しましょう。 ・実践テストの解答と解説 ・一般常識 一問一答テスト ・適性検査				
7回	得意を伸ばす	あなたの得意分野は何ですか。得意分野は確実に点数を取りましょう。 ・実践テストの解答と解説 ・一般常識 一問一答テスト ・適性検査				
8回	時間配分	全体量を見て、時間配分を考えて解きましょう。 ・実践テストの解答と解説 ・一般常識 一問一答テスト ・適性検査				
9回	みんなができる問題	みんなができる問題が解けないと、内定への道が遠のきます。ケアレスミスに気をつけましょう。 ・実践テストの解答と解説 ・一般常識 一問一答テスト ・適性検査				
10回	ニュースを気にする	ニュースを毎日チェックしていますか。多方面にアンテナを張りましょう。 ・実践テストの解答と解説 ・一般常識 一問一答テスト ・適性検査				
11回	ニュースを読む	時事問題で扱われる地名は必ず場所を確認するようにしましょう。 ・実践テストの解答と解説 ・一般常識 一問一答テスト ・適性検査				
12回	自分の意見を持つ	時事問題について自分なりの意見を言えるように知識を深めましょう。 ・実践テストの解答と解説 ・一般常識 一問一答テスト ・適性検査				
13回	他人の意見を聞く	新聞のコラムや社説を読んで、他人の意見にも耳を傾けましょう。 ・実践テストの解答と解説 ・一般常識 一問一答テスト ・適性検査				
14回	目標を持つ	内定だけが勉強の目標ではありません。何を目標に勉強しているか考えましょう。 ・実践テストの解答と解説 ・一般常識 一問一答テスト ・適性検査				
15回	社会人へのスタート	社会人にふさわしい一般常識は身につきましたか。社会問題にも目を向けて勉強を続けましょう。 ・実践テストの解答と解説 ・一般常識 一問一答テスト ・適性検査				

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	エアライン科	
科目名	SPI非言語対策			クラス	Q	
担当講師(フルネーム)	榎木田裕夫			実務経験	無	
授業概要(内容)	SPIは企業がおこなう就職試験です、授業では非言語(数学系)の得点差がつきやすい計算問題や様々な論理問題を解きます。			授業形態	講義	
到達目標	SPI、玉手箱、SCOAなどの採用試験が解ける計算力や論理的思考能力を身につける。					
使用テキスト	SPI基本問題集(大和書房)					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	Webtテスト対策1		WEBテスト(玉手箱) 計算問題中心の四則逆算、図表の読み取り問題を解く			
2回	Webテスト対策2		WEBテスト(玉手箱) 四則逆算の応用問題、表の空欄の読み取り問題を解く			
3回	確率の問題1		確率とはある条件下で事象が起こる割合をもとめるものです。基本問題を解く			
4回	確率の問題2		確率の標準問題から応用問題を解く			
5回	金銭に関する問題		精算を求める問題、分割を求める問題を解く			
6回	割合と比		割合や比を使って問題を解く			
7回	推論1		推論(正誤)(位置)の問題を解く			
8回	推論2 テスト		推論(順序)(平均)の問題を解く テスト			
9回	資料の読み取り問題1		表やグラフの資料全体の傾向を捉え、素早く計算する力をつける			
10回	資料の読み取り問題2		グラフから変化の傾向をつかみ項目ごとに丁寧に計算する			
11回	図形		面積や体積の基礎から応用問題を解く			
12回	物の流れと比率		表を読み問題を解く			
13回	命題		対偶や三段論法を理解し問題を解く			
14回	装置と回路		関係性や法則を正しくとらえ問題を解く			
15回	前期のまとめ		前期授業のまとめの演習問題を解き、復習、知識の定着を目指す			

対象学年	2年	学期	通年(前期)	学科	エアライン 科	
科目名	コンピュータ			クラス	Q	
担当講師(フルネーム)	乙咩 清美			実務経験	有(通信業界勤務歴)	
授業概要(内容)	タイピング、ビジネスレター(文書、メール等)を繰り返し練習する。 Excelを使って、データの集計や報告書などの練習をする。			授業形態	講義	
到達目標	1年で学習したExcel基礎内容を再確認しながら、自分のスキルとして定着させる。					
使用テキスト	実教出版 30時間でマスターOffice2019					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	パソコンの活用	クラウドについて Microsoftアカウントの取得・確認とクラウド機能の使い方をマスターする。 データのダウンロードやアップロードをマスターする。				
2回	Word基礎・応用	タイピング練習 ビジネス文書作成(ビジネスレター、ビジネスメール) 添付ファイル付きで送信(写真やWord文書のPDFファイルを添付)				
3回	Excel基礎	Excel基礎の復習① 表作成、計算式、関数の挿入 グラフ作成、オートフィル活用				
4回	Excel基礎	Excel基礎の復習② 表作成、計算式、関数の挿入 グラフ作成				
5回	Excel基礎	Excel基礎の復習③ 表作成、計算式、関数の挿入 グラフ作成				
6回	Excel基礎	Excel基礎の復習④ 表作成、計算式、関数の挿入 比率を求める(前年比、達成率、構成比など)				
7回	Excel基礎	関数の練習 IF関数・RANK関数				
8回	Excel応用	関数の練習 VLOOKUP関数・COUNTIF・SUMIF関数				
9回	Excel応用	関数の練習 VLOOKUP関数・COUNTIF・SUMIF関数				
10回	Excel応用	WordとExcelを組み合わせ、報告書作成				
11回	Excel応用	WordとExcelを組み合わせ、報告書作成				
12回	PowerPoint基礎	パワーポイントの画面構成と基本操作 スライド編集 文字入力と装飾、図形・画像などコンテンツの挿入と編集 スライド編集 スライドショーのための効果(アニメーション、画面切替、サウンド、ビデオなど)				
13回	PowerPoint基礎	スライド4枚程度のショートストーリー作成				
14回	PowerPoint基礎	スライド4枚程度のショートストーリー作成・仕上げ				
15回	期末試験	前期期末試験実施				

対象学年	2年	学期	通年(前期)	学科	エアライン科	
科目名	アマデウスアルテア			クラス	Q②	
担当講師(フルネーム)	原田歩			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	GDSの役割を理解する コード検索、予約作成など基本操作を習得する			授業形態	講義	
到達目標	PNRを完成させる					
使用テキスト	amadeus ユーザーガイド予約、早見表					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	・授業の目的、進め方、成績評価方法 ・GDSとは？ ・アマデウスの起動方法				
2回	各種コード検索①	・都市コード、空港コード、航空会社コードなど ・表示内容を読み取る				
3回	各種コード検索②	・復習 ・国コード、州コード、機材コードなど ・表示内容を読み取る				
4回	タイムテーブル	・復習 ・タイムテーブルエントリー ・表示内容を読み取る				
5回	空席照会①	・復習 ・空席照会基本エントリー ・空席照会オプションエントリー				
6回	空席照会②	・復習 ・空席照会オプションエントリー ・空席照会ショートカットエントリー				
7回	復習テスト	・各種コード～空席照会エントリーの復習テスト				
8回	予約①	・直行便フライト予約 ・乗継便フライト予約 ・ARNK入力				
9回	予約②	・復習 ・名前入力				
10回	予約③	・復習 ・連絡先。発券状況、送信元入力 ・PNRを完成させる				
11回	予約④	・練習問題				
12回	予約⑤	・PNRを読み取る				
13回	変更	・復習 ・予約便変更				
14回	キャンセル	・復習 ・予約便キャンセル ・旅客データ訂正				
15回	期末試験	・期末試験 ・まとめ				

対象学年	2年	学期	通年(前期)	学科	エアライン科	
科目名	アマデウスアルテア			クラス	Qクラス	
担当講師(フルネーム)	横瀬 敦子			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	様々なエントリーを使用して、複雑な予約作成を行う 予約操作に加え、運賃の基本(運賃表の見方や規則)を学ぶ			授業形態	講義&演習	
到達目標	基本の予約操作に加え、運賃の基本(運賃表の表示)を習得する					
使用テキスト	amadeus ユーザーガイド予約・運賃 クイックガイド予約・運賃(早見表)					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	タイムスケジュール	タイムテーブルエントリーの復習を行う フライトスケジュール検索SN入力を学ぶ(AN空席照会やTNタイムテーブルと区別させる)				
2回	便利入力	PNR作成スピードアップの秘訣を学ぶ(ページアップ機能 履歴ページの活用方法) グラフィック画面での予約を学ぶ				
3回	アクセスレベル	アクセスレベルの意味を理解する(テキストで概要を理解して実際の操作で学ぶ) GGPCA入力を行う(練習問題使用)				
4回	2区間空席照会	2区間空席照会エントリーを学ぶ 2区間空席照会エントリーのオプション入力にてPNR作成を行う 練習問題にてPNR作成を行う				
5回	PNRの分割	PNR分割とは何かを学ぶ(入力のポイントを理解する) PNR分割操作を行う(練習問題にてPNR完了まで)				
6回	運賃表の表示 I	FQDエントリーを学ぶ FQDエントリーのオプション入力を学ぶ				
7回	運賃表の表示 II	FQD画面確認を行う				
8回	前期・中間テスト	予約操作の応用編 総復習 ※中間試験の実施(PNR作成を主に PNR分割・運賃表FQDも含む)				
9回	中間テスト返却	中間テストの返却と答え合わせ				
10回	運賃規則	FQNエントリーを学ぶ 運賃表から規則を確認する(変更可否、取消手数料、購入期限など)				
11回	PNRからの運賃計算 I	PNR作成後、運賃計算を行う(FXX) 様々な表示から運賃を理解する(複数旅客・PTC別)				
12回	PNRからの運賃計算 II	PNR作成後、運賃計算を行う(FXP) 最安値運賃の仕組みを学ぶ				
13回	期末試験対策	PNR作成～運賃計算 → 答え合わせ 前期期末試験対策(対策用プリント有)				
14回	前期・期末テスト	期末試験のポイントを確認する ※期末試験(筆記と実技)				
15回	前期・総復習	期末試験の返却と答え合わせ				

対象学年	2年	学期	通年(前期)	学科	エアライン科	
科目名	航空業界受験対策CA			クラス	Q③	
担当講師(フルネーム)	高田 絵里子			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	面接対策 本番を想定した面接練習			授業形態	講義&演習	
到達目標	様々な質問に、臆することなく面接に臨める。面接に勝つ印象力の獲得。					
使用テキスト	プリント					
成績評価方法	提出物・授業態度・身だしなみ・出席率により評価 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	授業について 状況確認 身だしなみ				
2回	面接練習(グループ)	面接練習(グループ面接) フィードバック				
3回	面接練習(グループ)	面接練習(グループ面接) フィードバック				
4回	グループワーク・GD	面接練習 就職活動状況に合わせた指導				
5回	面接練習	面接練習 就職活動状況に合わせた指導				
6回	面接練習	面接練習 就職活動状況に合わせた指導				
7回	自己分析・質問内容	自己分析 質問内容まとめ 就職活動状況に合わせた指導				
8回	自己表現コンテスト	コンテスト 就職活動状況に合わせた指導				
9回	他己指導	指導することで自分の能力を高める				
10回	面接練習	面接練習 就職活動状況に合わせた指導				
11回	面接練習	面接練習 就職活動状況に合わせた指導				
12回	将来像	過去現在未来を見つめなおす				
13回	コンテスト	コンテスト 総評				
14回	プレゼンテーション大会	プレゼンテーション大会				
15回	まとめ	模擬面接見直し				

鉄道

学年	科目名
1	鉄道概論
1	鉄道基礎
1	鉄道係員
1	鉄道施設概論
1	鉄道駅実務
1	鉄道営業規則
1	時刻表
1	国内地理Ⅰ
1	国内地理Ⅱ
1	就職活動講座
1	就職筆記試験対策Ⅰ
1	就職筆記試験対策Ⅱ
2	鉄道概論
2	鉄道実務
2	鉄道車両Ⅰ
2	鉄道車両Ⅱ
2	鉄道業界研究
2	就職活動講座
2	就職筆記試験対策Ⅰ
2	就職筆記試験対策Ⅱ
2	面接対策
2	手話
2	コミュニケーションイングリッシュ

対象学年	1年	学期	通年	学科	鉄道科
科目名	鉄道概論			クラス	M
担当講師(フルネーム)	花生 義一			実務経験	有(鉄道業界勤務歴)
授業概要(内容)	鉄道運行に携わるフェールセーフについて学ぶ 鉄道保安装置の仕組みと役割を学ぶ			授業形態	講義&演習
到達目標	鉄道の安全にかかわる規定、用語、装置を知ることにより鉄道の安全を学ぶ				
使用テキスト	わかりやすい鉄道技術(1、2、3)、講師作成プリント				
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施				
	テーマ		授業内容		
1回	オリエンテーション		1.カリキュラムの説明 2.鉄道輸送を安全に運行するための必要条件を学び「安全」に対する意識を高める		
2回	鉄道の安全について①		1.鉄道営業法について学ぶ 2.安全規範に対する教育を実感する 3.安全意識を高める教育について		
3回	鉄道の安全について②		1.鉄道重大事故から学ぶ安全に対する取り組みを学ぶ 2.ATSの概要を学び、鉄道運行の維持に対する各社の取り組みを理解する 3.ATSの種類を学び、各種の役割と特徴を理解する		
4回	鉄道の安全について③		1.コンプライアンスの鉄道事故について 2.過去から学ぶ安全について知る 3.過去の事例研究を行い、鉄道の安全意識を高める		
5回	鉄道の安全について④		1.ヒューマンエラーについて学ぶ 2.規則違反と不安全行動について学ぶ 3.運転事故について学ぶ		
6回	鉄道の安全について⑤		1.ハインリッヒの法則から学ぶ事故防止 2.エラータイプチェックによる個人診断 3.ヒヤリ・ハットについて学ぶ		
7回	鉄道の安全について⑥		1.軌道の概要を学び列車運行に対する安全対策を学ぶ 2.軌道の種類と使用目的の概要を知る 3.軌道設備の概要を知る		
8回	鉄道の安全について⑦		1.レールの製造から設置までの説明 2.レール輸送の概要説明 3.レールの種類と使用概要を知り、鉄道輸送に対する安全性を知る		
9回	鉄道用語		1.鉄道に関わる用語を知り鉄道に対する意識を深める 2.鉄道用語の意味 3.異常時に使われる鉄道用語		
10回	鉄道保安装置①		1.鉄道保安装置概要 ・保安装置の種類を学ぶ ・保安装置の役割を学ぶ		
11回	鉄道保安装置②		1.鉄道保安装置の構造を学ぶ ・地上設備を学ぶ ・用語の意味を理解することにより保安装置の理解を深める		
12回	鉄道車両紹介		1.鉄道車両概要 ・鉄道車両に対する省令を知ることにより、規定内容を同時に知る ・車両接触限界・車両建築限界の把握をする		
13回	期末試験対策		1.知悉度調査を実施する ・知湿度調査を行うことにより理解度を確認する ・理解度の状態を把握し、解説を再度行い、習熟度の向上を図る		
14回	期末試験		1.期末試験 ・理解度の確認及び全体評価		
15回	前期のまとめ		1. 総まとめ、全体質疑 2. 期末試験対策		

対象学年	1年	学期	通年	学科	鉄道科	
科目名	鉄道基礎			クラス	M	
担当講師(フルネーム)	花生 義一			実務経験	有	
授業概要(内容)	鉄道業務に必要な知識を習得し、資質の向上を図ることにより、社会的使命の達成に必要な識見と人格を形成する。			授業形態	講義&演習	
到達目標	鉄道の総合的な専門知識を習得すると共に、安全に対する意識を向上させる。					
使用テキスト	わかりやすい鉄道技術(1、2、3)、講師作成プリント					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		1.カリキュラムの説明 2鉄道の定義や歴史、性質や種類について知る。			
2回	鉄道法規		1.鉄道営業法について学ぶ 2安全規範に対する教育を実感する 3.安全意識を高める教育について			
3回	鉄道の定義		1.鉄道の定義 2.交通の概念 3.日本の鉄道事業者			
4回	鉄道の歴史①		1.鉄道創世記 2.国鉄時代 3.国鉄からJRへ			
5回	鉄道の歴史②		1.JR創世記 2.JR輸送人員ピーク期 3.これから鉄道が生き残るためには			
6回	鉄道法規①		1.鉄道の法規とは 2.鉄道と自動車との違い 3.運転安全規範			
7回	鉄道法規②		1.運転取扱実施基準 2.運転関係 3.列車間の安全確保について学ぶ			
8回	閉そく方式①		1.列車間の安全を確保する方法について考える。 2.通常時の閉そく方式を知る。 3.異常時に列車を走らせる手段や手続きを知る。			
9回	閉そく方式②		1鉄道の安全確保に必要な方式を学ぶ 2.閉そく方式変更について学ぶ 3.伝令法についての取り扱いの解説			
10回	鉄道信号①		1.鉄道信号と交通信号の違いを学ぶ 2.鉄道信号の使命を学ぶ			
11回	鉄道信号②		1.常置信号機を学ぶ 2.信号機の種類を知り役割を学ぶ 3.全国の鉄道信号の違いを学ぶ			
12回	踏切保安装置		1.踏切保安装置の種類を学ぶ 2.踏切保安装置の役割を学ぶ 3.地上装置を学ぶ			
13回	期末試験対策		1.知悉度調査を実施する、期末試験対策 ・知湿度調査を行うことにより理解度を確認する ・理解度の状態を把握し、解説を再度行い、習熟度の向上を図る			
14回	期末試験		1.期末試験 ・理解度の確認及び全体評価			
15回	前期のまとめ		1. 総まとめ、全体質疑 2. 期末試験フィードバック			

対象学年	1年	学期	通年	学科	鉄道科	
科目名	鉄道係員			クラス	M	
担当講師(フルネーム)	花生 義一			実務経験	有	
授業概要(内容)	鉄道運行に携わる各係員の概要と鉄道運行の仕組みについて学ぶ 鉄道係員の役割と責任、心構えについて学ぶ			授業形態	講義&演習	
到達目標	各鉄道係員の仕事内容を身に付け、目標とする職種の重要性を身に付ける					
使用テキスト	わかりやすい鉄道技術(1、2、3)、講師作成プリント					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		1.カリキュラムの説明 2.鉄道運行に関わる職種の種類と職務内容を学び、各係員の概要を習得する 3.鉄道営業法による各係員の職制について学ぶ			
2回	駅員の業務		1.駅の組織を学び駅員が鉄道運行に携わっている位置を学ぶ 2.駅業務の内容を把握し、簡単な業務内容を習得する 3.駅社員の1日の仕事について説明を行い、駅員の特徴を学ぶ			
3回	鉄道乗務員		1.乗務員の職責と使命について学び、各乗務員の特徴を把握する 2.各乗務員の乗務形態を各職種別に説明し把握する			
4回	運行の仕事(車掌)		1.運転係員、営業係員としての車掌業務の使命を学ぶ 2.車掌の運転取り扱い方説明(扉操作・乗車券発売・案内・車内秩序の保持)を行う 3.車掌が起こしやすい事故について説明を行い、安全運行を維持する条件を学ぶ			
5回	鉄道運転士への道		1.運転士の職責及び使命の説明を行い、列車運行に対する重要性を学ぶ 2.運転士国家試験における、各個人が持つべき項目を説明し、試験に対する意識を掴む 3.運転適性検査内容の説明により、運転士受験資格者の選出内容を知る			
6回	運転士養成のカリキュラムと国家試験		1.「動力車操縦者運転免許に関する省令」による受験資格を知る 2.一般的な学科講習科目内容と講習時間、技術講習科目内容と講習時間を学ぶ 3.国家試験実施内容、動力車操縦者養成所等の内容を把握する			
7回	動力車操縦者養成所		1.養成所(研修所、教習所)とは何かを説明し、運転士養成の実態を知る 2.会社内部の養成所の組織内容を知る 3.運転シミュレータ、CAI教材、その他教材を知り、運転士の重要な位置を学ぶ			
8回	鉄道運転士の使命		1.運転士が鉄道運行に対する省令を知り、更に重要な職責であることを知る 2.運転士としての心構えを学び、運転士の業務内容を把握する 3.運転士の1日の仕事内容を説明し、より深く運転士の仕事を学ぶ			
9回	鉄道運転士の事故について		1.事故の種類とそれに対する運転士の教育内容についてを学ぶ 2.事故の分析と原因を追究し、運転士に対し注意義務を学ぶ 3.運転士の事故防止対策内容を学び日々努力する内容を知る			
10回	運転区所の組織		1.習熟度確認を行い現在までの理解度を確認する 2.運転現場の社員の職責と使命を学び、運転士に対する影響を知る 3.運転士の教育、訓練の内容を学ぶ			
11回	鉄道乗務員		1.乗務員の放送一般 ・乗務員のお客さまに対する案内放送の意義と相対的な放送内容の習得を行い実施する ・各場面でのお客さま対応能力を身に付け、基本的な放送を身に付ける			
12回	鉄道運行に関わる係員①		1.司令及びダイヤについて学ぶ ・各指令の種類と役割を学び、指令の重要性を知り、鉄道運行の安全確保にたいする使命を学ぶ ・鉄道ダイヤ作成時の注意点(お客さまの利用しやすいダイヤ)とダイヤグラムとの関係を学び、時刻表がどのような			
13回	期末試験対策		1.知悉度調査を実施する ・知湿度調査を行うことにより理解度を確認する ・理解度の状態を把握し、解説を再度行い、習熟度の向上を図る			
14回	期末試験		1.期末試験 ・理解度の確認及び全体評価			
15回	前期のまとめ		1. 総まとめ、全体質疑 2. 期末試験対策			

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	鉄道科	
科目名	鉄道施設概論			クラス	Mクラス	
担当講師(フルネーム)	加来 篤史(代表者)			実務経験	有(鉄道業界勤務歴)	
授業概要(内容)	鉄道施設の基礎を学ぶとともに、 鉄道にとって最も重要な安全について学びます。			授業形態	講義&演習	
到達目標	鉄道に係る施設保守の使命および知識を身につける					
使用テキスト	なし					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2	
期末試験	△ 授業中に実施					
木曜日	テーマ	授業内容				
1回 1限	オリエンテーション	授業の進め方と評価方法 JR九州における施設のお仕事				
2回 2限	安全概論	鉄道における安全対策 ヒヤリ・ハット、リスクマネジメント、安全ちゃんねる視聴				
3回 1限	施設の基礎	線路の構造、軌道の材料、建築限界				
4回 2限	施設の基礎	線路の構造、軌道の材料、建築限界				
5回 1限	施設実習	実設備を用いた現役鉄道施設社員による実習 JR九州遠賀川実習センター VR(触車・墜落体感)、列車待避訓練(列車風圧体感)				
6回 2限	施設実習	実設備を用いた現役鉄道施設社員による実習 JR九州遠賀川実習センター VR(触車・墜落体感)、列車待避訓練(列車風圧体感)				
7回 3限	施設実習	実設備を用いた現役鉄道施設社員による実習 JR九州遠賀川実習センター VR(触車・墜落体感)、列車待避訓練(列車風圧体感)				
8回 4限	施設実習	実設備を用いた現役鉄道施設社員による実習 JR九州遠賀川実習センター VR(触車・墜落体感)、列車待避訓練(列車風圧体感)				
9回 1限	保線の基礎	保線基礎概論、踏切等保線設備の役割				
10回 2限	新幹線の基礎	新幹線設備の保全業務				
11回 1限	土木の基礎	土木基礎概論、橋梁等土木設備の役割				
12回 2限	建築の基礎	建築基礎概論、駅等建築設備の役割				
13回 1限	機械の基礎 (施設実習)	機械基礎概要、EV等機械設備の役割 JR九州エンジニアリング福岡事業所における券売機、自動改札機の取り扱い体験				
14回 1 2限	機械の基礎 (施設実習)	機械基礎概要、EV等機械設備の役割 JR九州エンジニアリング福岡事業所における券売機、自動改札機の取り扱い体験				
15回 1限	期末試験	まとめ				

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	鉄道科
科目名	鉄道駅実務			クラス	M
担当講師(フルネーム)	西 政明(マック24)			実務経験	有(鉄道業界勤務歴)
授業概要(内容)	交通業界、特に鉄道業界の動向、経営・運営概況を学ぶ。 鉄道駅業務の仕組み、内容、役割等を理解し、基本知識・スキルを習得する。			授業形態	講義 & 演習
到達目標	交通・鉄道関連に従事するための基本的資質の育成・向上を図る。				
使用テキスト	なし				
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	オリエンテーション	シラバスの概要、講義の進め方等の説明 日本鉄道の概況、鉄道専門用語、略号等の鉄道一般常識の確認 交通関連トピックス解説			
2回	鉄道経営の概況	JRグループの概況とビジネスモデル 交通関連トピックス解説 コミュニケーションワーク			
3回	〃	主要民鉄(東日本)の概況とビジネスモデル 交通関連トピックス解説 コミュニケーションワーク			
4回	〃	主要民鉄(西日本)の概況とビジネスモデル 交通関連トピックス解説 コミュニケーションワーク			
5回	鉄道事業の運営	鉄道会社の組織・業務運営体制(営業・運輸) 交通関連トピックス解説 コミュニケーションワーク			
6回	〃	鉄道会社の組織・業務運営体制(施設・電気・新幹線) 交通関連トピックス解説 コミュニケーションワーク			
7回	鉄道駅の役割・機能	交通サービスの生産要素と鉄道駅の役割・機能 交通関連トピックス解説 コミュニケーションワーク			
8回	鉄道駅の今後の役割	鉄道駅の今後の役割とその方向性 交通関連トピックス解説 コミュニケーションワーク			
9回	鉄道駅業務の概要	鉄道駅の業務運営体制と部門別概要 交通関連トピックス解説 コミュニケーションワーク			
10回	〃	鉄道駅の付帯業務及び安全・地球環境保全への取り組み 交通関連トピックス解説 コミュニケーションワーク			
11回	鉄道駅運営の実態と課題	鉄道駅の運営運営体制の変遷と今後の課題 交通関連トピックス解説			
12回	鉄道駅社員のキャリアパス	鉄道会社の採用・社員運用 交通関連トピックス解説			
13回	社会人・組織人の基礎知識	交通関連に従事するための基礎知識(法、規範、ルール等) 交通関連トピックス解説			
14回	鉄道駅業務見学	JR博多駅見学(予定)			
15回	まとめ	振り返りと要点整理 期末試験の傾向と対策 交通関連トピックス解説			

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	鉄道科
科目名	鉄道営業規則			クラス	M
担当講師(フルネーム)	西 政明(マック24)			実務経験	有(鉄道業界勤務歴)
授業概要(内容)	鉄道営業に関する基本的な知識・スキルを習得する。 鉄道営業規則をベースに運賃・料金や各種サービス等を識る。			授業形態	講義&演習
到達目標	鉄道営業の基本となる乗車券類の取扱ルール、各種サービスを理解し、実践できるスキルを身につける。				
使用テキスト	旅客営業規則				
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	オリエンテーション	シラバスによる講義概要及び進め方等 鉄道営業に関する法・規則のあらまし			
2回	旅客営業規則の概要	旅客営業規則総則・通則			
3回	乗車券類	乗車券類の種類、発売日、有効期間、大人・こども等			
4回	〃	〃			
5回	運賃・料金	普通運賃、定期運賃、割引運賃、急行料金等、運賃計算の特例、その他			
6回	〃	〃			
7回	〃	〃			
8回	乗車券類の効力・様式等	通則・特例、有効期間、継続乗車、途中下車、選択乗車、改札・引き渡し			
9回	乗車変更等	乗車変更、払い戻し、紛失			
10回	入場券等	入場券、手回り品、携帯品一時預かり			
11回	障害者割引制度等	身体障害者割引、知的障害者割引、特定者用定期乗車券			
12回	トクトクきっぷ	通年発売、期間限定発売等			
13回	その他のサービス	車いす対応、車内サービス、ジパング倶楽部、駅レンタカー、便利なカード等			
14回	特別講義	営業現場責任者等の経験談、今後の課題等について			
15回	質疑応答・まとめ	振り返り、期末試験対策等			

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	鉄道科
科目名	時刻表			クラス	M
担当講師(フルネーム)	友納真			実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	JR時刻表をスムーズに使用し、お客さま案内に必要な知識を確実に取得する条件に沿って、時刻表で乗車する列車の時刻・所要時間・経路を確認する			授業形態	講義&演習
到達目標	駅案内に必要な時刻表の見方を身に付け、駅業務に必要な知識を身に付ける				
使用テキスト	JR時刻表・講師作成プリント・Google Classroom(Forms)				
成績評価方法	・確認テスト(期末試験)70% 平常点30%(小テスト・提出物等含む) ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施				
テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション	・授業の進め方／・評価方法 ※シラバスを使って説明します。 ・日本の地方区分・JR駅・路線名と旧国名 ・時刻表を使って調べてみよう			
2回	JRの基礎知識①	・旅客鉄道会社(JR)とは ・旅客営業規則・JR6社・JR各社路線図・新幹線と特急列車			
3回	JRの基礎知識②	・運賃と料金の違い ・JR乗車券類の発売・発売日・有効期間 ・時刻表検索演習			
4回	運賃①	・運賃の基本 ・3島会社の加算額・通過連絡運輸の取り扱い ・運賃計算演習			
5回	運賃②	・運賃の特例(特定都区市内・大都市近郊区間) ・運賃の割引(往復割引・学生割引) ・運賃計算演習			
6回	料金①	・料金の種類(5つの料金)と計算 ・料金計算演習			
7回	料金②	・新幹線内乗継 ・料金計算演習			
8回	料金③	・山形・秋田新幹線の料金計算 ・西九州新幹線の料金計算 ・料金計算演習			
9回	変更・払戻	・変更・払戻 ・払戻計算演習			
10回	寝台特急・団体	・寝台特急列車の計算 ・団体の扱い			
11回	時刻表検索①	・条件に沿ってJR時刻表を使って検索(列車の時刻・所要時間・経路)			
12回	時刻表検索②	・条件に沿ってJR時刻表を使って検索(列車の時刻・所要時間・経路)			
13回	時刻表検索③	・条件に沿ってJR時刻表を使って検索(列車の時刻・所要時間・経路)			
14回	時刻表検索④	・条件に沿ってJR時刻表を使って検索(列車の時刻・所要時間・経路)			
15回	確認テスト(期末試験)	・確認テスト実施			

・この講義では**運賃・料金等計算**をしますので、**電卓の使用**を認めます。
 (スマートフォンの電卓機能は使用不可)
 ・講師作成プリントは講義時に配布します。
マーカーを用意してください。
 ・**小テスト**(数回実施)は**Google Forms**を使用し、**スマートフォン**で解いてもらいます。

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	鉄道科
科目名	国内地理 I			クラス	M
担当講師(フルネーム)	山本真美			実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	カテゴリー別に観光資源を学ぶ 各都道府県の観光資源(観光地、温泉、祭り、名産品など)を学ぶ			授業形態	講義
到達目標	国内観光資源全般の知識を増やし、国内地理検定(中級)や国内旅行業務取扱管理者試験の合格を目指す				
使用テキスト	旅に出たくなる地図、国内観光資源、国内観光地理サブノート				
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施				
	テーマ		授業内容		
1回	4/09オリエンテーション		授業の進め方、評価方法の説明 地理検定の問題を解いてみよう 今年、話題の観光地を考える		
2回	4/16地理検定対策		小テスト 3. 滝・鍾乳洞 5. 湖・沼・池 6. 河川 テキスト、プリントのキーワードをチェック		
3回	4/23地理検定対策		小テスト 9. 島 テキスト、プリントのキーワードをチェック		
4回	5/07地理検定対策		小テスト 13. 庭園・名園 15. 美術館・博物館 16. 文学館・記念館 18. テーマパーク 19. 祭り など テキスト、プリントのキーワードをチェック		
5回	5/14地理検定対策		小テスト 温泉(西日本) テキスト、プリントのキーワードをチェック		
6回	5/21過去問題を解く		地理検定過去問題(40分) 自己採点、間違った箇所を覚える		
7回	5/28過去問題を解く		地理検定過去問題(40分) 自己採点、間違った箇所を覚える		
8回	6/04 北海道		北海道 旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入		
9回	6/11 東北①		青森、岩手 旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入		
10回	6/18 東北③		山形、福島 旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入		
11回	6/25 関東②		茨城、埼玉、千葉、東京 旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入		
12回	7/09 中部③		長野、岐阜、愛知、三重 旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入		
13回	7/16 関西②		京都、滋賀、奈良 旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入		
14回	7/23 中国		岡山、広島、山口、鳥取、島根 旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入		
15回	7/30 九州②		大分、宮崎、鹿児島 旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入		

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	鉄道科
科目名	国内地理Ⅱ			クラス	M
担当講師(フルネーム)	山本真美			実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	カテゴリー別に観光資源を学ぶ 各都道府県の観光資源(観光地、温泉、祭り、名産品など)を学ぶ			授業形態	講義
到達目標	国内観光資源全般の知識を増やし、国内地理検定(中級)や国内旅行業務取扱管理者試験の合格を目指す				
使用テキスト	旅に出たくなる地図、国内観光資源、国内観光地理サブノート				
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施				
	テーマ		授業内容		
1回	4/12地理検定対策	1. 山岳 2. 峠・峡谷・渓谷 4. 高原・湿原 テキスト、プリントのキーワードをチェック			
2回	4/19地理検定対策	小テスト 7. 岬・半島 8. 海岸・砂丘 テキスト、プリントのキーワードをチェック			
3回	4/26地理検定対策	小テスト 11. 神社 12. 寺院 21. 城・城跡 テキスト、プリントのキーワードをチェック			
4回	5/10地理検定対策	小テスト 温泉(東日本) テキスト、プリントのキーワードをチェック			
5回	5/17地理検定対策	小テスト 23. 日本の世界遺産 25. 国立公園 テキスト、プリントのキーワードをチェック			
6回	5/24過去問題を解く	地理検定過去問題(40分) 自己採点、間違った箇所を覚える			
7回	5/31過去問題を解く	地理検定過去問題(40分) 自己採点、間違った箇所を覚える			
8回	6/14 東北②	宮城、秋田 旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入			
9回	6/21 関東①	栃木、群馬 旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入			
10回	6/28 中部①	石川、福井、富山 旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入			
11回	7/05 中部②	山梨、静岡、新潟 旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入			
12回	7/12 関西①	大阪、兵庫、和歌山 旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入			
13回	7/19 四国	徳島、香川、愛媛、高知 旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入			
14回	7/26 九州①	福岡、佐賀、長崎、熊本 旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入			
15回	8/02沖縄、前期のまとめ	沖縄 名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入 前期のまとめ			

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	鉄道科	
科目名	就職活動講座			クラス	M	
担当講師(フルネーム)	三石 佳代子			実務経験	有(鉄道業界勤務歴)	
授業概要(内容)	自己分析を行い、自分の強みを知る。 鉄道業界を知るため講師の経験を伝える。			授業形態	講義	
到達目標	鉄道業界に絡めた自己分析をし自己PRと志望動機等を作成、前期終了時には自信をもって自分の強みを相手に伝えることができるような人物になることを目指す。					
使用テキスト	・専門学校生のための就職内定基本テキスト ・EMPLOYMENT NOTE ・鉄道業界就職ガイドブック2025 ・講師作成プリント					
成績評価方法	・課題点100%(ただし、平常点も含む) ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		講師自己紹介、学生自己紹介(志望先、授業に望むこと等) 授業の進め方の説明			
2回	講師JR九州での経験①		工場検査係、運転士養成講座、運転士見習い、国家試験合格まで			
3回	講師JR九州での経験②		本務運転士、運用指令、育児休業、支社運輸総務担当、研修センター講師			
4回	就職活動の流れ		就職室の利用方法 IBCでの就職活動ルール			
5回	自己分析①		自分自身をどれだけわかっているか 自分のライフスタイルを振り返り、将来の夢や目標を明確にする 自己分析の意義を知り、過去・現在の自分を掘り起こしながら自分史を作成する			
6回	自己分析②		自分史、自己分析シートから、自分自身の強み・弱みを明確にする			
7回	他己分析		クラスメイトとグループワークをし、客観的に自身の性格を把握する			
8回	自己分析③		自己分析まとめ			
9回	自己PR作成①		自己分析、他己分析からPRできるものをピックアップして、肉付けする 企業でどう活かすのかを考え文章にする			
10回	自己PR作成②		300字程度で書いてみよう 自分自身の強み、長所短所について			
11回	職種研究 乗務員 (運転士・車掌)		運転士・車掌の仕事の概略を学び、なりたい職種にどのような力が必要かを知り 志望動機につなげる			
12回	職種研究 (駅員・パーサー)		駅員・パーサーの仕事の概略を学び、なりたい職種にどのような力が必要かを知り 志望動機につなげる			
13回	志望動機の作り方 (鉄道業界編)		個人別志望動機を自己分析から抽出する 鉄道業界の求める人物像と自分の強みをどのように関連付けて表現するか 志望と根拠の確認			
14回	志望動機の作成 (鉄道業界編)		300字以内で書いてみよう			
15回	前期の振り返り		自分自身をどれだけ知ることができたかを確認する 前期のまとめ			

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	鉄道科	
科目名	就職筆記試験対策 I			クラス	M	
担当講師(フルネーム)	前田 恭子			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	就職試験の筆記試験(SPI言語、一般常識)への対策授業			授業形態	講義	
到達目標	就職筆記試験の点数を確実に取るために基礎学力の向上を目指す					
使用テキスト	一般常識と時事問題をひとつひとつわかりやすく(Gakken)					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	目指せ「漢検2級」		授業の進め方、評価方法、課題についての説明 漢字検定模擬試験(現在取得している級より上の級の問題に挑戦する)			
2回	地理基礎知識(1)		日本地理について知識を確認する (日本の国土、都道府県庁所在地、政令指定都市、領土問題)			
3回	地理基礎知識(2)		世界地理について知識を確認する (世界地図、主要都市の首都、時差)			
4回	地理基礎知識(3)		日本と地球の環境問題について学ぶ 時事問題で扱われる国や地域について学ぶ			
5回	国際(1)		国際連合のしくみについて学ぶ (主要機関、専門機関)			
6回	国際(2)		ヨーロッパ連合および地域協定について学ぶ 経済や安全保障にかかわる条約や機関を学ぶ			
7回	国際(3)		主要国首脳会議(G7サミット)について学ぶ			
8回	政治(1)		日本国憲法について学ぶ (三権分立、国会のしくみ)			
9回	政治(2)		内閣と行政について学ぶ (内閣のしくみ、省庁とその役割)			
10回	政治(3)		裁判所について学ぶ (裁判所のしくみ、裁判員制度)			
11回	政治(4)		地方自治について学ぶ (地方自治体の組織、直接請求権、地方財政)			
12回	経済(1)		経済の三主体について学ぶ (家計・財政・企業のしくみ)			
13回	経済(2)		市場経済と景気について学ぶ (需要・供給、景気変動)			
14回	経済(3)		金融について学ぶ (日本銀行の役割、為替相場、主要国の通貨単位)			
15回	前期のまとめ		前期で学習した内容を復習 夏季休暇中の課題について説明			

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	鉄道科 夜間総合観光科
科目名	就職筆記対策Ⅱ			クラス	M Z
担当講師(フルネーム)	新型コロナ禍後テスト形式はWeb 鉄道系 ホテル 航空型企業の過去問を中心に出題が予想される問題をできるだけわかりやすく講義します。この科目は予習よりも復習に力を入れてください。玉手箱SPI能力検査試験に合格しなければ面接には進めません。キツイけど一緒に頑張りましょう。			実務経験	無
授業概要(内容)				授業形態	講義
到達目標	鉄道系などの企業の就職試験に合格するのに必要な非言語分野の学力を修得することが出来ます。				
使用テキスト	SPI基本問題集 大和書房				
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施				
テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション・基礎事項の確認 テキストp20～42	講義指針、内容などに関する事項 各業界の採用試験形式と最近の試験傾向 SPIなどは公務員試験に採用されている数的推理・判断推理に似ています。できるだけ方程式を使わないで問題を処理する能力が要求されます。特に最近の推論という分野は、問題文を見て論理的な思考を用いてその場で解答を導きます。数学ができるからと言っても、推論が解けるとは限りません。逆に数学ができなくても推論は解けます。問題が発生したとき、その場で考えて問題を推理し論理的に処理する能力があればそれでいいです。数学苦手な人も自信を持ってください。			
2回	鶴亀算1 連立方程式 テキスト p50～80	約1300年前の奈良時代に中国から伝わった考え方。鶴と亀が合わせて20匹(羽) 鶴と亀合わせた足の数は70本 鶴と亀はそれぞれ何匹? 大人料金1300円子供料金600円 消しゴム35円鉛筆60円など。鶴亀算の出題率は非言語のベスト5に入ります。最近のテストセンターでは、鶴亀算が動く条件も出題されています。連立方程式を使って解くのが一般的ですが、自分の解きやすい解き方で解いて短時間で正解にたどり着ければそれでよいです。			
3回	鶴亀算2 連立方程式賠償算 テキスト p50～80	約1300年前の奈良時代に中国から伝わった考え方。鶴と亀が合わせて20匹(羽) 鶴と亀合わせた足の数は70本 鶴と亀はそれぞれ何匹? HONDAのバイクとトヨタの車が合わせて20台あります。バイクと車のタイヤの数を数えたら64本ありました。バイクと車はそれぞれ何台ありますか? ある仕事をするのに、商品1個を仕上げると、1500円のバイト料がもらえる。商品を壊してしまうと、商品1個につきバイト料はもらえないどころか、1個につき2000円弁償しなければならぬ。バイトの学生が20個仕上げ、バイト料16000円をもらった。この学生は商品を何個壊しましたか			
4回	速さ・時間・距離 1 旅人算 p86～109	この問題は旅人算・追いつけ算・出会い算と呼ばれています。この分野もほとんどすべての試験形式で、出題されます。距離と時間と速さの関係性がポイントです。速さとかかる時間が逆比の関係性にあることがキモです。実際の入社試験の過去問を解いていきましょう。有名な問題は、Aが分速60mで寮から駅に向かって信号機のない直線道路歩き始めた。その15分後、Bが分速80mで追いつけた。Bは何分後寮から何mの地点でAに追いつけますか? また鉄橋通過算もあります。時速と列車と鉄橋の長さが与えられている場合、列車がこの鉄橋を通過するのに何秒かかりますか? ポイントは時速を秒速に変換する点です。			
5回	速さ・時間・距離 2 旅人算 流水算p86～109	この問題は旅人算・追いつけ算・出会い算と呼ばれています。 出会い算とは、寮から勤務のホテルまで、信号機なしの直線道路で、17km離れています。Aが寮から勤務先のホテルに出発するため、午前8時に自転車から時速7kmで向かいました。他方勤務明けのBは寮に戻るため、バイクで、午前8時に時速21kmでホテルを出発しました。AとBは何時何分に寮から何m? ホテルから何mの地点で出会いますか? 流水算とは、川の上流A地点と、川の下流のB地点を船で往復する場合、静水時の船の速さや、川の流れの速さを求める問題です。			
6回	食塩水の濃度1 p109～119	SPI・SCOAの分野で最重要の問題 出題率の2トップのうちの一つです。毎年航空・旅行・ホテルなどの企業で出題されています。食塩水の問題の正体をあばいてみせます。なぜ出題頻度が高いのか? 食塩水の問題は数学的思考を見るのに適しているからだと思います。 実際、鉄道の駅 ホテル、空港、プライダル式場で、濃度7%の食塩水100g下さいと言われることはないと思います。①食塩水Aに、食塩を混ぜて、できた食塩水Bの濃度は何%? ②濃度の異なる食塩水Aと食塩水Bを混ぜ合わせた時に出来る食塩水Cの濃度は何%?			
7回	食塩水の濃度2 p109～119	SPI・SCOAの分野で最重要の問題 出題率の2トップのうちの一つです。毎年航空・旅行・ホテルなどの企業で出題されています。食塩水の問題の正体をあばいてみせます。なぜ出題頻度が高いのか? 食塩水の問題は数学的思考を見るのに適しているからだと思います。 実際、ホテル、空港、プライダル式場で、濃度7%の食塩水100g下さいと言われることはないと思います。③食塩水Aに水または食塩を混ぜて、食塩水Bを作るには水、または食塩を何g加えるといですか? ④食塩水A(濃度13%重さ270g)を煮沸して出来た食塩水B(重さ190g)の濃度は? 煮沸するのは水だけがポイント			
8回	年齢算 テキストに無し	年齢算の正体を明らかにします。年齢算にはいろいろな解き方があります。自分の解きやすい解き方で解いて構いません。大切なことは早く、正確に正解することです。SPI非言語は小学校高学年の文章題で学習した内容が非常に多いです。小学校で習ったから、簡単ではありませんよ。中学・高校の数学のほうが問題によっては簡単なケースがたくさんあります。 SPI非言語と数学は必ずしも同じではありません。それが数学と言わずに、SPI非言語と命名されている理由だと思います。			
9回	比と割合 玉手箱(計数理解) テキストに無し	割合の考え方を基本に問題演習を実践します 割引・割り増しの考え方を理解できるようにします。 この理解は損益算につながっていきます。また比の問題はいろいろな形でよく出題されます。例えばバラが全部で90本 赤バラと白バラの日の比が6:3の時赤バラをさらに30本増やしたとき赤バラと白バラの比率は何:何になりますか? 比の問題のポイントは比の差と比の和です。SPI・3でも頻出分野です。玉手箱は計数理解という簡単な方程式を使った問題が50問 1問平均8秒以内で時間との闘い。			
10回	確率1 Probability テキストp158～177	確率は必ず出題されます。絶対に理解しておきましょう。 確率については最大が1です。100%でも10割でもかまいません。 公式は $0 < P < 1$ Probability 試験のポイント(少なくとも)余事象の理解です。余事象の場合、解答欄の選択肢は、必ず【1-分数】を選択することになります。とても大事なので1年後期でも学習します。 ある日のホテルの宿泊客35名。内訳は男性は21名女性14名。翌朝2人がチェックアウトしました。①チェックアウトした二人が二人とも女性だった確率は? ②二人のうち少なくとも一人が女性だった確率は?			
11回	順列1 Permutation p136～145	順列の基本的な考えは難しくありません。小学校中学校の時に理解できていない学生もたくさんいます。もう一度じっくり考えてみると必ず理解できます。 公式は、 nPr $P=permutation=順列$ nは全体の数字rはn個(人)の中から取り出して並べた時の数です。公式に当てはまるだけで絶対に出題されません。 順列も1年後期でさらに難しい問題に挑戦します。 SPI・3になってから、重複順列・円順列も出題されています。数珠順列は出題されていません			
12回	組み合わせ1 Combination テキストpp146～157	順列が理解できないと組合せは理解できません。順列ではABC ACB BAC BCA CAB CBAはすべて別と考えます。つまり並び方が違うと別物と考えます。組合せは列(並び方)ではなく、中身・内容で考えるので、ABC=CBAまで全て同じと考えます。つまり組み合わせとしては、1個です。 公式 nCr $C=Combination$ 公式の意味も理解しましょう。 組み合わせも1年後期でさらに難しい問題に挑戦します。			
13回	仕事算1 テキストに無し	仕事算の意味=ある人、ある機械が一日又は一時間一分間当たりどれだけの仕事をするのかの問題 仕事算の基本問題・公式①一日(一時間)当たりの仕事量= $1 \div$ かかった日数(時数分秒数) Aがホテルのある業務21日かけて完了した。Aの一日当たりの仕事量は21分の1 数学では全体を1とする場合がとて多い。この場合の1(いち)はoneではなく、allの意味です。日本語としても、いち=allの意味に使われています。詳しくは講義の中で。			
14回	仕事算2 推論 暗号問題 テキストに無し	仕事算の応用問題 A一人だと27日(27時間)、B一人だと33日(33時間)、C一人では40日(40時間)かかる仕事をABCの3人ですると何日(何時間)で終わるか? ABC3人で2日間仕事をしたが、Aが途中でサボった為BC二人で残りの仕事をした場合最初から数えて何日(何時間)に完了する? など 暗号問題は公務員採用試験には出題されていますが、従来SPI・2には出題、されていませんでした。SPI・3には暗号問題があります。知能検査みたいな問題で、センスがためられます。何問かチャレンジしましょう。頭の柔らかさでセンスがためられます。			
15回	構造的把握力検査 前期学習の総まとめ テキストp280～283	新傾向の問題 鶴亀算 速さ・時間・距離 食塩水の濃度 確率 順列 組み合わせ 玉手箱の計数処理 後期学習の最重要分野の推論について			

対象学年	2年	学期	通年	学科	鉄道科	
科目名	鉄道概論			クラス	N	
担当講師(フルネーム)	花生 義一			実務経験	有	
授業概要(内容)	乗務員の行路作成により、乗務員勤務に対する知識を植え付ける 車両運用手配を学び異常時に対する取扱いを身につける			授業形態	講義&演習	
到達目標	鉄道の安全に対する知識と概要を身につける					
使用テキスト	わかりやすい鉄道技術(1、2、3)、講師作成プリント					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		1.カリキュラムの説明を行う 2.ダイヤグラムから乗務員の行路を各自作成する説明を行う ・行路作成について入力説明を行う			
2回	ダイヤグラム作成作業①		1.作業用記号を行路ごと列車に記入する 2.乗務員の動きを把握するための説明を行い、各自が乗務員の作業を把握する			
3回	ダイヤグラム作成作業②		1.ダイヤグラムから乗務員の行路を各自作成準備を行う 2.ダイヤグラムと乗務員時刻表及び行路表の照合を行い、よりダイヤに詳しく説明を行う 3.乗務員の作業を把握することにより知識を深める			
4回	ダイヤグラム作成作業③		1.ダイヤグラムから乗務員の行路を各自作成準備を行う 2.ダイヤグラムと乗務員時刻表及び行路表の照合を行い、よりダイヤに詳しく説明を行う 3.乗務員の作業を把握することにより知識を深める			
5回	ダイヤグラム作成作業④		1.ダイヤグラムから乗務員の行路を各自作成準備を行う 2.ダイヤグラムと乗務員時刻表及び行路表の照合を行い、よりダイヤに詳しく説明を行う 3.乗務員の作業を把握することにより知識を深める			
6回	ダイヤグラム作成作業⑤		1.ダイヤグラムから乗務員の行路を各自作成準備を行う 2.ダイヤグラムと乗務員時刻表及び行路表の照合を行い、よりダイヤに詳しく説明を行う 3.駅作業と乗務員の作業を確認する			
7回	ダイヤグラム作成作業⑥		1.ダイヤグラムから乗務員の行路を各自作成準備を行う 2.各行路の染め込みを行い、繋がりを確認する 3.乗務員の作業記号を確認する			
8回	乗務員行路表作成作業①		1.各班ごと乗務員行路表の発表を行う ・班ごとの解説を行うことで乗務員の勤務に対する知識が認識できる ・行路作成上の注意点を学ぶことによりより深い知識を得られる			
9回	乗務員行路表作成作業②		1.各班ごと行路内容計算を行い乗務員勤務を把握する ・行路内容により、班ごとに振分を行い全員が力を合わせ勤務形態を決める ・乗務員職場の雰囲気を感じ、乗務員に対する意識を実感させる			
10回	乗務員行路表作成作業③		1.各班ごと行路内容計算を行い乗務員勤務を把握する ・行路内容により、班ごとに振分を行い全員が力を合わせ勤務形態を決める ・乗務員職場の雰囲気を感じ、乗務員に対する意識を実感させる			
11回	乗務員行路表作成作業④		1.各班ごと行路内容計算を行い乗務員勤務を把握する ・行路内容により、班ごとに振分を行い全員が力を合わせ勤務形態を決める ・乗務員職場の雰囲気を感じ、乗務員に対する意識を実感させる			
12回	乗務員勤務		1.各班ごと行路を決め、乗務員手配及び車両手配の応用を学ぶ ・車両故障に対する乗務員手配と車両手配を考え発表を行う ・乗務員疾病に対する乗務員手配を考え発表を行う			
13回	期末試験対策		1.知悉度調査を実施する ・知湿度調査を行うことにより理解度を確認する ・理解度の状態を把握し、解説を再度行い、習熟度の向上を図る			
14回	期末試験		1.期末試験 ・理解度の確認及び全体評価			
15回	前期のまとめ		1.総まとめ、全体質疑 2.期末試験対策			

対象学年	2年	学期	通年	学科	鉄道科	
科目名	鉄道実務			クラス	N	
担当講師(フルネーム)	花生 義一			実務経験	有	
授業概要(内容)	鉄道運行に伴う、各職種別の異常時取扱いを学びます 異常時対応能力及びお客さま対応能力向上を目指します			授業形態	講義&演習	
到達目標	鉄道員が持つべき知識を習得し、実際に近い行動力を身に付ける					
使用テキスト	わかりやすい鉄道技術(1、2、3)、講師作成プリント					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	鉄道用語説明		1.鉄道運行に必要な用語を学び異常時対応能力を養う 2.用語の役目(必用に応じた使用方法説明) 3.防救連に対する重要性の説明を行い対応の基礎を学ぶ			
2回	異常時		1.異常時に対する各役割 ・鉄道係員各職種における異常事対応の説明を行い理解度を深める 2.異常時の対応を実際に仮説を行い各自役割設定により対応を行うことにより行動能力を植え付ける			
3回	列車遅延		1.列車遅延に対する各職種の対応方 ・各職種別ごとのお客さまに対する異常時対応の実践を行うことにより、お客さま対応能力の習得を行う			
4回	車両故障①		1.各職種の対応方(電車編) ・運転士は、電気配線図を用いて故障原因を解明し異常時対応能力を身に付ける ・運転士以外の職種においてもお客さま対応能力を身に付ける			
5回	車両故障②		1.各職種の対応方(気動車編) ・運転士は、電気配線図を用いて故障原因を解明し異常時対応能力を身に付ける ・運転士以外の職種においてもお客さま対応能力を身に付ける			
6回	保安装置故障①		1.各職種の対応方(出発信号機及び場内信号機) ・運転士及び車掌の対応及び輸送指令員との手続き対応を行い実践に迫った体験を行う ・乗務員以外の職種においてのお客さま対応能力を身に付け、異常時能力向上を目的とする			
7回	保安装置故障②		1.各職種の対応方(転てつ器及びATS) ・運転士及び車掌の対応及び輸送指令員との手続き対応を行い実践に迫った体験を行う ・お客さま対応能力及び保安装置について再周知を行う			
8回	急病人対応		1.各職種の対応方(車内にて急病人発生) ・運転士及び車掌の対応及び輸送指令員との手続き対応を行い実践に迫った体験を行う 2. 習熟度確認			
9回	踏切及び人身事故①		1.各職種の対応方を説明(鉄道人身傷害事故・踏切障害事故) ・運転士及び車掌の対応及び輸送指令員との手続き対応を行い実践に迫った体験を行う ・運転士以外の職種においてもお客さま対応能力を身に付ける			
10回	踏切及び人身事故②		1.鉄道障害事故時の現場責任者の取扱を学ぶ ・各職別対応の復習とまとめを行い注意すべき点を把握させる 2. 人身事故発生時のモックアップを使用した取扱いの実施			
11回	異常時対応全般説明		1.異常時対応能力確認 ・対応能力の判定及び習熟度確認を行う 2.鉄道実務の再周知を行い、より理解を深める			
12回	異常時発生時の車両・運用手配		1. 車両運用の条件を学び運行にあつた車両手配を学ぶ 2. 運用変更手配表の説明 3. 運用手配表に沿った車両運用・乗務員手配を行う			
13回	期末試験対策		1.知悉度調査を実施する ・知湿度調査を行うことにより理解度を確認する ・理解度の状態を把握し、解説を再度行い、習熟度の向上を図る			
14回	期末試験		1.期末試験 ・理解度の確認及び全体評価			
15回	前期のまとめ		1.総まとめ、全体質疑 2.前期授業の学習を振り返り、鉄道に対する意識を深める 3.期末試験対策			

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	鉄道科
科目名	鉄道車両Ⅰ(電車)			クラス	N
担当講師(フルネーム)	花生 義一			実務経験	有
授業概要(内容)	鉄道車両の基本的な仕組みを理解し、運転理論・車両技術等の専門知識を身につける 電気車の最新技術の応用と、制御システムの基礎知識・技術習得を目的とする			授業形態	講義&演習
到達目標	鉄道車両の安全性・信頼性を図ったシステムと、フェールセーフ技術の必要性を身につける				
使用テキスト	わかりやすい鉄道技術(1、2、3)、講師作成プリント				
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	オリエンテーション (ブレーキ装置の概要)	1.カリキュラムの説明を行う 2.鉄道車両のブレーキ装置、及びブレーキシステムの基礎知識を身につける 3.ブレーキ装置の種類・構造、及びその機能についての知識・技術を学ぶ			
2回	鉄道車両ブレーキ装置概 要	1.鉄道車両に関する技術上の基準を定める法令についての知識を習得する (常用ブレーキ装置 留置ブレーキ装置 保安ブレーキ装置 その他) 2.使用用途に応じた各機器の働きを学ぶ			
3回	空気ブレーキ方式と 保安ブレーキ	1.空気ブレーキ方式による空気指令式と電気指令式の特徴と機能について学ぶ 2.ブレーキ種類別による機器構成・機能、ブレーキ作用までの仕組みを身につける 3.車輪の空転・滑走のメカニズムと、車両に与える影響について学ぶ			
4回	ブレーキ力と粘着力	1.鉄道車両のブレーキ力を左右する粘着係数粘着力についての知識を身につける 2.ブレーキ力と粘着力のとの相互関係を身につける 3.車輪の空転・滑走のメカニズムと、車両に与える影響について学ぶ			
5回	補助電源装置の用途と 回路構成	1.鉄道車両の補助電源装置の種類と、出力電源使用用途について学ぶ 2.MG電動発電機・SIV静止型変換装置の出力変換システムの知識を身につける 3.高い効率と信頼性を図ったSIV(静止型変換装置)待機系回路構成を学ぶ			
6回	電源回路の方式とその特 徴	1.補助電源装置の運転方式による構造、機能、制御方式を学ぶ 2.運転方式の種類、回路構成・特徴、及び信頼性向上についての知識を学ぶ (独立運転方式 待機二重方式 並列同期運転方式)			
7回	鉄道車両に設置すべき設 備①	1.鉄道車両に関する信号保安・保安通信設備の基礎知識を身につける 2.鉄道車両に関する車上に設置すべき設備、装置について知識を習得する ATS(自動列車停止装置) ATC(自動列車制御装置) ATO(自動列車運転装置)			
8回	鉄道車両に設置すべき設 備②	1.鉄道車両に於いて車上に設置すべき設備・装置・機能など基礎知識を身につける 2.列車無線 デッドマン装置/EB装置のシステムについて学ぶ 3. 習熟度確認			
9回	保安装置のシステム	1.鉄道車両の保安装置システム・機能・役割等の基礎知識を習得する 2.フェールセーフ性設計の必要性について学ぶ 3.車両の運転状況、保安装置の動作機能についての知識を身につける			
10回	運転理論の基礎知識と 計算式の応用	1.車両の運転、車両技術に必要な運転理論等の基礎知識を習得する 2.出発抵抗 走行抵抗 空気抵抗 勾配抵抗 曲線抵抗の理論について学ぶ 3.鉄道車両運転理論に関する法則・計算式等の基礎知識を身につける			
11回	電気車の付属装置	1.各機器説明 2.車両搭載の各付属装置の役割・機能・用途について基礎知識を習得する 3.標識及び警報装置・通風装置・計器類・戸閉め装置・行先表示装置・放送装置等の機能・動作を学ぶ			
12回	車両メンテナンス	1.車両検査内容説明 2.車両機器と装置間の情報送受信との伝送システムの仕組みを学ぶ 3.車両情報伝送システムを活用し、車両状態記録機能、試験機能について学ぶ技術を学ぶ			
13回	期末試験対策	1.知悉度調査を実施する ・知湿度調査を行うことにより理解度を確認する ・理解度の状態を把握し、解説を再度行い、習熟度の向上を図る			
14回	期末試験	1.期末試験 ・理解度の確認及び全体評価			
15回	前期のまとめ	1.期末試験対策 2.前期授業の学習を振り返り、電車に対する意識を深める			

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	鉄道科
科目名	鉄道車両Ⅱ(気動車)			クラス	N
担当講師(フルネーム)	花生 義一			実務経験	有
授業概要(内容)	気動車のしくみ(電気配線図を使用して気動車の概要を学ぶ) 気動車の電気配線図により各機器名及び役割を学ぶ			授業形態	講義&演習
到達目標	電気配線に対する理解力を向上させる				
使用テキスト	わかりやすい鉄道技術(1、2、3)、講師作成プリント				
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	オリエンテーション	1.カリキュラムの説明を行う 2.電車と気動車の相違点を知り、気動車の利点を学ぶ 3.気動車が安全運行するための重要機器を学ぶ			
2回	電気配線図概要	1.電気配線図の基本を知り、見方を学ぶ 2.電気回路概要を学び気動車の中身を知る 3.使用用途に応じた各機器の働きを学ぶ			
3回	主電源	1.バッテリー投入からの電源の流れ方を学ぶ 2.ノーヒューズブレーカーとヒューズの役割を学ぶ 3.車両を正常に操作できる条件と目的を学ぶ			
4回	エンジン起動回路①	1.エンジンを正常に起動する条件を知る ・各スイッチの定位置及び各機器の定位を学び、起動条件を知る 2.エンジンを起動するための、操作する機器及び電気の流れを学ぶ			
5回	エンジン起動回路②	1.予熱位置の重要性と電気の流れを学ぶ ・電気の流れによる動作する各機器及び計器類の働きを学ぶ 2.個人的なヒヤリングを行い習熟度を確認する			
6回	エンジン起動回路③	1.起動位置の重要性と電気の流れを学ぶ ・電気の流れによる動作する各機器及び計器類の働きを学ぶ 2.個人的なヒヤリングを行い習熟度を確認する			
7回	エンジン増速運転	1.主幹制御器の主ハンドル位置に応じた電気の流れを学ぶ ・電気の流れによる動作する各機器及び計器類の働きを学ぶ(1N～5N) 2.個人的なヒヤリングを行い習熟度を確認する			
8回	逆転機回路①	1.主幹制御器の逆転機ハンドル位置に応じた電気の流れを学ぶ ・電気の流れによる動作する各機器及び計器類の働きを学ぶ(前進) 2.逆転機機能と合わせて学ぶことにより一層の理解を得る			
9回	逆転機回路②	1.主幹制御器の逆転機ハンドル位置に応じた電気の流れを学ぶ ・電気の流れによる動作する各機器及び計器類の働きを学ぶ(後進) 2.習熟度確認(結果によって個人的なヒヤリングを行い習熟度を確認する)			
10回	変速回路	1.主幹制御器の変速ハンドル「変速」位置に応じた電気の流れを学ぶ ・電気の流れによる動作する各機器及び計器類の働きを学ぶ 2.液体変速機及び各機器の動作も合わせて学ぶ			
11回	直結回路	1.主幹制御器の変速ハンドル「直結」位置に応じた電気の流れを学ぶ ・電気の流れによる動作する各機器及び計器類の働きを学ぶ 2.液体変速機及び各機器の動作も合わせて学ぶ			
12回	直結回路①	1.主幹制御器の変速ハンドル「直結」位置に応じた電気の流れを学ぶ ・電気の流れによる動作する各機器及び計器類の働きを学ぶ 2.液体変速機及び各機器の動作も合わせて学ぶ			
13回	期末試験対策	1.知悉度調査を実施する ・知湿度調査を行うことにより理解度を確認する ・理解度の状態を把握し、解説を再度行い、習熟度の向上を図る			
14回	期末試験	1.期末試験 ・理解度の確認及び全体評価			
15回	前期のまとめ	1.期末試験対策 2.前期授業の学習を振り返り、気動車に対する意識を深める			

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	鉄道科
科目名	鉄道業界研究			クラス	N
担当講師(フルネーム)	三石 佳代子			実務経験	有(鉄道業界勤務歴)
授業概要(内容)	志望企業のトピックス・企業理念等を理解し、エントリーシート・面接対策を行う。 授業テーマと並行して、求人企業の企業研究を並行して行う。			授業形態	講義
到達目標	鉄道業界の業務内容を理解し、志望企業でやりたい仕事を考え、志望理由に活かし、内定を獲得する。				
使用テキスト	講師作成プリント				
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 平常点+小テストで50%、期末テストで50%			単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	オリエンテーション	一年生の振り返り 前期説明 確認テスト			
2回	鉄道業界最新事情①	鉄道業界の最新のトピックスを知り、面接での応答内容に旬の話題を活かす ICカード、クレジットカードなど 鉄道会社アプリ、鉄道会社が持つ旅行会社			
3回	鉄道業界最新事情②	鉄道業界の最新のトピックスを知り、面接での応答内容に旬の話題を活かす 新幹線、注目観光列車、お客様獲得のための営業施策など			
4回	鉄道業界最新事情③	鉄道業界全般のトピックスを知る 小テスト			
5回	運輸業界最新事情	鉄道(JR、大手私鉄、第三セクター、路面電車など)や、バスなど、公共交通機関が抱える問題について考える			
6回	地方鉄道研究	地方鉄道の取り組みを学び、 面接での応答内容に旬の話題を活かす			
7回	鉄道システム	近年導入されている鉄道システムについて学ぶ			
8回	鉄道会社の財務諸表・IRを学ぶ	鉄道会社の財務諸表を分析し、応募会社のどの部門に強みがあるのかを理解する			
9回	鉄道会社の企業理念・CSRを学ぶ	鉄道会社の企業理念を理解し、鉄道従事者となる心構えをする また、CSR(企業の社会的責任)やCSV(共通価値の創造)を学ぶことで、志望動機に反映させる			
10回	鉄道業界の安全対策	鉄道業界で最も大切な「安全」やヒヤリハットを学び エントリーシートや面接で表現できるようにする			
11回	グループディスカッション事例研究	実際にあったお客さまの声から、鉄道従事者としてあるべき姿をディスカッションする			
12回	自然災害・安全施策	避けることのできない自然災害が鉄道にもたらす影響を知り、 鉄道員として取組むことを学ぶ			
13回	期末テスト対策	鉄道従事員として最低限知っておきたい項目について学ぶ			
14回	期末テスト	期末テスト実施			
15回	前期のまとめ	前期のまとめ 鉄道従事員としての心構え			

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	鉄道科
科目名	就職活動講座			クラス	N
担当講師(フルネーム)	三石 佳代子			実務経験	有(鉄道業界勤務歴)
授業概要(内容)	専門学校に在学し、鉄道を学んでいるという特異性を理解し、鉄道業界に特化した就職活動を行える力を養成する。			授業形態	講義
到達目標	鉄道業界に絡めた自己分析をし自己PRと志望動機等を作成、鉄道業界から確実に内定を得ることを目指す。				
使用テキスト	就職ノート・専門学校生のための就職内定基本テキスト・EMPLOYMENT NOTE				
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 プレゼンテーション・提出物・忘れ物・授業態度・就職活動に対する熱意により総合的に評価を行う			単位数	2
期末試験	× 期末試験なし				
	テーマ	授業内容			
1回	オリエンテーション	一年生の振り返り、前期説明 企業実習の振り返り			
2回	受験対策	座右の銘を知り、自身の価値観を分析する			
3回	受験対策	キャリアアンカーを学び、自身の価値観と志望企業の企業理念がマッチしているか確認する			
4回	受験対策	他己分析を行い、自分自身を客観視する力を養う			
5回	受験対策	プレゼンテーション制作① 企業研究 未内定者は受験対策			
6回	受験対策	プレゼンテーション発表① 企業研究			
7回	受験対策	プレゼンテーション制作② 企業研究 未内定者は受験対策			
8回	受験対策	プレゼンテーション発表② 企業研究			
9回	受験対策	プレゼンテーション制作③ 鉄道業界時事 未内定者は受験対策			
10回	受験対策	プレゼンテーション発表③ 鉄道業界時事			
11回	先輩の声 (運転士・車掌)	プレゼンテーション制作④ 社会情勢 未内定者は受験対策			
12回	先輩の声 (駅員)	プレゼンテーション発表④ 社会情勢			
13回	受験対策	プレゼンテーション制作⑤ 鉄道業界時事 未内定者は受験対策			
14回	受験対策	プレゼンテーション発表⑤ 鉄道業界時事			
15回	これまでの就職活動の振り返り	未内定者の振り返りと、今後の対策、方向性の確認 内定者は企業研究と就業準備の検討と対策 早期就業者に対する心構え			

対象学年	2年	学期	通年(前期)	学科	鉄道科
科目名	就職筆記対策Ⅱ			クラス	Nクラス
担当講師(フルネーム)	新型コロナウイルス禍後テスト形式はWeb 鉄道系 ホテル 航空型企業の過去問を中心に問題が予想される問題をできるだけわかりやすく講義します。この科目は予習よりも復習に力を入れてください。玉手箱SPI能力検査試験に合格しなければ面接には進めません。キツイけど一緒に頑張りましょう。			実務経験	無
授業概要(内容)				授業形態	講義
到達目標	鉄道系などの企業の就職試験に合格するのに必要な非言語分野の学力を修得することが出来ます。				
使用テキスト	無し				
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施				
テーマ		授業内容			
1回	テストセンター推論	論理命題 命題Xが正しければBも必ず正しいといえるか 統計資料(日本の輸入商品の増減割合 ある地域における電車・バス・マイカー通勤者の年度別割合) 運賃・料金・使用料金の計算(片道運賃・往復運賃・団体割引運賃、英会話、美術館入場料等を表を見て計算する)			
2回	テストセンター推論	リーグ戦(総当たり戦) トーナメント方式(勝ち上がり戦) 統計資料 集合(鉄道、航空機自動車などの利用者の人数をベン図を用いてそれぞれの領域を求める。集合論特有の日本語の意味 少なくともの意味) 損益算(原価・定価・売価・利益率を求める公式)			
3回	テストセンター推論	平均算 食塩水の濃度分割払い(仕事算と同様全体を1と考えるのがポイント 頭金・残金・ボーナス払い・分割回数等分数問題) $\sqrt{\quad}$ 計算と平方根(ルート2, 3, 5, 6などと分数計算 $\sqrt{\quad}$ と分数の混ざった数字の中から大小を比較する問題)			
4回	テストセンター推論	損益算 データ入力と分数問題 推論(表を使った電車やバスの速度算ほか)1年次の速度算の応用・速度・距離・時間の関係 時速から分速・秒速を求める。速、秒速・分速から時速を求める。追いつけ算の公式など 表を短時間に読み取ることがポイント			
5回	テストセンター推論	重複組み合わせの公式を使った難問 分割払い(仕事算と同様全体を1と考えるのがポイント 頭金・残金・ボーナス払い・分割回数等分数問題) $\sqrt{\quad}$ 計算と平方根(ルート2, 3, 5, 6などと分数計算 $\sqrt{\quad}$ と分数の混ざった数字の中から大小を比較する問題)			
6回	テストセンター推論	入館料金 割賦代金の計算 分数の計算 \square がある計算(1次方程式)			
7回	テストセンター推論	資料解釈 表の読み取り 船舶料金とキャンセル料			
8回	テストセンター推論	文章問題と計算方法 複雑な集合問題 推論 確率(確率の意味と公式 確率は最少は0と同じか、0より大きい。最大は1と同じか1より小さい 確率P=求める場合の数÷全体の場合の数)			
9回	推論 WEBテスト 玉手箱 推論	この問題はペーパーとテストセンター双方の頻出問題 推論 大小・包含の関係(以下の推論で明らかに誤りか、与えられた条件だけでは断定できないものを選択 ハヤブサはキジより高い・キジはツバメより高い・カモメはキジより高い・ツバメは一番安い?カモメは何番目に高い)			
10回	推論 WEBテスト 玉手箱 推論	推論(発言の真偽 ABCDE5人の以下の発言のうち一人だけ嘘をついている。嘘つきは誰?A(Bの発言は本当?)B(Cの発言は嘘?)C(Dの発言は嘘?)D(Eの発言は本当?)E(Aの発言は嘘ではない?)			
11回	推論 WEBテスト 玉手箱 推論	推論 速度算 QRSTU各駅間の到着時刻と出発時刻を表から読み取り各駅間の平均時速を計算する。この問題は非常に有名な問題で、航空会社旅行会社やホテルにも出題可能性が高い。LMNOPQの6人の到着の前後遅刻者の数を推論する問題 STU3人のじゃんけんの拳の種類と勝敗を推論する問題 ものすごく時間がかかる。割り切って選択肢からしぼりこむしかない。			
12回	推論 WEBテスト	WEBテストはPC環境さえあれば、学校でも、自宅でもいつでも受検(能力検査試験なので受験ではなく、受検の字になります。)できます。計算機の使用が可能。とにかく短時間で多くの問題を解いていくので、電卓に慣れていなければ、問題をこなせない。問題によっては、暗算のほうが早い。方程式 推論 組み合わせなど 時間は非言語20分 言語12分 性格検査23分			
13回	推論 Web玉手箱 命題 平均算	論理命題 チューリップ バラ 7階建ての建物の位置関係(休憩所 奇数階と偶数階) VWXYZ5チームのレースの結果 PQRSの4つ支社の在庫量 KLMNの4人が100点満点の国語と算数の試験を受けた結果、平均算からの各自の得点を推理			
14回	推論 WEB 玉手箱 Aが正しければ、BまたはCも必ず正しい	赤いカード3枚青いカード4枚 緑のカード4枚 カードは少なくとも9枚 赤 青 緑のカードが少なくとも3枚ずつはいつているとき、以下の条件の下での推論 サイコロを3回ふった時の出た目の条件 Kから50			
15回	1年次2年次総復習	連立方程式 集合 確率 順列(円順列) 組み合わせ(重複組み合わせ) 食塩水などの公式の復習			

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	鉄道科	
科目名	面接対策			クラス	N	
担当講師(フルネーム)	橋本美智子			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	就職活動において、選ばれる人物になるよう内面と外面の表現について実践を通して考え、体得する			授業形態	講義	
到達目標	適材適所の好印象を考え、その表現力を身につける					
使用テキスト	プリント					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	就職面接について		一年時の面接対策のまとめ 就職面接の流れ 目標を掲げる			
2回	集団面接演習		面接実技 第一印象の重要性/話し方			
3回	集団面接演習		面接実技 第一印象の重要性/話し方と表情			
4回	集団面接演習		面接実技 第一印象の重要性/話し方と行動			
5回	振り返り		第1回~第4回までの振り返りを行い、課題を明確にする			
6回	集団討議演習		テーマ1 (就職面接で実際に使用されたテーマを使用)			
7回	集団討議演習		テーマ2 (就職面接で実際に使用されたテーマを使用)			
8回	集団討議演習		テーマ3 (就職面接で実際に使用されたテーマを使用)			
9回	集団面接演習		面接実技			
10回	集団面接演習		面接実技			
11回	個人面接		面接実技			
12回	個人面接		面接実技			
13回	個人面接		面接実技			
14回	個人面接		面接実技			
15回	まとめ		社会人としての考え方			

対象学年	2年	学期	通年(前期)	学科	鉄道科	
科目名	手話			クラス	Nクラス	
担当講師(フルネーム)	江口由香			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	聴覚障害者への理解を深め、言語である手話を学ぶ			授業形態	講義&演習	
到達目標	日常会話程度の手話でコミュニケーションがとれる					
使用テキスト	手話で学ぼう、手話で話そう					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	聞こえないとは	聞こえない世界とは ろう者、難聴者、中途失聴者について 聴覚障害をとりまく環境と状況				
2回	手で表現してみよう	物の形をイメージして表現する 伝え合うことの難しさ 手話であいさつしてみよう				
3回	伝え合ってみましょう	自己紹介1 名前の表現・指文字				
4回	伝え合ってみましょう	自己紹介2 人物の表現・家族の表現				
5回	感情を表現する	いろいろな気持ちを伝える 表情で表現する方法				
6回	数字に関する手話	数字の表し方 数字を使った接客手話 時間の表現				
7回	趣味について話そう	趣味ななど会話で話を広げていく ジェスチャーの大事さ				
8回	住所を紹介しましょう	地名の手話を学び住所を紹介する 道案内のポイント				
9回	自己紹介まとめ	これまで学んだ手話をつかって自分のことを伝える				
10回	時間の流れの表現	過去・現在・未来の表し方 時間の経過の表現				
11回	接客手話	こんな時どうする？ 手話で対応しよう				
12回	聴覚障害とは	聞こえない世界と聞こえる世界				
13回	実技テスト	実技テスト				
14回	実技テスト	実技テスト(予備)				
15回	まとめ	手話学習まとめ				

対象学年	2年	学期	前期	学科	鉄道科
科目名	コミュニケーションイングリッシュ			クラス	N
担当講師(フルネーム)	ニコラ ドゥ メニス			実務経験	有
授業概要(内容)	学生のレベルに合わせて、外国人と話す時に ①困らない、②言われている内容を理解する、③伝えたい事を言える。			授業形態	講義
到達目標	主に、リスニングとスピーキングがメインで英語のコミュニケーションが上手になる。				
使用テキスト	English for daily conversation				
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	Spring holidays	Talk about spring holidays Decide the dialogs order for the second semester			
2回	Dialog 13	Warm-up and simple conversation Dialog 13 Remarks			
3回	Dialog 14	Warm-up and simple conversation Dialog 14 Remarks			
4回	Presentation 7	3mn presentation Native English			
5回	Q & A	Warm-up and simple conversation Questions about the previous week presentations and comments Remarks			
6回	Dialog 15	Warm-up and simple conversation Dialog 15 Remarks			
7回	Dialog 16	Warm-up and simple conversation Dialog 16 Remarks			
8回	Presentation 8	3mn presentation Native English			
9回	Q & A	Warm-up and simple conversation Questions about the previous week presentations and comments Remarks			
10回	Dialog 17	Warm-up and simple conversation Dialog 17 Remarks			
11回	Dialog 18	Warm-up and simple conversation Dialog 18 Remarks			
12回	Presentation 9	3mn presentation Native English			
13回	Q&A	Warm-up and simple conversation Questions about the previous week presentations and comments Remarks			
14回	Dialog Test	Oral test on various topics			
15回	English Games	Enjoy games in English			

国際ホテルマネジメント

学年	科目名
1	フロントサービス
1	レストランオペレーション
1	日本文化
1	日本語コミュニケーション
1	日本地理
1	コンピュータ
1	ビジネスマナー
1・2	日本語能力試験対策Ⅰ（語彙）
1・2	日本語能力試験対策Ⅱ（聴解・漢字）
1・2・3	日本語能力試験対策Ⅲ・Ⅰ（文法）
1・2・3	日本語能力試験対策Ⅳ・Ⅱ（読解）
2	SPⅠ対策（言語・非言語）
2・3	おもてなし検定対策
2	TOEIC対策
2	ホテル実務技能認定試験対策
2	ペン字
2	就職活動講座
2	面接対策
3	マーケティング
3	外食産業
3	マネジメント
3	マナープロトコール
3	SPⅠ対策（言語・非言語）
3	日本語読解
3	コミュニケーションイングリッシュ
3	コンピュータ
3	面接対策
3	就職活動講座
3	時事問題

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	ホテル総論			クラス	T	
担当講師(フルネーム)	中牟田登喜枝			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	国内外のホテル産業の歴史と変遷 ホテル各部門の業務内容			授業形態	講義	
到達目標	ホテル総論ビジネスの基本構造を理解する					
使用テキスト	ホテルテキスト 基礎から学ぶホテルの概論					
成績評価方法	・試験50% 提出物、平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション 第1章ホテルとは		授業内容、評価方法 世界のトップ10ホテル			
2回	第1章ホテルとは		法律から見たホテル ホテルの語源 ホテルの加盟する団体			
3回	第2章ホテルの分類		機能別ホテルの分類 グレード別ホテルの分類 資本形態別ホテルの分類			
4回	第2章ホテルの分類		経営の形態別によるホテルの分類			
5回	第2章ホテルの分類		経営の形態別によるホテルの分類			
6回	第3章ホテルの発達の歴史		ヨーロッパの宿泊施設の始まり			
7回	第3章ホテルの発達の歴史		ヨーロッパのホテル発展史			
8回	第3章ホテルの発達の歴史		アメリカのホテル発展史(1)			
9回	第3章ホテルの発達の歴史		アメリカのホテル発展史(2)			
10回	第3章ホテルの発達の歴史		多様・高度化する現代のホテル経営			
11回	第3章ホテルの発達の歴史		アジアの近代史ホテル			
12回	第3章ホテルの発達の歴史		外国ホテル企業との提携			
13回	第3章ホテルの発達の歴史		日本のホテル歴史(1)			
14回	第3章ホテルの発達の歴史		日本のホテル歴史(2)			
15回	前期まとめ					

対象学年	1年	学期	通年	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	フロントサービス			クラス	T①②	
担当講師(フルネーム)	小西翼			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	宿泊部門(ドアマン、ベルマン)業務の習得。また、それに関連する他部署の業務についての知識を学ぶ。			授業形態	講義&演習	
到達目標	宿泊部門(ドアマン、ベルマン)と関連部署についての業務内容の理解と技術の習得。					
使用テキスト	ホテルテキスト 宿泊Ⅱ フロント・サービス編					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	自己紹介 成績評価と授業スケジュールの説明 ホテルとは…				
2回	宿泊部とは	ホテルでは何をすることができる? ⇒ 宿泊部の役割とは なぜホテルを利用する?				
3回	宿泊部とは	宿泊部の組織と業務内容				
4回	ドアマンの業務	ドアマンの日常業務 身だしなみ・心構え お客様の送迎				
5回	ドアマンの業務	玄関周辺での業務 パレーサービス 案内業務				
6回	ドアマンの業務	お客様の送迎(実技)				
7回	ベルマンの業務	ベルマンとは ベルマンの日常業務 身だしなみ・心構え				
8回	ベルマンの業務	チェックイン・チェックアウト				
9回	ベルマンの業務	団体客への対応 ページング・ルームチェンジ				
10回	ベルマンの業務	待機中の要点 ロビー周辺の整理・整頓・チェック ロビー管理				
11回	ベルマンの業務	デリバリー・パゲッジン ドアオープン 宅配便の取り扱い				
12回	ベルマンの業務	新聞の配達と発注 タクシー、ハイヤー、リムジンバス 旗の取り扱い(掲揚・降納)				
13回	クローク係の業務	クローク係とは クロークルームの整理と準備 クローク業務の作業手順				
14回	前期授業のまとめ	前期授業の復習を行う				
15回	期末試験	前期期末試験を実施口				

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	国際ホテルマネジメント 科	
科目名	レストランオペレーション			クラス	T	
担当講師(フルネーム)	長野美穂			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	レストランにおける基本のサービス、知識を学ぶ			授業形態	講義&演習	
到達目標	企業実習にむけて料飲サービスの基礎を身に付ける					
使用テキスト	なし					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		授業の目的と進め方、評価方法について説明する 身だしなみと歩き方のチェック 姿勢改善トレーニング、チェアサービス			
2回	料飲部門の概要		FB部門の特徴を知る テーブルクロスの取り扱い方			
3回	基本のサービス①		シルバーウェアの基礎知識と取り扱い方を学ぶ テーブルセッティング			
4回	基本のサービス②		フランス料理のフルコース トレーサービス			
5回	基本のサービス③		グラスウェアの基礎知識と取り扱い方を学ぶ トレーサービス徹底練習			
6回	ドリンク①		コーヒーについて学ぶ ウォーターピッチャーサービス			
7回	ドリンク②		ティーについて学ぶ プレートサービス			
8回	ドリンク③		アンフュージョンについて学ぶ プレートサービス			
9回	日本料理①		日本料理の基礎知識 お箸の持ち方			
10回	日本料理②		日本料理の基礎知識 正座実践			
11回	ユニバーサルサービス①		ご年配、体が不自由なお客様への接し方			
12回	ユニバーサルサービス②		車いすの基本操作方法を体験			
13回	期末試験課題発表		期末試験の課題を発表 練習			
14回	期末試験		実技試験(スーツ着用) 制限時間内に課題ロールプレイングを行う			
15回	前期まとめ		前期のおさらい 実技の復習			

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	日本文化			クラス	T	
担当講師(フルネーム)	前田 恭子			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	「読む・聞く・話す」の技能を使いながら日本の文化、社会事情について学ぶ			授業形態	講義	
到達目標	日本文化や日本人の考え方への理解を深める					
使用テキスト	知っていますか 日本のこと(JASSO 日本語教育センター)					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	日本人の名前	日本人の名前の構造を知り、名前を聞いて性別がわかるようになる 名前呼び方から日本人の人間関係を理解できるようになる				
2回	日本について 基礎知識(1)	日本の人口、首都、国旗など基本的なデータを把握する 日本のおおまかな気候や地理を把握する				
3回	日本について 基礎知識(2)	日本の概観を理解して、自分の国と比較して話すことができるようになる				
4回	日本の季節	季節ごとの過ごし方の違いを学ぶ 季節ごとにどんな年中行事があるか知り、日本の季節感を理解できるようになる				
5回	日本のマナー・習慣	日常生活で状況や相手によって配慮すべきマナー・習慣・ルール—があることを理解する 失礼にあたる行為を知り、トラブルを避けて日本人と円滑な人間関係が築けるようにする				
6回	日本人の一生(1)	日本人が一生のうちに行う習慣・行事について目的や内容を理解する 自国と比較して話すことができるようになる				
7回	日本人の一生(2)	日本人の行事の参加したとき適切な振る舞いができるようになる				
8回	日本人の一生(3)	日本の冠婚葬祭におけるマナーについて学ぶ 日本人の宗教観について知る				
9回	日本の生活事情(1)	日本の住宅事情や買い物事情について学ぶ				
10回	日本の生活事情(2)	日本の食生活について学び、日本料理に興味を持つ				
11回	いろいろな言葉づかい(1)	場面、相手によって言葉を使い分けることの意味を理解する				
12回	いろいろな言葉づかい(2)	尊敬語、謙譲語を使い分けられるようになる				
13回	いろいろな言葉づかい(3)	標準語と方言の違いを理解する 方言のアクセントや表現を知る				
14回	前期期末試験	前期期末試験を実施する				
15回	日本人と野球	日本人の野球の楽しみ方を把握する 日本人と野球の話題で楽しく会話ができるようになる				

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	国際ホテルマネジメント 科	
科目名	日本語コミュニケーション			クラス	T	
担当講師(フルネーム)	平賀 淳子			実務経験	無	
授業概要(内容)	・様々な場面を想定した会話練習を通して日本の文化を理解し、生活に必要なコミュニケーションを学ぶ。			授業形態	講義&演習	
到達目標	対話する相手や状況に応じた自然な対応ができる。					
使用テキスト	『会話に挑戦!中級前期からの日本語ロールプレイ』(スリーエーネットワーク)					
成績評価方法	・小テスト・提出物50% 平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション 挨拶	授業についての説明/授業を受けるときの約束 挨拶の基本 学内の様々な場面を想定した挨拶①				
2回	オリエンテーション 挨拶・自己紹介①	前回の振り返り 学内の様々な場面を想定した挨拶② 自己紹介①(文にまとめる)				
3回	挨拶・自己紹介②	前回の振り返り 自己紹介②(発表)				
4回	他己紹介①	前回の振り返り いいコミュニケーションとは 他己紹介① ペアワーク				提出物Ⅰ
5回	他己紹介②	前回の振り返り 他己紹介②(発表)				
6回	依頼・お願い①	前回の振り返り コミュニケーションの日本と海外の違い・世代や立場による違い 依頼表現を覚える				
7回	依頼・お願い②	前回の振り返り 先生や友達など身近な人に必要なことを適切に頼む ロールプレイ				
8回	電話をかける①	前回の振り返り 電話対応の基本的なマナー				提出物Ⅱ
9回	電話をかける②	前回の振り返り 学校に電話をする/電話でアルバイトに応募する ロールプレイ				
10回	サインの意味	前回の振り返り 街で見かけるサインの意味 天気予報の表現を理解する / 災害や緊急事態に備える				
11回	誘う・断る	相手によって話し方を変えて誘う 相手の誘いを断る/丁寧な言葉で断る ロールプレイ				
12回	ケーススタディ	前回の振り返り コミュニケーションにおける問題の解決や回避方法を考える(実体験に基づいて) グループワーク				
13回	症状を説明する	前回の振り返り 病院のシステムや保険証について理解する 自分の症状を伝える ロールプレイ				
14回	おすすめを紹介する①	前回の振り返り テーマに基づいておすすめを紹介する(文にまとめる)				提出物Ⅲ
15回	おすすめを紹介する②	前回の振り返り テーマに基づいておすすめを紹介する(発表)				

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	国際ホテルマネジメント科
科目名	日本地理			クラス	T
担当講師(フルネーム)	牟田口 真理子			実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	将来日本の観光業界で働くことを目指すうえで知っておきたい日本地理を学ぶ。			授業形態	講義
到達目標	日本の地理的な特性や地域ごとの風土を学ぶ。				
使用テキスト	地図でよくわかる都道府県大百科 JTBパブリッシング				
成績評価方法	・小テスト、期末試験、平常点 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施				
	テーマ		授業内容		
1回	日本ってこんなところ		日本の面積・人口・人口密度について 日本の最北端・最東端・最南端・最西端について 日本の地方区分について		
2回	日本の世界遺産/北海道		日本の世界遺産について(東日本) 北海道はこんなところ 北海道の地形・都市名・観光的特色		
3回	日本の世界遺産/東北・青森県		日本の世界遺産について(西日本) 東北地方について 青森県の地形・都市名・観光的特色		
4回	日本の交通/岩手県・宮城県		日本の鉄道について 岩手県・宮城県はこんなところ 岩手県・宮城県の地形・都市名・観光的特色		
5回	日本の交通/秋田県・山形県		日本の空港路線について 島を結ぶ橋について 秋田県・山形県の地形・都市名・観光的特色		
6回	日本のご当地グルメ/福島県/北海道～東北まで確認テスト		日本のご当地グルメについて(東日本) 岩手県・宮城県はこんなところ 福島県の地形・都市名・観光的特色		
7回	日本のご当地グルメ/関東・茨城県		日本のご当地グルメについて(西日本) 関東地方はこんなところ 茨城県の地形・都市名・観光的特色		
8回	日本の農業/栃木県・群馬県		日本の農業について 栃木県・群馬県はこんなところ 栃木県・群馬県の地形・都市名・観光的特色		
9回	日本の水産業・畜産業・工業/埼玉県・千葉県		日本の水産業・畜産業・工業について 埼玉県・千葉県はこんなところ 埼玉県・千葉県の地形・都市名・観光的特色		
10回	日本の山地/東京都・神奈川県		日本の山地について 東京都・神奈川県はこんなところ 東京都・神奈川県の地形・都市名・観光的特色		
11回	日本の川/中部地方・新潟県		日本の平野川湖について 中部地方はこんなところ 新潟県の地形・都市名・観光的特色		
12回	日本の気候/富山県・石川県		日本の気候について 富山県・石川県はこんなところ 富山県・石川県の地形・都市名・観光的特色		
13回	日本の祭り/福井県・山梨県		日本の祭りについて 福井県・山梨県はこんなところ 福井県・山梨県の地形・都市名・観光的特色		
14回	日本の温泉/岐阜県・静岡県・愛知県		日本の温泉について 岐阜県・静岡県・愛知県はこんなところ 岐阜県・静岡県・愛知県の地形・都市名・観光的特色		
15回	まとめ・期末試験		まとめ 期末試験 1～14回 ノート確認		

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	国際ホテルマネジメント 科	
科目名	コンピュータ			クラス	T	
担当講師(フルネーム)	乙咩 清美			実務経験	有(通信業界勤務歴)	
授業概要(内容)	タイピング、ビジネスレター(文書、メール等)を繰り返し練習する。 日本のパソコンが問題なく扱えるようになる。			授業形態	講義&演習	
到達目標	キーボード操作のマスター。誤字脱字なく、形式にのっとりた日本のビジネスレターができるようになる。					
使用テキスト	技術評論社 留学生のためのWord/Excel/PowerPoint入門					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	IT基礎	OAルームの使用について 授業の進め方・その他の確認、ファイルとフォルダの操作・クラウドについて ウィンドウズについて、タイピングスキルチェック、自己紹介カードの入力				
2回	Word基礎	キーボード操作(様々な入力方法やショートカットキーの活用) ファイル、フォルダの管理 タイピング練習(ひらがな・カタカナ・50音・カタカナ語・単語・短文)				
3回	Word基礎	キーボード操作(キーボードの使用、変換と予測変換の使い分け) ファイル、フォルダの管理 タイピング練習(ひらがな・カタカナ・50音・カタカナ語・単語・短文)				
4回	Word基礎	キーボード操作(キーボードの使用、変換と予測変換の使い分け) ファイル、フォルダの管理 タイピング練習(ひらがな・カタカナ・50音・カタカナ語・単語・短文)				
5回	Word基礎	タイピング練習 短文入力 ビジネス文書作成(社内文書)				
6回	Word基礎	タイピング練習 短文入力 ビジネス文書作成(社内文書)				
7回	Word基礎	タイピング練習 短文入力 ビジネス文書作成(社内文書)				
8回	Word基礎	タイピング練習 短文入力 ビジネス文書作成(社内文書)				
9回	Word基礎	タイピング練習 短文入力 ビジネス文書作成(社内文書)				
10回	Word基礎	タイピング練習 ビジネス文書作成(社外文書) ※ビジネス文書の基本、箇条書きなど				
11回	Word基礎	タイピング練習 ビジネス文書作成(社外文書) ※送付状やお礼状の練習				
12回	Word基礎	タイピング練習 ビジネス文書作成(チラシ・ポスター作成) ※画像の挿入、図形描画・ワードアートなど				
13回	Word基礎	タイピング練習 ビジネス文書作成(チラシ・ポスター作成) ※画像の挿入、図形描画・ワードアートなど				
14回	Word基礎	タイピング練習 ビジネス文書作成(ポストカード作成) ※画像の挿入、図形描画・ワードアートなど				
15回	前期期末試験	前期期末試験実施				

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	ビジネスマナー			クラス	Tクラス	
担当講師(フルネーム)	池田 香織			実務経験	有(鉄道業界勤務歴)	
授業概要(内容)	ビジネスマナー、コミュニケーションについて学び社会人になるための準備をする。			授業形態	講義&演習	
到達目標	日本社会で仕事をする上で必要な態度や行動を学ぶ。					
使用テキスト	ビジネスマナーワークブック(西文社)・グローバル人材ビジネス実務検定4級問題集					
成績評価方法	・小テスト・提出物50% 平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
テーマ		授業内容				
1回	なぜビジネスマナーを学ぶのか	この授業を受けるときの約束について 「マナー」とは何か考えてみよう 「マナー」と「エチケット」の違い				
2回	あいさつとおじぎ	あいさつの意味と大切さ 第一印象を決めるあいさつ 表情や態度の重要性				
3回	あいさつとおじぎ	さまざまな場面でのあいさつ言葉 立ち姿とお辞儀				
4回	あいさつとおじぎ	あいさつとおじぎを出来るようになる あいさつ実技テスト				
5回	身だしなみ、立ち居振る舞い	身だしなみとおしゃれ ※スーツを着て受講のこと				
6回	身だしなみ、立ち居振る舞い	立ち居振る舞いの基本 立ち方、座り方、歩き方、物の渡し方、方向の示し方、前傾姿勢 立ち居振る舞い実技テスト				
7回	言葉遣い・敬語	敬語について学ぶ① 敬語の種類・使い方 敬語の誤り				
8回	言葉遣い・敬語	敬語について学ぶ② 接遇用語について学ぶ 言葉遣いの間違い探し				
9回	言葉遣い・敬語	来客対応の言葉遣いを学ぶ 接客をやってみよう				
10回	指示の受け方、報告・連絡・相談	職場でのコミュニケーション 指示を受ける 報告・連絡・相談				
11回	電話対応	ビジネスの場での電話をかけ方の基本を身につける。				
12回	電話対応	電話のロールプレイングをしよう。				
13回	来客対応	ビジネス社会のルールやビジネスマナーの場での来客対応の基本を身につける				
14回	訪問	ビジネス社会のルールやビジネスマナーの場での来客対応の基本を身につける				
15回	接客販売	ビジネスの場での訪問の基本を身につける。				

対象学年	1・2年共通	学期	通年(前期)	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	日本語能力試験対策 I (語彙)			クラス	ST	
担当講師(フルネーム)	上中真由美			実務経験	無	
授業概要(内容)	日本語能力試験N1語彙対策 試験問題と同じパターンの問題を多く練習する			授業形態	講義	
到達目標	日本語能力試験N1合格					
使用テキスト	プリント					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	N1文字・語彙	授業の進め方、評価方法について 問題を解く 新しい語彙の使い方や関連語彙を確認する				
2回	N1文字・語彙	宿題FB 問題を解く 新しい語彙の使い方や関連語彙を確認する				
3回	N1文字・語彙	宿題FB 問題を解く 新しい語彙の使い方や関連語彙を確認する				
4回	N1文字・語彙	宿題FB 問題を解く 新しい語彙の使い方や関連語彙を確認する				
5回	N1文字・語彙	宿題FB 問題を解く 新しい語彙の使い方や関連語彙を確認する				
6回	N1文字・語彙	宿題FB 問題を解く 新しい語彙の使い方や関連語彙を確認する				
7回	N1文字・語彙	新しい語彙の使い方や関連語彙を確認する 宿題FB 問題を解く				
8回	N1文字・語彙	新しい語彙の使い方や関連語彙を確認する 新しい語彙の使い方や関連語彙を確認する 宿題FB				
9回	N1文字・語彙	問題を解く 新しい語彙の使い方や関連語彙を確認する 新しい語彙の使い方や関連語彙を確認する				
10回	N1文字・語彙	宿題FB 問題を解く 新しい語彙の使い方や関連語彙を確認する				
11回	N1文字・語彙	模擬試験				
12回	N1文字・語彙	宿題FB 問題を解く 新しい語彙の使い方や関連語彙を確認する				
13回	N1文字・語彙	宿題FB 問題を解く 新しい語彙の使い方や関連語彙を確認する				
14回	N1文字・語彙	宿題FB 問題を解く 新しい語彙の使い方や関連語彙を確認する				
15回	N1文字・語彙	期末試験				

対象学年	1・2年共通	学期	通年(前期)	学科	国際ホテルマネジメント科
科目名	日本語能力試験対策 I (語彙)			クラス	STクラス①
担当講師(フルネーム)	脇谷奈々			実務経験	無
授業概要(内容)	日本語能力試験N2 語彙対策			授業形態	講義
到達目標	日本語能力試験N2 合格				
使用テキスト	スピードマスターN2語彙, プリント(パワードリルN2文字・語彙, とりあえずN2文字・語彙など)				
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数 2
期末試験	△ 授業中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	オリエンテーション	授業の進め方, 成績評価についての説明 1. 時間 パワードリルN2 第1回			
2回	N2 語彙	1. 時間 2. 家 パワードリルN2 第2回			
3回	N2 語彙	3. お金 4. 数・量 パワードリルN2 第3回			
4回	N2 語彙	5. 国・社会 6. 産業・技術 パワードリルN2 第4回			
5回	N2 語彙	7. 自然 8. 体・健康 パワードリルN2 第5回			
6回	N2 語彙	9. 交通 10. 位置・方向 パワードリルN2 第6回			
7回	N2 語彙	11. 趣味・活動 12. 学校・学問 パワードリルN2 第7回			
8回	N2 語彙	13. 仕事① 14. 仕事② パワードリルN2 第8回			
9回	N2 語彙	15. 能力・評価 16. パソコン・プリンターなど パワードリルN2 第9回			
10回	模擬試験				
11回	模擬試験の解説	模試の解説 パワードリルN2 第10回			
12回	N2 語彙	17. 表・グラフ 18. どんな気持ち? パワードリルN2 第11回			
13回	N2 語彙	期末試験前の対策 パワードリルN2 第12回			
14回	期末試験	前期期末試験の実施			
15回	前期のまとめ	前期期末試験の解説と総まとめ 19. 人と人 20. 言葉のいろいろな形 パワードリルN2 第13回			

対象学年	1・2年共通	学期	通年(前期)	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	日本語能力試験対策 I (語彙)			クラス	ST N3	
担当講師(フルネーム)	永吉美知子			実務経験	無	
授業概要(内容)	読解・聴解は 基礎となる語彙の理解がなければ問題は解けない 定着させるには自宅学習が必須 自宅学習を前提に授業を進める			授業形態	講義	
到達目標	JLPT N3 合格					
使用テキスト	日本語能力試験問題集 N3 語彙 新完全マスター・過去の試験問題 パワードリル					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	1課 家族と友達	語彙の読み方と説明 その応用 実践問題				
2回	2課 人間関係	1課の確認テスト 語彙の読み方と説明 その応用 実践問題				
3回	3課 毎日の生活	2課の確認テスト 語彙の読み方と説明 その応用 実践問題				
4回	4課 食生活	3課の確認テスト 語彙の読み方と説明 その応用 実践問題				
5回	5課 家	4課の確認テスト 語彙の読み方と説明 その応用 実践問題				
6回	復習問題 6課 健康	5課の確認テスト 語彙の読み方と説明 その応用 実践問題				
7回	7課 病気	6課の確認テスト 語彙の読み方と説明 その応用 実践問題				
8回	8課 旅行	7課の確認テスト 語彙の読み方と説明 その応用 実践問題				
9回	9課 ファッション	8課の確認テスト 語彙の読み方と説明 その応用 実践問題				
10回	10課 旅行	9課の確認テスト 語彙の読み方と説明 その応用 実践問題				
11回	復習問題 11課 学校	10課の確認テスト 語彙の読み方と説明 その応用 実践問題				
12回	模擬テスト					
13回	模擬テストのFB 11課	間違えた部分の解説 11課までの復習				
14回	試験対策・12課	試験対策の解説 12課の語彙の説明				
15回	試験・12課 問題	試験問題の解説 12課の実践問題				

対象学年	1・2年共通	学期	通年(前期)	学科	国際ホテルマネジメント科
科目名	日本語能力試験対策Ⅱ(聴解・漢字)			クラス	STクラス②
担当講師(フルネーム)	協谷奈々			実務経験	無
授業概要(内容)	日本語能力試験N1 聴解・漢字対策			授業形態	講義
到達目標	日本語能力試験N1 合格				
使用テキスト	スピードマスターN1漢字, プリント(スピードマスター聴解 N1など)				
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	オリエンテーション	授業の進め方, 成績評価についての説明 UNIT1 衣食住 1, 2			
2回	N1 聴解・漢字	UNIT1 衣食住 3, 4 聴解			
3回	N1 聴解・漢字	UNIT1 衣食住 5, 6 聴解			
4回	N1 聴解・漢字	UNIT2 仕事 1, 2 聴解			
5回	N1 聴解・漢字	UNIT2 仕事 3, 4 聴解			
6回	N1 聴解・漢字	UNIT2 仕事 5, 6 聴解			
7回	N1 聴解・漢字	UNIT3 趣味・活動 1, 2 聴解			
8回	N1 聴解・漢字	UNIT3 趣味・活動 3, 4 聴解			
9回	N1 聴解・漢字	UNIT3 趣味・活動 5 UNIT4 他者との関係 1 聴解			
10回	模擬試験の解説	第1回模擬試験(聴解)			
11回	模擬試験の解説	模試の解説 UNIT4 他者との関係 2, 3			
12回	N1 聴解・漢字	UNIT4 他者との関係 4, 5 聴解			
13回	N1 聴解・漢字	期末試験前の対策 UNIT5 健康と自然 1, 2 聴解			
14回	期末試験	前期期末試験の実施			
15回	前期のまとめ	前期期末試験の解説と総まとめ UNIT5 健康と自然 3, 4			

対象学年	1・2年共通	学期	通年(前期)	学科	国際ホテルマネジメント
科目名	日本語能力試験対策Ⅱ(聴解・漢字)			クラス	ST N2
担当講師(フルネーム)	永吉美知子			実務経験	無
授業概要(内容)	聴解は留学生にとって高得点が取れる科目である。自然なスピードの会話を聞いて内容の理解を進め スクリプトの漢字の定着を図る			授業形態	講義
到達目標	JLPT N2 合格				
使用テキスト	日本語能力試験問題集 N2 聴解 スピードマスター ・ ドリ&ドリ パワードリル				
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施				
	テーマ		授業内容		
1回	問題1 1～10		課題理解 スクリプトで内容確認 語彙の確認を図る パワードリル		
2回	問題1 11～20		課題理解 スクリプトで内容確認 語彙の確認を図る パワードリル		
3回	問題2 1～9		ポイント理解 スクリプトで内容確認 語彙の確認を図る パワードリル		
4回	問題2 10～18		ポイント理解 スクリプトで内容確認 語彙の確認を図る		
5回	問題3 1～10		概要理解 スクリプトで内容確認 語彙の確認を図る		
6回	問題3 11～20		概要理解 スクリプトで内容確認 語彙の確認を図る		
7回	問題4 1～26		即時応答 スクリプトで内容確認 語彙の確認を図る		
8回	模擬テスト 1		実践に即した問題を 実践と同じ時間内で解く練習 集中力の養成 スクリプトで内容確認 語彙の確認を図る		
9回	模擬テスト 2		実践に即した問題を 実践と同じ時間内で解く練習 集中力の養成 スクリプトで内容確認 語彙の確認を図る		
10回	漢字の復習		テキストに提出された漢字の復習と応用 パワードリル		
11回	ドリ&ドリ		概要理解 得点配分が高い概要理解のキーワードの取り出し 正解へのアプローチ		
12回	模擬テスト				
13回	模擬テストのFB		間違った部分のFB 文字の確認		
14回	ドリ&ドリ 概要理解 ・漢字の試験対策		キーワードの取り出し 試験対策の解説		
15回	聴解・漢字試験と解説		スクリプトで内容確認 漢字の確認		

対象学年	1・2年共通	学期	通年(前期)	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	日本語能力試験対策Ⅱ(聴解・漢字)			クラス	ST	
担当講師(フルネーム)	上中真由美			実務経験	無	
授業概要(内容)	日本語能力試験N3 聴解・漢字対策、試験スタイルの聴解を聞く合格に必要な漢字の読みと意味の導入と練習			授業形態	講義	
到達目標	日本語能力試験N3合格					
使用テキスト	N3漢字スピードマスター					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	N3聴解・漢字		j授業の進め方、評価方法について 漢字ユニット1-1・2 聴解			
2回	N3聴解・漢字		漢字ユニット1-3・4 聴解			
3回	N3聴解・漢字		漢字ユニット1-5 まとめ問題 聴解			
4回	N3聴解・漢字		漢字ユニット2-1・2 聴解			
5回	N3聴解・漢字		漢字ユニット2-3・4 聴解			
6回	N3聴解・漢字		漢字ユニット2-5 まとめ問題 聴解			
7回	N3聴解・漢字		漢字ユニット3-1・2 聴解			
8回	N3聴解・漢字		漢字ユニット3-3・4 聴解			
9回	N3聴解・漢字		漢字ユニット3-5 まとめ問題 聴解			
10回	N3聴解・漢字		漢字ユニット4-1・2 聴解			
11回	N3聴解・漢字		模擬試験			
12回	N3聴解・漢字		漢字ユニット4-3・4 聴解			
13回	N3聴解・漢字		漢字ユニット4-5 まとめ問題 聴解			
14回	N3聴解・漢字		復習			
15回	N3聴解・漢字		期末試験			

対象学年	1・2・3年共通	学期	通年(前期)	学科	国際ホテルマネジメント	
科目名	日本語能力試験対策Ⅲ(文法)			クラス	UST N1	
担当講師(フルネーム)	永吉美知子			実務経験	無	
授業概要(内容)	日常生活には使われることが少ない文法なので 自宅での予習並びに復習を前提としての授業で 教材を進めていく			授業形態	講義	
到達目標	JLPT N1 合格					
使用テキスト	新完全マスター 文法 日本語能力試験 N1 パワードリル N1文法					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	1課・2課	時間と範囲	文法の意味と接続 例文と実践問題を使って 適用力を伸ばす			
2回	3課・4課	限定と例示	前回の復習 文法の意味と接続 例文と実践問題を使って 適用力を伸ばす			
3回	5課・6課	関連と様子	問題(24~25) 文法の意味と接続 例文と実践問題を使って 適用力を伸ばす			
4回	7課・8課	逆説	前回の復習 文法の意味と接続 例文と実践問題を使って 適用力を伸ばす			
5回	9課・10課	条件	問題(40~41) 文法の意味と接続 例文と実践問題を使って 適用力を伸ばす			
6回	10課までの復習		10課までの復習と確認 調整			
7回	11課・12課	原因・理由	文法の意味と接続 例文と実践問題を使って 適用力を伸ばす			
8回	12課までの復習・13課		問題(56~57) 文法の意味と接続 例文と実践問題を使って 適用力を伸ばす			
9回	14課・15課	話題・比較	文法の意味と接続 例文と実践問題を使って 適用力を伸ばす			
10回	16課・総復習		文法の意味と接続 例文と実践問題を使って 適用力を伸ばす			
11回	17課・18課	断定	文法の意味と接続 例文と実践問題を使って 適用力を伸ばす			
12回	模擬テスト		過去問			
13回	模擬テスト FB		間違い部分をFB			
14回	19課・試験対策		19課の問題 試験対策問題の解説			
15回	試験と解説・20課		試験の解説 20課の問題			

対象学年	2・3年共通	学期	通年(前期)	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	日本語能力試験対策Ⅲ(文法)			クラス	UST	
担当講師(フルネーム)	上中真由美			実務経験	無	
授業概要(内容)	日本語能力試験N2文法対策 文法の使い方を学び、問題を繰り返し練習する			授業形態	講義	
到達目標	日本語能力試験N2合格					
使用テキスト	TRY! 日本語能力試験N2 改訂版					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	N2文法	授業の進め方、評価方法について 文法導入 練習問題をする				
2回	N2文法	文法導入 練習問題をする				
3回	N2文法	文法導入 練習問題をする				
4回	N2文法	文法導入 練習問題をする				
5回	N2文法	文法導入 練習問題をする				
6回	N2文法	文法導入 練習問題をする				
7回	N2文法	文法導入 練習問題をする				
8回	N2文法	文法導入 練習問題をする				
9回	N2文法	文法導入 練習問題をする				
10回	N2文法	文法導入 練習問題をする				
11回	N2文法	模擬試験				
12回	N2文法	文法導入 練習問題をする				
13回	N2文法	文法導入 練習問題をする				
14回	N2文法	復習				
15回	N2文法	期末試験				

対象学年	1・2・3年共通	学期	通年(前期)	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	日本語能力試験対策Ⅲ(文法)			クラス	UST③	
担当講師(フルネーム)	挽田雅子			実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	日本語能力試験N3対策 N3文法の使い方を確認し、問題を解く			授業形態	講義	
到達目標	日本語能力試験N3合格					
使用テキスト	TRY! 日本語能力試験N3					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	N3文法	授業の進め方・評価方法の説明 1(1)作文 旅行などの初めての経験について、体験したことや考えたこと、感じたことが表現できる				
2回	N3文法	1(2)作文 文法形式の判断 文の組立て				
3回	N3文法	2(1)ブログ ペットや家族を簡単に紹介したり、自分との関係を説明したりすることができる				
4回	N3文法	2(2)ブログ ペットや家族との生活や、自分との関係を説明したりすることができる 文法形式の判断				
5回	N3文法	3(1)お知らせ 参加者募集のお知らせを見て、申込方法などの内容が理解できる				
6回	N3文法	3(2)お知らせ イベントなどについて、経験者の感想や活動内容から、様子がイメージできる 文法形式の判断				
7回	N3文法	4(1)親しい人との会話 個人的なことについて、確認しながら、友だちとおしゃべりができる				
8回	N3文法	4(2)親しい人との会話 個人的なことについて、意見や感想を交えて、友だちとおしゃべりができる 文法形式の判断				
9回	N3文法	5(1)料理のレシピ レシピを読んで、どんな料理か理解できる				
10回	N3文法	模擬テスト N3文法				
11回	N3文法	5(2)料理のレシピ レシピを読んで、料理の手順や注意が理解できる 文法形式の判断				
12回	N3文法	6(1)スピーチ 環境問題など、あるテーマについての発表で、問題提起ができ、自分の意見が言える				
13回	N3文法	6(2)スピーチ 環境など、あるテーマについて具体例から結論まで話し、全体としてまとまった発表ができる 文法形式の判断				
14回	期末試験	期末試験 N3・文法項目				
15回	まとめ	期末試験のフィードバック 復習				

対象学年	1・2・3年共通	学期	通年(前期)	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	日本語能力試験対策Ⅳ(読解)			クラス	UST①	
担当講師(フルネーム)	挽田雅子			実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	日本語能力試験N1読解対策 できるだけ多くの読解問題を解き、解き方を身につける			授業形態	講義	
到達目標	日本語能力試験N1合格					
使用テキスト	プリント配布					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	N1読解	授業の進め方・評価方法の説明 読解問題を解くポイント				
2回	N1読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する 内容理解(短文)など				
3回	N1読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する 内容理解(情報検索)など				
4回	N1読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する 内容理解(情報検索)など				
5回	N1読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する 内容理解(中文)など				
6回	N1読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する 内容理解(中文)など				
7回	N1読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する 内容理解(長文)など				
8回	N1読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する 統合理解				
9回	N1読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する 主張理解(長文)など				
10回	N1読解	模擬テスト フィードバック				
11回	N1読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する 主張理解(長文)など				
12回	N1読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する 新聞など				
13回	N1読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する 新聞など				
14回	期末試験	期末試験				
15回	復習	期末試験のフィードバック 前期のまとめ				

対象学年	2・3年共通	学期	通年(前期)	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	日本語能力試験対策Ⅳ(読解)			クラス	UST	
担当講師(フルネーム)	上中真由美			実務経験	無	
授業概要(内容)	日本語能力試験N2読解対策 読解問題を解く			授業形態	講義	
到達目標	日本語能力試験N2合格					
使用テキスト	プリント					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	N2読解	授業の進め方、評価方法について 読解問題の解き方のポイント 読解問題を解き、解答を確認、解説する				
2回	N2読解	読解問題を解き、解答を確認、解説する				
3回	N2読解	読解問題を解き、解答を確認、解説する				
4回	N2読解	読解問題を解き、解答を確認、解説する				
5回	N2読解	読解問題を解き、解答を確認、解説する				
6回	N2読解	読解問題を解き、解答を確認、解説する				
7回	N2読解	読解問題を解き、解答を確認、解説する				
8回	N2読解	読解問題を解き、解答を確認、解説する				
9回	N2読解	読解問題を解き、解答を確認、解説する				
10回	N2読解	模擬試験				
11回	N2読解	模擬試験				
12回	N2読解	読解問題を解き、解答を確認、解説する				
13回	N2読解	読解問題を解き、解答を確認、解説する				
14回	N2読解	読解問題を解き、解答を確認、解説する				
15回	N2読解	期末試験				

対象学年	1・2・3年共通	学期	通年(前期)	学科	国際ホテルマネジメント	
科目名	日本語能力試験対策Ⅳ(読解)			クラス	UST N3	
担当講師(フルネーム)	永吉美知子			実務経験	無	
授業概要(内容)	JLPT合格を阻むのが読解であるので 読解問題を解くコツと様々な文章になれさせる。自宅学習を前提として授業			授業形態	講義	
到達目標	JLPT N3 合格					
使用テキスト	日本語能力試験問題集 N3 読解 スピードマスター ・ 過去の試験問題					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	ウォーミングアップ2	様々な文やグラフから キーワードを抜き出す 基本語彙の確認と定着				
2回	復習ドリル	指示語の理解 主語・述語の関係性の理解				
3回	実戦練習 短文 1・2・3 中文 問題 1	問題の解き方のポイント キーワードを抜き出す・内容理解				
4回	実戦練習 短文4・5・6 中文 問題 2	問題の解き方のポイント キーワードを抜き出す・内容理解				
5回	実戦練習 短文7・8・9 中文 問題3	問題の解き方のポイント キーワードを抜き出す・内容理解				
6回	実戦練習 短文10・11 長文 問題 1	問題の解き方のポイント 長文の解き方対策				
7回	模擬テストと対策	間違い易い部分の解答と解説				
8回	実戦練習 短文12・13 長文 問題 4	問題の解き方のポイント 長文の解き方対策				
9回	実戦練習 短文14・15 情報検索 問題1・2	問題の解き方のポイント 情報の読み取り方のポイント				
10回	実戦練習 短文16・17 長文 問題 5	問題の解き方のポイント 長文の解き方対策				
11回	実戦練習 短文18・19 情報検索 問題4・5	問題の解き方のポイント 情報の読み取り方のポイント				
12回	模擬テスト	過去問				
13回	模擬テスト FB	間違い部分をFB				
14回	実戦練習 短文20 中文 問題4・5	試験対策問題の解説				
15回	試験・長文6	試験の解説				

対象学年	2年	学期	通年(後期)	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	SPI対策			クラス	S	
担当講師(フルネーム)	榎木田裕夫・山本真美			実務経験	無	
授業概要(内容)	就職試験対策 授業は非言語。言語を隔週で実施			授業形態	講義	
到達目標	SPI(一般常識・時事問題を含む)、採用試験が解ける学力の向上をめざします。					
使用テキスト	SPI基本問題集(大和書房)一般常識&SPI					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	非言語①		SPI非言語の説明 四則計算(分数小数を使った計算演習)と一次方程式を解く			
2回	言語①		SPI言語の説明 一般常識 世界各国の場所と情勢			
3回	非言語②		割合の問題を解く			
4回	言語②		SPI言語 原料 一般常識 国際連合と地域協定			
5回	非言語③		金銭の問題(損益を求める基本問題 p.64)を解く			
6回	言語③		SPI言語 ことわざ 一般常識 G7とG20			
7回	非言語④		金銭の問題(損益を求める標準問題 p.68)を解く			
8回	言語④		SPI言語 二語の関係① 一般常識 世界の産地産物と気候			
9回	非言語⑤		金銭の問題(精算を求める p.76)を解く			
10回	言語⑤		SPI言語 二語の関係② 一般常識 経済連携協定と域内人口			
11回	非言語⑥		金銭の問題(分割払いの問題 p.82)を解く			
12回	言語⑥		SPI言語 四字熟語① 一般常識 経済			
13回	非言語⑦		速度の問題(p.86)を解く			
14回	言語⑦		SPI言語 四字熟語② 時事問題とのかかわり方 夏休みの課題説明			
15回	前期間①試験		前期末試験 非言語・言語で30分の試験問題 残りの時間はSPI試験の模擬試験を実施			

対象学年	2・3年共通	学期	前期のみ	学科	国際ホテルマネジメント科
科目名	おもてなし検定対策			クラス	SU
担当講師(フルネーム)	前田 恭子			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	接客をするための心がまえ、身だしなみ、立居振る舞い、言葉づかい、業務の流れを解説して、過去問に挑戦します。			授業形態	講義
到達目標	9月に実施される「おもてなし検定3級」の合格を目指します				
使用テキスト	講師作成プリント				
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	心がまえ 身だしなみ	おもてなしに必要な身だしなみ おじぎ、正座・跪座(きざ) 身体の部位の名称			
2回	立居振る舞い 言葉づかい	方向を教えるときの立居振る舞い 物の受け渡し 間違えやすい敬語			
3回	宿泊基礎知識	旅館とホテルの違い 業務の種類や部署			
4回	旅館がお客様に 提供するもの	旅館の施設・設備 日本料理の「五色」「五味」「五法」			
5回	予約の受注	電話での予約受注			
6回	お出迎え チェックイン	お出迎えからフロントまでの案内 チェックインの仕事			
7回	お部屋へのご案内	お部屋へのご案内 エレベーターの乗り降り			
8回	客室での業務(1)	入室後の業務 湯茶サービスの方法 上座と下座			
9回	客室での業務(2)	館内施設のご案内 浴衣の説明、日本のお風呂でのマナー			
10回	お食事提供(1)	日本料理の種類 日本の食事ルール 食事に使う道具の名称			
11回	お食事提供(2)	お食事提供の注意点			
12回	お食事提供(3)	後片づけの注意点 宴会場でのお食事提供			
13回	お食事提供(4)	アレルギーについて お酒の種類、ハンドルキーパー			
14回	精算・チェックアウト お見送り	お布団の上げ下げ 精算・チェックアウト お見送り			
15回	まとめ	過去問に挑戦			

対象学年	2年	学期	通年(前期)	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	TOEIC			クラス	S	
担当講師(フルネーム)	挽田雅子			実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	英語の「聞く」「読む」の技能を強化する 海外旅行のストーリーを追いながら英語の学習をする			授業形態	講義	
到達目標	基本英文法の知識を整理し英語でコミュニケーションをする。TOEIC試験で目標スコアを獲得する。					
使用テキスト	Start-up Course for the TOEIC L&R Test					
成績評価方法	・期末試験・中間試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		授業の進め方・評価方法の説明 TOEICテストの説明 TEST①を解く			
2回	Unit 1(1)		Unit1 Transportation and Information Vocabulary Listening / Reading			
3回	Unit 1(2) Unit 2(1)		Unit1 Grammar Unit2 Instructions and Explanations Vocabulary			
4回	Unit 2(2)		Unit2 Listening Reading Grammar			
5回	Unit 3(1)		Unit3 Eating and Drinking Vocabulary Listening / Reading			
6回	Unit 3(2) Unit 4(1)		Unit3 Grammar Unit4 Business Scene Vocabulary			
7回	Unit 4(2)		Unit4 Listening Reading Grammar			
8回	Unit 1～4復習		中間試験 Listening Reading/Grammar			
9回	Unit 5(1)		Unit5 Communication Vocabulary Listening / Reading			
10回	Unit 5(2) Unit 6(1)		Unit5 Grammar Unit6 Socializing Vocabulary			
11回	Unit 6(2)		Unit6 Listening Reading Grammar			
12回	Unit 7(1)		Unit7 Invitation Vocabulary Listening			
13回	Unit 7(2)		Unit7 Reading Grammar			
14回	期末試験		Unit1～Unit7			
15回	総復習		期末試験のフィードバック まとめ			

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	国際ホテルマネジメント科
科目名	ホテル実務技能認定試験			クラス	S
担当講師(フルネーム)	小西 翼			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	部署を問わず、ホテルで即戦力として働くために必要な基礎知識を身に付ける。			授業形態	講義
到達目標	ホテル実務技能認定試験初級の資格を取得する。				
使用テキスト	ホテル実務技能認定試験 初級 問題集				
成績評価方法	・期末試験70% 平常点(予習の有無を含む)30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	オリエンテーション テキスト解説	資格試験について説明 前期の授業の進め方、評価方法の説明 接客分野の解答、解説			
2回	テキスト解説	接客分野の解答、解説			
3回	テキスト解説	接客分野の解答、解説			
4回	テキスト解説	料飲分野の解答、解説			
5回	テキスト解説	料飲分野の解答、解説			
6回	テキスト解説	料飲分野の解答、解説			
7回	テキスト解説	宿泊分野の解答、解説			
8回	テキスト解説	宿泊分野の解答、解説			
9回	テキスト解説	宿泊分野の解答、解説			
10回	テキスト解説	語学分野の解答、解説			
11回	テキスト解説	語学分野の解答、解説			
12回	テキスト解説	その他のホテル関連分野の解答、解説			
13回	テキスト解説	その他のホテル関連分野の解答、解説			
14回	テキスト解説	その他のホテル関連分野の解答、解説			
15回	期末試験	前期期末試験を実施⇒採点⇒返却⇒解説⇒回収			

対象学年	2年	学期	通年(前期)	学科	国際マネジメント	
科目名	ペン字			クラス	S	
担当講師(フルネーム)	白石 真紀			実務経験	無	
授業概要(内容)	文字(平仮名・片仮名・数字・漢字)の形とバランスの習得			授業形態	講義	
到達目標	この授業で習ったことを他の教科で活かして読みやすい文字を書く					
使用テキスト	オリジナルテキスト・下敷き・ペン2本					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	文字の基本を学ぶ①		文字を書くための基本 姿勢、ペンの持ち方・筆記用具の種類など 自分の名前～名前の配字・配列			
2回	文字の基本を学ぶ②		片仮名① 片仮名の特徴と書き取り練習			
3回	文字の基本を学ぶ③		片仮名② 片仮名の特徴と書き取り練習			
4回	文字の基本を学ぶ④		平仮名① 平仮名の特徴と書き取り練習			
5回	文字の基本を学ぶ⑤		平仮名② 平仮名の特徴と書き取り練習(名前)			
6回	文字の基本を学ぶ⑥		平仮名・片仮名まとめ～言葉の書き取り 平仮名・片仮名の名前のまとめ			
7回	文字の基本を学ぶ⑦		読みやすい文字を書くための基本 1字1字の形の取り方とバランス【漢字編】①			
8回	文字の基本を学ぶ⑧		読みやすい文字を書くための基本 1字1字の形の取り方とバランス【漢字編】②			
9回	文字の基本を学ぶ⑨		読みやすい文字を書くための基本 1字1字の形の取り方とバランス【漢字編】③			
10回	文字の基本を学ぶ⑩		読みやすい文字を書くための基本 漢字・平仮名・片仮名交じりの文章の練習～マス目 縦書きの書式を学ぶ～縦書きの名前の練習			
11回	文字の基本を学ぶ⑪		読みやすい文字を書くための基本 漢字・平仮名・片仮名交じりの文章の練習～3行			
12回	文字の基本を学ぶ⑫		読みやすい文字を書くための基本 漢字・平仮名・片仮名交じりの文章の練習～6行			
13回	文字の基本を学ぶ⑬		読みやすい文字を書くための基本 漢字・平仮名・片仮名交じりの文章の練習～3行 横書きの書式を学ぶ～横書きの名前の練習			
14回	文字の基本を学ぶ⑭		読みやすい文字を書くための基本 漢字・平仮名・片仮名・数字交じりの文章の練習 ～9行			
15回	文字の基本を学ぶ⑮		読みやすい文字を書くための基本 まとめ			

対象学年	2年	学期	通年(前期)	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	就職活動講座			クラス	S	
担当講師(フルネーム)	牟田口 真理子			実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	就職活動に向けて心構えを持つ			授業形態	講義	
到達目標	就職活動の流れを知り自己分析を行う					
使用テキスト	Gキャリアサポート					
成績評価方法	取り組む姿勢、提出物(テキストP44、45、47、48、49、55、66、76、114、118) ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	日本の就職活動を知ろう・日本の就職試験	日本の就職活動について 様々な試験の種類について 自己分析				
2回	就職活動スケジュール・自分史ヒストリー	就職活動のスケジュールについて 企業実習の振り返りについて 自分史ヒストリーP44				
3回	就職活動行動リスト・自分史ヒストリー	就職活動行動リスト 就活サイト登録 自分史ヒストリーP44				
4回	すぐに始める就活・自分の特徴	すぐに始める就活 就活サイト登録 自分の特徴P45				
5回	在留資格について・自分の特徴	在留資格について 卒業後どうしたいか考える 自分の特徴P45				
6回	就活のマナー 電話のマナー・将来の自分史	就職活動とマナー 電話のマナー 将来の自分史P47				
7回	就活のマナー 電話のマナー・将来の自分史	就職活動とマナー 電話のマナー 将来の自分史P47				
8回	就活のマナー Eメールのマナー・4つの窓	就職活動とマナー Eメールのマナー 将来の自分史P47				
9回	就活のマナー Eメールのマナー・4つの窓	就職活動とマナー Eメールのマナー 将来の自分史P48				
10回	自己紹介文、入りたい業界	P114、55				
11回	自己PR文	ES対策 自己PRの書き方 P76				
12回	業界を志望した動機	業界、企業、仕事を知ろう P55				
13回	学生時代力を入れたこと	ES対策 学生時代に力を入れたこと P84				
14回	エントリーシート作成	ESの書き方のついて P66				
15回	エントリーシート作成	いままで学んだことの振り返り P66				

対象学年	2年	学期	通年(前期)	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	面接対策			クラス	S	
担当講師(フルネーム)	田中 友加利、甲斐 奈奈			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	就職内定に向けて模擬面接を中心に面接対策を行う。			授業形態	講義	
到達目標	全員内定できる面接レベルを目標とする					
使用テキスト	就職ノート、Gキャリアサポート					
成績評価方法	・提出物・授業態度・身だしなみ・出席率・実技試験により評価 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	・面接の種類と心構えを理解する 第一印象の重要性について自覚する 身だしなみ、お辞儀、挨拶				
2回	面接練習	・入室からお辞儀、自己紹介、退室の仕方				
3回	面接練習	・入室からお辞儀、自己紹介、退室の仕方				
4回	面接練習	・入室からお辞儀、自己紹介、退室の仕方				
5回	面接練習	・入室からお辞儀、自己紹介、退室の仕方				
6回	面接練習	・自己分析 長所(長所に対するエピソードのオリジナル化)				
7回	面接練習	・自己分析 長所(長所に対するエピソードのオリジナル化)				
8回	面接練習	・自己分析 短所(短所の改善策)				
9回	面接練習	・自己分析 短所(短所の改善策)				
10回	面接練習	・基本的な質問に答える (志望動機、自己PR)				
11回	面接練習	・基本的な質問に答える (志望動機、自己PR)				
12回	面接練習	・いろいろな質問に答える				
13回	面接練習	・いろいろな質問に答える				
14回	期末試験	面接の実技試験				
15回	期末試験	面接の実技試験				

対象学年	3年	学期	通年(前期)	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	マーケティング			クラス	U	
担当講師(フルネーム)	松岡 尚美			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	マーケティングの基本からマーケティング・プロセス、ホテルビジネスにおける顧客管理、マーケティング技法など幅広い知識を習得する。			授業形態	講義	
到達目標	ホテルマーケティングの基本的な知識やホテル・サービスの価値を理解し、即戦力として現場で活躍できるようになる。					
使用テキスト	適宜プリント配布 【参考文献】ホテルマーケティング日英併記版/一般財団法人 日本ホテル教育センター					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2	
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		授業の進め方、評価方法について説明する ホテルマーケティングの定義と時代による変遷			
2回	マーケティングの基本		マーケティング・プロセスとフレームワーク			
3回	マーケティングの基本		マーケティング手法のトレンド			
4回	マーケティングの基本		今後のマーケティングの課題と必要な視点 DXとデジタル・マーケティング			
5回	ホテル・ビジネス		安心・安全を確保し、ホスピタリティ精神を伴ったサービスを提供する企業活動			
6回	ホテル・ビジネス		企業理念や経営哲学が商品やサービスに反映される企業活動			
7回	ホテル・ビジネス		市場調査と分析			
8回	ホテル・ビジネス		商品化計画(マーチャндаイジング)			
9回	ホテル・ビジネス		従来のホテル・ビジネスにおける顧客管理			
10回	ホテル・ビジネス		CRM(カスタマー・リレーションシップ・マネジメント)の必要性			
11回	ホテル・ビジネス		2020年以降の新たな常態と急浮上した課題			
12回	ホテル・ビジネス		旅行の意義と旅行者ニーズの変化			
13回	マーケティング技法		構想・企画に関する技法 ABC分析			
14回	ホテル・ビジネス		宿泊施設における「もてなし」の再考			
15回	期末テスト		期末テスト			

対象学年	3年	学期	通年(前期)	学科	国際マネジメント科	
科目名	外食産業			クラス	u	
担当講師(フルネーム)	水田勇太			実務経験		
授業概要(内容)	特定技能1号外食業技能測定試験のための学習			授業形態	講義	
到達目標	特定技能1号外食業技能測定試験の合格					
使用テキスト	特定技能1号外食産業技能測定試験 学習用テキスト					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	特定技能1号外食業測定試験とは	特定技能1号外食業技能測定試験について説明				
2回	接客全般①	接客に関する知識①				
3回	接客全般②	接客に関する知識②				
4回	接客全般③	接客に関する知識③				
5回	接客全般④	食に関する知識①				
6回	接客全般⑤	食に関する知識②				
7回	接客全般⑥	食に関する知識③				
8回	接客全般⑦	店舗管理に関する知識				
9回	接客全般⑧	クレーム対応に関する知識				
10回	接客全般⑨	緊急時の対応に関する知識				
11回	飲食物調理①	食材に関する知識				
12回	飲食物調理②	下処理に関する知識				
13回	飲食物調理③	各調理法に関する知識				
14回	期末試験	期末試験の実施				
15回	まとめ	期末試験の解答、復習				

対象学年	3年	学期	通年(前期)	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	マネジメント			クラス	U	
担当講師(フルネーム)	中牟田登喜枝			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	ホテル実務経験、ホテルマネジメントの基礎的な知識を学習する			授業形態	講義	
到達目標	マネジメントの基礎的な仕組みを学習しホテルで活用できるようになる					
使用テキスト	ホテルマネジメント					
成績評価方法	・授業進度に合わせた小テスト、提出物、平常点50%、期末試験50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	マネジメントの基本		マネジメントの基本認識と定義 (1)経営者の仕事～(5)企業文化			
2回	マネジメントの基本		(6)人事戦略～(10)モチベーション			
3回	マネジメントの基本		ホテルの経営と運営 (1)外資と日本ホテル～(2)日本進出の背景			
4回	マネジメントの基本		ホテルの経営と運営 (3)所有・経営・運営の分離～(7)マネジメント契約方式			
5回	マネジメントの基本		ホテルの収益構造			
6回	ホテルの会計基準		ホテルの会計基準の特徴			
7回	部門別のマネジメント		ホテルの収益会計と費用会計 ユニフォーム・システム			
8回	部門別のマネジメント		宿泊部門のマネジメント(1)KPIと計数計算～ADR			
9回	部門別のマネジメント		宿泊部門のマネジメント(4)RevPAR～(5)定員稼働率			
10回	部門別のマネジメント		宿泊料金体系			
11回	部門別のマネジメント		3つの宿泊料金体系			
12回	部門別のマネジメント		レベニューマネジメント			
13回	部門別のマネジメント		料飲部門のマネジメント			
14回	部門別のマネジメント		宴会部門のマネジメント			
15回	まとめ		前期復習			

対象学年	3年	学期	通年(前期)	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	マナープロトコール			クラス	U	
担当講師(フルネーム)	橋本美智子			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	国際的に通用するマナーと日本の礼儀作法の基本を講義と演習により習得する。			授業形態	講義&演習	
到達目標	知識を習得し「社会人としてコミュニケーション能力を高める表現」を身につける。					
使用テキスト	マナー&プロトコールの基礎知識 プリント					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		マナーとは何か、マナーを学ぶ意義 シラバスの説明 お辞儀の仕方、自己紹介			
2回	第1章マナーの歴史と意義		日本と西洋のマナー ・歴史や相違点を話し合いながら理解する ・異文化に接した自分の体験を話す			
3回	第2章国際人としてのプロトコール		プロトコールの原則 ・社交の場での好ましい話題・好ましくない話題を考え、その理由を説明する			
4回	第3章社会人に必要なマナー		1 好印象を与えるコミュニケーション (服装、挨拶、お辞儀、表情、身だしなみ、言葉遣い、聴き方、話し方)			
5回	第3章社会人に必要なマナー		2 言葉遣い①			
6回	第3章社会人に必要なマナー		2 言葉遣い②			
7回	第3章社会人に必要なマナー		3 手紙のマナー/演習(書式のルールにそって書く)			
8回	まとめ		第1～7回までのまとめ			
9回	第4章ビジネスマナー		1 ビジネスマナーとは、その必要性について考える 2 社会人としての心構え ・社会人の印象についてGRPワーク			
10回	第4章ビジネスマナー		3 「社会人が求められる能力について」考えてみる			
11回	第4章ビジネスマナー		4上手な聴き方・話し方の実践			
12回	評価週		期中評価			
13回	評価週		期中評価			
14回	第4章ビジネスマナー		テーマにそった討議			
15回	まとめ		第1～14週のまとめ			

対象学年	3年	学期	前期のみ	学科	国際ホテルマネジメント科
科目名	SPI対策			クラス	U
担当講師(フルネーム)	榎木田裕夫・山本真美			実務経験	無
授業概要(内容)	就職試験の筆記分野(SPI、一般常識など)対策 言語、非言語を隔週で実施			授業形態	講義
到達目標	WEBテスト、適性検査、時事問題などにも対応できるように実力をつける				
使用テキスト	SPI基本問題集(大和書房)一般常識&SPI				
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施				
	テーマ		授業内容		
1回	言語①	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 毎回テストを実施し解答と解説をします。 残りの時間は、時事問題用語解説や新聞記事読解に取り組みます			
2回	非言語①	WEBテスト(玉手箱対策、計数逆算)			
3回	言語②	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 NHKの「NEWS WEB EASY」で最新のニュースチェックを忘れずに。			
4回	非言語②	WEBテスト(玉手箱対策、図表の読み取り問題)			
5回	言語③	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 先輩たちの受験報告書を活用していますか？各企業の試験問題傾向がわかります。			
6回	非言語③	順列、組み合わせの問題			
7回	言語④	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 内定は「スタート」。就業までの時間を大切に。「自分の知識を増やす」を常に心がけましょう。			
8回	非言語④	確率の問題			
9回	言語⑤	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 じっくりとニュースの「なぜ？」を考える。			
10回	非言語⑤	グラフの問題			
11回	言語⑥	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 ニュースの「なぜ？」から自分の意見を考える。 ・時事問題:SDGsの取り組み①			
12回	非言語⑥	推論の問題			
13回	言語⑦	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 ・時事問題:SDGsの取り組み②			
14回	非言語⑦	図形の問題			
15回	前期末試験	前期末試験 非言語と言語で30分で実施 ・時事問題:SDGsの取り組み③			

対象学年	3年	学期	前期のみ	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	日本語読解			クラス	U	
担当講師(フルネーム)	中牟田 哲也			実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	テキストを中心に授業を進める。JLPTのN2合格を目指し、宿題を課す。例題をもとに回答するためのポイントをつかみ、練習問題で実践。			授業形態	講義	
到達目標	JLPT N2合格					
使用テキスト	新完全マスター 読解N2					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	ガイダンス 実力チェック問題	授業運営 成績評価 実力チェック問題				
2回	文章のしくみを理解する (1)対比	文章全体の意味をとらえる練習 「対比」…ほかのものと比べる 例題1・2、練習1・2				
3回	文章のしくみを理解する (2)言い換え	文章全体の意味をとらえる練習 「言い換え」…ほかの言葉で言い換える 例題4・5、練習6・7				
4回	文章のしくみを理解する (3)比喩	文章全体の意味をとらえる練習 「比喩」ほかのものにととえる 例題6、練習10・11・12				
5回	文章のしくみを理解する (4)疑問提示文	文章全体の意味をとらえる練習 「疑問提示文」…疑問文を使って話題を提示する 例題7、練習13・14・15				
6回	文章のしくみを理解する (5)主張表現	文章全体の意味をとらえる練習 「主張表現」…自分の意見であることを示す 例題8、練習17・18・19				
7回	問いを解く技術 (1)指示語	文章の細かい部分を正確に読み取る練習 指示語を問う 例題9・10、練習21・22				
8回	問いを解く技術 (2)だれが、何が、何を	文章の細かい部分を正確に読み取る練習 「だれが」「何が」「何を」などを問う 例題11・12、練習25・26				
9回	問いを解く技術 (3)下線部の意味	文章の細かい部分を正確に読み取る練習 下線部の意味を問う 例題13、練習28・29・30				
10回	問いを解く技術 (4)理由	文章の細かい部分を正確に読み取る練習 理由を問う 例題14・15、練習33・34				
11回	問いを解く技術 (5)例	文章の細かい部分を正確に読み取る練習 例を問う 例題16、練習39・40・41				
12回	広告・お知らせ・説明書き (1)広告	情報を探し出す～部分的な内容を尋ねる問い 広告 例題20・21、練習45・46				
13回	広告・お知らせ・説明書き (2)お知らせ	情報を探し出す～部分的な内容を尋ねる問い お知らせ 例題22・23、練習47・48				
14回	期末試験	まとめ 期末試験				
15回	期末試験フィードバック まとめ	期末試験フィードバック まとめ				

対象学年	3年	学期	通年(前期)	学科	国際ホテルマネジメント科
科目名	コミュニケーションイングリッシュ			クラス	U
担当講師(フルネーム)	Tim Orris			実務経験	無
授業概要(内容)	Doing self introductions. Making various presentations about oneself with a lot of partner work. A lot of vocabularies. Practicing role plays. Understanding various culture points.			授業形態	講義
到達目標	To improve students' fluency and ability to use simple English at work and socially. To raise their confidence levels using simple English by creating more opportunities for the students to speak.				
使用テキスト	Challenge book #4、Takeoff!、Warm-up Booklet 2、Vocabulary Book (Noun)				
成績評価方法	・期末試験50% 平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施				
	テーマ		授業内容		
1回	Orientation Warm Up: P1, Vocabulary: P1 Challenge Book: P7-8 Takeoff!: Dialog 1		Orientation: Explanation about Class rules Presentation and Q&A: Beginner's Test, Self-introduction Nouns starting with A, Role play with Take off!		
2回	Warm Up: P2, Vocabulary: P1 Challenge Book: P7-8 Takeoff!: Dialog 1		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation and Q&A: Beginner's Test, Self-introduction Sentences using nouns starting with A, Role play with Take off!		
3回	Warm Up: P3, Vocabulary: P2 Challenge Book: P9 Takeoff! Dialog: 2		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Personal Information Nouns starting with B, Role play with Take off!		
4回	Warm Up: P4, Vocabulary: P2 Challenge Book: P9 Takeoff! Dialog: 2		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Personal Information Sentences using nouns starting with B, Role play with Take off!		
5回	Warm Up: P5, Vocabulary: P3 Challenge Book: P10 Takeoff! Dialog: 3		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: Introducing a Friend Nouns starting with C, Role play with Take off!		
6回	Warm Up: P6, Vocabulary: P3 Challenge Book: P10 Takeoff! Dialog: 3		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: Introducing a Friend Sentences using nouns starting with C, Role play with Take off!		
7回	Warm Up: P7, Vocabulary: P4 Challenge Book: P11 Takeoff! Dialog: 4		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Family Test Nouns starting with D, Role play with Take off!		
8回	Warm Up: P8, Vocabulary: P4 Challenge Book: P11 Takeoff! Dialog: 4		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Family Test Sentences using nouns starting with D, Role play with Take off!		
9回	Warm Up: P9, Vocabulary: P5 Challenge Book: P12 Takeoff! Dialog: 5		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: My Family Presentation Nouns starting with E, Role play with Take off!		
10回	Warm Up: P10, Vocabulary: P5 Challenge Book: P12 Takeoff! Dialog: 5		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: My Family Presentation Sentences using nouns starting with E, Role play with Take off!		
11回	Warm Up: P11, Vocabulary: P6 Challenge Book: P13 Takeoff! Dialog: 6		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Sports Interview Nouns starting with F, Role play with Take off!		
12回	Warm Up: P12, Vocabulary: P6 Challenge Book: P13 Takeoff! Dialog: 6		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Sports Interview Sentences using nouns starting with F, Role play with Take off!		
13回	Warm Up: P13, Vocabulary: P7 Challenge Book: P14 Takeoff! Dialog: 7		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: My Favorite Sport Nouns starting with G, Role play with Take off!		
14回	Warm Up: P14, Vocabulary: P7 Challenge Book: P14 Takeoff! Dialog: 7		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: My Favorite Sport Sentences using nouns starting with G, Role play with Take off!		
15回	Warm Up: P15, Vocabulary: P8 Challenge Book: P15 Takeoff! Dialog: 8, Test		Oral Test Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab, Q&A: Cuisine Interview Nouns starting with H, Role play with Take off!		

対象学年	3年	学期	通年(前期)	学科	国際ホテルマネジメント 科	
科目名	コンピュータ			クラス	U	
担当講師(フルネーム)	乙咩 清美			実務経験	有(通信業界勤務歴)	
授業概要(内容)	タイピング、ビジネスレター(文書、メール等)を繰り返し練習する。 表計算の基礎を復習し、活用できる力を習得する。			授業形態	講義&演習	
到達目標	今まで学んだことを見直し、新規の表作成のデザインやフォームが作成できるようになる。					
使用テキスト	実教出版 30時間でマスターOffice2019					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	Word活用		タイピングレッスン ビジネス文書作成(社外文書) ※履歴書送付状を作ろう			
2回	Word活用		タイピングレッスン ビジネスメールの基本、書き方 ※実習の報告メールを送ってみよう			
3回	Word活用		タイピングレッスン ビジネス文書作成(ビジネスレター、ビジネスメール) ※就活として企業にメールを送ってみよう(練習です)			
4回	Word活用		タイピングレッスン ビジネス文書作成(社外文書) ※入社必要書類の送付状を作ろう			
5回	Excel活用		Excel関数の練習 オートSUMの活用方法			
6回	Excel活用		Excel関数の練習 IF関数			
7回	Excel活用		Excel関数の練習 IF関数・VLOOKUP関数			
8回	Excel活用		Excel関数の練習 データを集計しよう ○○比・○○率			
9回	Excel活用		表作成① Excel検定2級相当の練習			
10回	Excel活用		表作成② Excel検定2級相当の練習			
11回	総合演習		後期学んだことの復習			
12回	後期期末試験		前期期末試験実施			
13回	PowerPoint活用		動画作成 ショートストーリーのシナリオを構成し、スライド4枚でプレゼン作成 ※暑中見舞いメッセージなど			
14回	PowerPoint活用		動画作成 ショートストーリーのシナリオを構成し、スライド4枚でプレゼン作成と仕上げ ※アニメーション効果を活用しよう			
15回	PowerPoint活用		動画作成 できたプレゼンファイルを「MP4」ファイルに変換 ※クラウドを利用して、できた動画をスマホから家族や友達に送ってみよう			

対象学年	3年	学期	前期のみ	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	面接対策			クラス	U	
担当講師(フルネーム)	安部紀美江			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	・企業研究、志望動機、自己PRの完成品作成 ・面接での受け答えのロールプレイング			授業形態	講義	
到達目標	・志望する企業への内定を勝ち取る。					
使用テキスト	・オリジナルワークシート					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ	授業内容				
1回	自己PRの作成	・面接時での自己PRの発表練習。				
2回	面接対策	・自分のベスト自己PRを作成し、反復練習を行う				
3回	面接対策	・自分のベスト自己PRを作成し、反復練習を行う				
4回	受験企業の研究シート作成	・受験企業の研究シートの充実を図り、どのような質問にも答えられるようにする。				
5回	受験企業の研究シート作成	・受験企業の研究シートの充実を図り、どのような質問にも答えられるようにする。				
6回	受験企業の志望動機作成	・受験企業の志望動機を完成させ、反復練習を行う。				
7回	受験企業の志望動機作成	・受験企業の志望動機を完成させ、反復練習を行う。				
8回	企業研究・面接対策	・受験企業研究と共に面接での受け答え用文章を作成し、反復練習を行う。				
9回	企業研究・面接対策	・受験企業研究と共に面接での受け答え用文章を作成し、反復練習を行う。				
10回	企業研究・面接対策	・受験企業研究と共に面接での受け答え用文章を作成し、反復練習を行う。				
11回	企業研究・面接対策	・受験企業研究と共に面接での受け答え用文章を作成し、反復練習を行う。				
12回	企業研究・面接対策	・受験企業研究と共に面接での受け答え用文章を作成し、反復練習を行う。				
13回	企業研究・面接対策	・受験企業研究と共に面接での受け答え用文章を作成し、反復練習を行う。				
14回	完成品のチェック	・前提出物のチェック				
15回	入社後に必要なこと	・日本企業のあり方や組織内での最小限の必要知識を身に付ける				

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	国際ホテルマネジメント科
科目名	就職活動講座			クラス	U
担当講師(フルネーム)	牟田口真理子、藤田祐子			実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	それぞれの進路目標に沿って受験準備を進める。			授業形態	講義
到達目標	志望企業への内定。				
使用テキスト	専門学校生のための就職内定基本テキスト				
成績評価方法	・授業態度、提出物 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	× 期末試験なし				
	テーマ	授業内容			
1回	自分史History	就職試験の流れ、会社に提出する書類について確認しよう マイナビに登録しよう。気になる企業を登録しよう ①自分史Historyを書こう			
2回	自分の特徴	新着求人案内 マイナビ長所短所診断をしてみよう ②自分の特徴を書いてみよう			
3回	自己PR	新着求人案内 適性診断をしてみよう ③自己PRを書いてみよう			
4回	志望動機	新着求人案内 お願い他己診断をしてみよう ④志望動機を書いてみよう			
5回	学生時代に力を入れたこと	新着求人案内 全国一斉WEB模擬試験にチャレンジ ⑤学生時代に力を入れたこと			
6回	エントリーシート	新着求人案内 ⑥エントリーシート作成			
7回	エントリーシート	新着求人案内 エントリーシート作成			
8回	職務経歴書	新着求人案内 ⑦職務経歴書作成			
9回	職務経歴書	新着求人案内 職務経歴書作成			
10回	郵送物のマナー	新着求人案内 メールや郵便を送る際のマナーを知ろう ⑧企業宛ての封筒やメールを書いてみよう			
11回	グループディスカッション	新着求人案内 グループディスカッションのポイントを知ろう 実際にディスカッションをやってみよう			
12回	オンライン面接	新着求人案内 オンライン面接の際の注意事項を知ろう 実際にオンライン面接をやってみよう			
13回	動画面接	新着求人案内 ⑨自己紹介動画を作成してみよう			
14回	内定お礼状	新着求人案内 内定お礼状の書き方を知ろう ⑩実際に内定お礼状を書いてみよう			
15回	まとめ	就職活動を振り返ってみよう ①～⑩の提出			

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	時事問題			クラス	U	
担当講師(フルネーム)	牟田口真理子			実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	ニュースに触れ、現代の日本社会を取り巻く状況を理解する			授業形態	講義	
到達目標	ニュース検定4級合格を目指す					
使用テキスト	ニュース検定3・4級テキスト					
成績評価方法	・授業態度、提出物 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
テーマ		授業内容				
1回	私たちの民主主義	民意を託す選挙 18,19歳の投票率 衆議院10増10減へ				
2回	日本国憲法の行方	コロナ禍で注目「緊急事態条項」 様々な改憲テーマ 三大原理と象徴天皇制				
3回	どうなる外交と防衛	アメリカや中国との関係 ウクライナ侵攻への対応は 日米同盟と在日米軍基地、日本の領土				
4回	地方自治のいま	人口の三割が東京圏に 過疎化でローカル鉄道は 地方自治のイロハ				
5回	確認テスト	模擬試験に挑戦				
6回	足踏みする日本経済	相次ぐ値上げ円安が追い打ち 日銀金融緩和を一部修正 GDPの基礎、財政の仕組み				
7回	混迷する世界経済	世界で記録的なインフレ 揺らぐ自由貿易体制 貿易の基礎知識、日本の自由貿易				
8回	日本産業のいま	物価高が家庭・企業④圧迫、 観光業界に追い風、 日本産業の特徴、現代に不可欠な半導体				
9回	脱炭素社会への道のり	2050年カーボンニュートラルへ 原子力政策を転換 再生エネって？ 火力頼みの日本				
10回	確認テスト	模擬試験に挑戦				
11回	減り続ける日本の人口	4人に1人以上が高齢者、 自然減は15年以上、 止まらない少子化、世界は人口増				
12回	社会保障のこれから	増え続ける支えあいのお金 広がる応能負担 基本を知ろう社会保障制度				
13回	働くということ	労働者の三つの権利 ハラスメントのない職場へ 増えた非正規雇用、増える働く後継者				
14回	消費生活を豊かに	消費者を守る仕組み 契約トラブルにあつたら 加速するキャッシュレス化				
15回	確認テスト	模擬試験に挑戦				

国際ビジネス

学年	科目名
1	やり直し英文法
1	TOEIC
1	オンライン英会話
1	英会話
1	韓国語会話
1	コンピュータ
1	就職活動講座
1	TOPIK対策Ⅰ
1	TOPIK対策Ⅱ
1	韓国語文法
1	英語発音演習
1	リーディング
1	基礎韓国語強化
2	Grammar/英作文中級
2	時事英語
2	TOEIC
2	TOEIC対策Ⅰ
2	TOEIC対策Ⅱ
2	オンライン英会話
2	英会話
2	コンピュータ
2	就職筆記対策
2	就職活動講座
2	TOEICⅡ
2	TOPIK対策Ⅰ
2	ビジネス英語
2	韓国語会話
2	英語で日本文化紹介
2	韓国文化研究

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	国際ビジネス科	
科目名	やりなおし英文法			クラス	C	
担当講師(フルネーム)	日高 郁子			実務経験	有(通訳翻訳業界勤務歴)	
授業概要(内容)	中学英語の基礎文法から高校卒業時までの文法を総復習 英検やTOEICに対応できるようイチから学びなおします。			授業形態	講義	
到達目標	基礎文法から高校卒業レベルまでの応用文法を総復習する					
使用テキスト	Everyday English Grammar <Fourth Edition> 大学生のためのコミュニケーション英文法【改訂4版】 プリント等					
成績評価方法	期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	英語と日本語の違い	英作文の基本的な作り方 日本語との基本的な違いを改めて学ぶ				
2回	代名詞 一般動詞(現在形) 3単現のS	代名詞 一般動詞で文章を作る 3人称単数とは				
3回	一般動詞(現在形) 疑問文・否定文	一般動詞の疑問文、否定文				
4回	Be動詞	Be動詞とは Be動詞と一般動詞の違い それぞれを使って文章を作る				
5回	疑問詞	5W1Hを使って文章を作る 疑問詞疑問文の答え方				
6回	命令文	命令文 否定命令文				
7回	進行形	進行形の作り方				
8回	過去形	一般動詞、Be動詞、それぞれの文章の過去形を学ぶ				
9回	不定詞	不定詞の3つの訳し方と文章の作り方を学ぶ				
10回	動名詞	動名詞の使い方				
11回	受動態	能動態と受動態 受動態を使う時のシチュエーションを学ぶ				
12回	現在完了形	現在完了形の作り方 現在完了形を使う時のシチュエーションを学ぶ				
13回	過去完了形	過去完了形の作り方 過去完了形を使う時のシチュエーションを学ぶ				
14回	前期の総復習	前期に学んだ文法の総復習				
15回	期末テスト	期末テスト(授業中に期末テストを行います)				

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	国際ビジネス科	
科目名	TOEIC			クラス	D	
担当講師(フルネーム)	グスターズ妙子			実務経験	無	
授業概要(内容)	TOEICに特化した文法を基礎から復習。語学力を高める。 シャドーイングなどリスニング力を強化			授業形態	講義	
到達目標	各自の目標スコアを達成する					
使用テキスト	TOEIC L&R戦略的トレーニング:レベル500/TOEIC L&R TEST 出る単特急銀のフレーズ					
成績評価方法	・期末試験50% 単語熟語テスト30% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		授業の進め方について TOEICについて 単語テストの進め方			
2回	品詞問題(R1)/PART1(L1)		品詞の見分け方(名詞、形容詞、副詞) part1の解き方・練習 単語テスト			
3回	品詞問題(R1)/PART1(L2)		品詞の見分け方(名詞、形容詞、副詞) part1の解き方・練習 単語テスト			
4回	動詞の形(R2)/PART2(L3)		自動詞・他動詞の見分け方・part5を使用し自動詞・他動詞の見分け 単語テスト part2の解き方			
5回	動詞の形(R3)/PART2(L4)		時制 part2 単語テスト			
6回	動詞の形(R2.3)/PART2(L5)		動詞復習 part2シャドーイング 単語テスト			
7回	前置詞接続詞(R4)単語 復習テスト		前置詞接続詞 単語テスト			
8回	代名詞・関係代名詞(R5)		代名詞・関係代名詞 単語テスト			
9回	PART1.2復習(L1-6)		PART1.2復習 単語テスト			
10回	文法総復習		文法総復習 単語テスト			
11回	長文穴埋め問題(R6)		長文穴埋め問題 単語テスト			
12回	模擬テスト(TOEIC対策) リーディング		模擬テスト 単語テスト			
13回	模擬テスト(TOEIC対策) 復習		模擬テストリーディング復習 単語テスト			
14回	総復習		文法総復習 単語テスト			
15回	期末テスト		期末テスト(授業中に期末テストを行います)			

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	国際ビジネス科	
科目名	オンライン英会話			クラス	0クラス	
担当講師(フルネーム)	久保田 博子			実務経験	有(旅行業界)	
授業概要(内容)	与えられたテーマについて講師と会話しながら文法の習熟をはかる			授業形態	講義&演習	
到達目標	高校範囲の文法をスピーキングに役立たせる					
使用テキスト	予習・復習プリント					
成績評価方法	提出物・授業態度・出席率による評価60% アセスメント20%				単位数	2
	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	高校英文法 for スピーキング スタンダード		Lesson1			
2回	高校英文法 for スピーキング スタンダード		Lesson2			
3回	高校英文法 for スピーキング スタンダード		Lesson3			
4回	高校英文法 for スピーキング スタンダード		Lesson4			
5回	高校英文法 for スピーキング スタンダード		Lesson5			
6回	高校英文法 for スピーキング スタンダード		Lesson6			
7回	高校英文法 for スピーキング スタンダード		Lesson7			
8回	高校英文法 for スピーキング スタンダード		Lesson8			
9回	高校英文法 for スピーキング スタンダード		Lesson9			
10回	高校英文法 for スピーキング スタンダード		Lesson10			
11回	英検2次試験対策 トレーニング		Lesson11			
12回	高校英文法 for スピーキング スタンダード		Lesson12			
13回	高校英文法 for スピーキング スタンダード		Lesson13			
14回	スピーキングアセスメント		スピーキングアセスメント			
15回	高校英文法 for スピーキング スタンダード		Lesson15			

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	国際ビジネス科	
科目名	英会話TGG			クラス	C	
担当講師(フルネーム)	Pat Brown、Yoko Akimitsu			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	We will study and practice using natural phrases in different situations. We will do roleplays as customers and employees.			授業形態	講義	
到達目標	This course's focus is to give students English practice to build confidence.					
使用テキスト	No official textbook is needed. Handouts will be given to students.					
成績評価方法	・3の試験75% 平常点25% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	Orientation Restaurant 1 (Customer)	Introduction to the Syllabus / Warm-Up Activities / Vocabulary 1 Language Introduction and Practice Roleplay				
2回	Restaurant 2 (Customer)	Warm-Up Activities / Review / Vocabulary 2 Language Introduction and Practice Roleplay				
3回	Restaurant 3 (Server)	Warm-Up Activities / Review of Phrases Language Introduction and Practice Roleplay				
4回	Restaurant 4 (Server)	Warm-Up Activities / Review of Phrases Language Introduction and Practice Roleplay				
5回	Restaurant Assessment	Assessment (Written and Roleplay)				
6回	Airline 1 (Passenger)	Warm-Up Activities / Vocabulary 1 Language Introduction and Practice Roleplay				
7回	Airline 2 (Passenger)	Warm-Up Activities / Review / Vocabulary 2 Language Introduction and Practice Roleplay				
8回	Airline 3 (Flight Attendant)	Warm-Up Activities / Review of Phrases Language Introduction and Practice Roleplay				
9回	Airline 4 (Flight Attendant)	Warm-Up Activities / Review of Phrases Language Introduction and Practice Roleplay				
10回	Airline 5 Assessment	Assessment (Written and Roleplay)				
11回	Hotel 1 (Guest)	Warm-Up Activities / Vocabulary 1 Language Introduction and Practice Roleplay				
12回	Hotel 2 (Guest)	Warm-Up Activities / Review / Vocabulary 2 Language Introduction and Practice Roleplay				
13回	Hotel 3 (Receptionist)	Warm-Up Activities / Review of Phrases Language Introduction and Practice Roleplay				
14回	Hotel 4 (Receptionist)	Warm-Up Activities / Review of Phrases Language Introduction and Practice Roleplay				
15回	Hotel 5 Assessment	Assessment (Written and Roleplay)				

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	国際ビジネス科	
科目名	韓国語会話			クラス	C	
担当講師(フルネーム)	権京愛			実務経験	無	
授業概要(内容)	韓国語の自然な発音とアクセントを習得させ、毎回の授業には必ず演習を取り入れ、韓国語の日常会話を学ばせる。			授業形態	講義	
到達目標	初級レベルの会話から始め、日常会話や簡単な接客案内ができる会話力を身につける。					
使用テキスト	韓国語の世界へ(朝日出版社)					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	自己紹介		韓国語で自己紹介をしてみよう			
2回	丁寧表現①		「해요体」			
3回	丁寧表現②		「합니다体」			
4回	授業で使う表現		自分の意思を言う・相手の意思を聞く			
5回	聞いてみよう		聞き取り練習			
6回	買い物		物を買ってみよう			
7回	お店の紹介		行きたいお店や食べたいメニューを調べよう			
8回	注文		食べ物注文してみよう			
9回	趣味		趣味について話してみよう			
10回	尊敬表現①		目上の人との会話練習			
11回	尊敬表現②		上司との会話練習			
12回	電話表現		電話での会話練習			
13回	テスト対策・文化紹介		食べ物やK-POP、韓ドラなどを映像で紹介する			
14回	期末テスト		期末テスト			
15回	まとめ		期末テストのフィードバック			

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	国際ビジネス 科	
科目名	コンピュータ			クラス	C	
担当講師(フルネーム)	乙咩 清美			実務経験	有(通信業界勤務歴)	
授業概要(内容)	タイピング、ビジネスレター(文書、メール等)を繰り返し練習する。 日本のパソコンが問題なく扱えるようになる。			授業形態	講義&演習	
到達目標	キーボード操作のマスター。誤字脱字なく、形式にのっとりた日本のビジネスレターができるようになる。					
使用テキスト	FOM出版 よくわかるWord2019ドリル					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	IT基礎	OAルームの使用について 授業の進め方・その他の確認、ファイルとフォルダの操作・クラウドについて ウィンドウズについて、タイピングスキルチェック、自己紹介カードの入力				
2回	Word基礎	キーボード操作(様々な入力方法やショートカットキーの活用) ビジネス文書作成(社内文書) ※ページ設定、文字書式、文字のコピー・削除・移動など、ファイル保存について				
3回	Word基礎	タイピング練習 ビジネス文書作成(社内文書) ※ビジネス文書の基本など				
4回	Word基礎	タイピング練習 ビジネス文書作成(社内文書) ※表作成、ビジネス文書の基本など				
5回	Word基礎	タイピング練習 ビジネス文書作成(社内文書) ※画像の挿入、図形描画など				
6回	Word基礎	タイピング練習 ビジネス文書作成(社外文書) ※ビジネス文書の基本、箇条書きなど				
7回	Word基礎	タイピング練習 ビジネス文書作成(社外文書) ※ページ設定、文字書式、段落書式(箇条書き・均等割り付け)				
8回	Word基礎	タイピング練習 ビジネス文書作成(社外文書) ※送付状やお礼状の練習				
9回	Word基礎	タイピング練習 短文入力 ビジネス文書作成(社内文書)				
10回	Word基礎	タイピング練習 ビジネス文書作成(社外文書) ※ビジネス文書の基本、箇条書きなど				
11回	Word基礎	タイピング練習 ビジネス文書作成(社外文書) ※送付状やお礼状の練習				
12回	Word基礎	タイピング練習 ビジネス文書作成(チラシ・ポスター作成) ※画像の挿入、図形描画・ワードアートなど				
13回	Word基礎	タイピング練習 ビジネス文書作成(チラシ・ポスター作成) ※画像の挿入、図形描画・ワードアートなど				
14回	Word基礎	タイピング練習 ビジネス文書作成(チラシ・ポスター作成) ※画像の挿入、図形描画・ワードアートなど				
15回	前期期末試験	前期期末試験実施				

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	国際ビジネス科	
科目名	就職活動講座			クラス	C	
担当講師(フルネーム)	友納 真			実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・就職について考える(希望職種・企業)・就職活動の2大テーマ「自己PR・志望動機」 ・企業実習の履歴書を作成する・実習先の企業研究・プレゼンテーションをする 			授業形態	講義&演習	
到達目標	「就職する」ということについて基本的な姿勢を習得し、履歴書の作成ができるようになる					
使用テキスト	専門学校生のための就職内定 基本テキスト/EMPLOYMENT NOTE 2024(就職ノート)					
成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・提出物・課題70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
テーマ		授業内容				
1回 4/10(水)	オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の進め方を説明 ・就職とは何か、学生と社会人の違いを考える 				
2回 4/17(水)	自己分析①	<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介 ・自分を知る/紹介する ・自己分析の意義を考える 				
3回 4/24(水)	自己分析②	<ul style="list-style-type: none"> ・自己分析から自身の強み、アピールポイントを見つける ・自身の弱みにも目を向け、どうやってアピールポイントに変えていくか考える 				
4回 5/8(水)	就職閲覧室見学	<ul style="list-style-type: none"> ・IBCの就職活動の流れを説明する ・就職閲覧室の利用、活用方法を説明する 				
5回 5/16(木)	業界研究①	<ul style="list-style-type: none"> ・業界を知る(旅行/ホテル・ブライダル) 				
6回 5/23(木)	業界研究②	<ul style="list-style-type: none"> ・業界を知る(航空/鉄道) 				
7回 5/29(水)	業界研究③	<ul style="list-style-type: none"> ・気になる業種・職種・企業を見つける ・上記について調べ、研究する 				
8回 6/5(水)	履歴書作成①	<ul style="list-style-type: none"> ・履歴書・エントリーシートを作成する意味を考える ・記入する項目を確認する 				
9回 6/12(水)	履歴書作成②	<ul style="list-style-type: none"> ・夏季休暇中に実施する企業実習先に提出する履歴書を作成し・添削する 				
10回 6/19(水)	履歴書作成③	前回の続き				
11回 6/26(水)	履歴書作成④	前回の続き				
12回 7/10(水)	プレゼンテーション準備	<ul style="list-style-type: none"> ・実習先研究をする ・プレゼンテーション資料の作成 				
13回 7/17(水)	プレゼンテーション発表	<ul style="list-style-type: none"> ・実習先のプレゼンテーション発表 				
14回 7/24(水)	実習前教育	<ul style="list-style-type: none"> ・夏季休暇中に実施する企業実習前の教育(要領・注意事項など) 				
15回 7/31(水)	まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・前期講義で学んだことを確認する 				

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	国際ビジネス科	
科目名	TOPIK I			クラス	C	
担当講師(フルネーム)	李尚恩			実務経験	無	
授業概要(内容)	TOPIK過去問, 解き方を工夫して聞き取りや読解練習 토픽 2 연습을 시작하여 2학년 4월에 토픽 2 시험에 도전한다.			授業形態	講義	
到達目標	1年次に全員が TOPIK I 合格を目指す					
使用テキスト						
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30%(小テスト含む) ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	過去問練習1	過去問の中の単語や表現を練習。 聞き取り問題と読解の文法を覚える。				
2回	過去問練習2	過去問の中の単語や表現を練習。 聞き取り問題と読解の文法を覚える。				
3回	過去問練習3	過去問の中の単語や表現を練習。 聞き取り問題と読解の文法を覚える。				
4回	過去問練習4	過去問の中の単語や表現を練習。 聞き取り問題と読解の文法を覚える。				
5回	過去問練習5	過去問の中の単語や表現を練習。 聞き取り問題と読解の文法を覚える。				
6回	過去問練習6	過去問の中の単語や表現を練習。 聞き取り問題と読解の文法を覚える。				
7回	過去問練習7	過去問の中の単語や表現を練習。 聞き取り問題と読解の文法を覚える。				
8回	過去問練習8	過去問の中の単語や表現を練習。 聞き取り問題と読解の文法を覚える。				
9回	過去問練習9	過去問の中の単語や表現を練習。 聞き取り問題と読解の文法を覚える。				
10回	過去問練習10	過去問の中の単語や表現を練習。 聞き取り問題と読解の文法を覚える。				
11回	過去問練習11	過去問の中の単語や表現を練習。 聞き取り問題と読解の文法を覚える。				
12回	過去問練習12	過去問の中の単語や表現を練習。 聞き取り問題と読解の文法を覚える。				
13回	過去問練習13	過去問の中の単語や表現を練習。 聞き取り問題と読解の文法を覚える。				
14回	過去問練習14	過去問の中の単語や表現を練習。 聞き取り問題と読解の文法を覚える。				
15回	復習・期末対策	復習・期末対策				

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	国際ビジネス科	
科目名	TOPIK II			クラス	C	
担当講師(フルネーム)	李尚恩			実務経験	無	
授業概要(内容)	TOPIK IIの過去問を中心とした聞き取り、読解、さらに作文の練習をする 작문 연습을 통하여 읽기.쓰기에 자신감을 갖게 한다.			授業形態	講義	
到達目標	就職活動に有効な高いレベルの級が取れるようにする					
使用テキスト	TOPIK II					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30%(小テスト含む) ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	過去問練習1		単語や表現を練習 聞き取り、文法の理解、作文の練習			
2回	過去問練習2		単語や表現を練習 聞き取り、文法の理解、作文の練習			
3回	過去問練習3		単語や表現を練習 聞き取り、文法の理解、作文の練習			
4回	過去問練習4		単語や表現を練習 聞き取り、文法の理解、作文の練習			
5回	過去問練習5		単語や表現を練習 聞き取り、文法の理解、作文の練習			
6回	過去問練習6		単語や表現を練習 聞き取り、文法の理解、作文の練習			
7回	過去問練習7		単語や表現を練習 聞き取り、文法の理解、作文の練習			
8回	過去問練習8		単語や表現を練習 聞き取り、文法の理解、作文の練習			
9回	過去問練習9		単語や表現を練習 聞き取り、文法の理解、作文の練習			
10回	過去問練習10		単語や表現を練習 聞き取り、文法の理解、作文の練習			
11回	過去問練習11		単語や表現を練習 聞き取り、文法の理解、作文の練習			
12回	過去問練習12		単語や表現を練習 聞き取り、文法の理解、作文の練習			
13回	過去問練習13		単語や表現を練習 聞き取り、文法の理解、作文の練習			
14回	過去問練習14		単語や表現を練習 聞き取り、文法の理解、作文の練習			
15回	復習・期末対策		復習・期末対策			

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	国際ビジネス科	
科目名	韓国語文法			クラス	Cクラス	
担当講師(フルネーム)	権京愛			実務経験	無	
授業概要(内容)	韓国語の体系的な文法の基礎を理解させ、「語彙と表現」及び「文型」練習を通して文章の読み書き能力を養うように務める。			授業形態	講義	
到達目標	さまざまな文法や表現を学んで韓国語の文法を確実に身につける。					
使用テキスト	いよいよ韓国語(朝日出版社)					
成績評価方法	・期末試験50% 平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	ハングル入門①		母音・子音			
2回	ハングル入門②		パッチムの読み書き練習			
3回	ハングル入門③		発音の規則			
4回	1課		「～です、～ですか」・助詞「～は、～が」			
5回	1課		読み書き練習、聞き取り練習			
6回	2課		家族・数字(漢数字)・「～ではありません(か)」・助詞「～も」			
7回	2課		読み書き練習、聞き取り練習			
8回	3課		助数詞・「います(か)、あります(か)」			
9回	3課		読み書き練習、聞き取り練習			
10回	4課		位置と方向と動詞「～ます(か)」・助詞「～に、～で」			
11回	4課		読み書き練習、聞き取り練習			
12回	5課		「해요体と합니다体」・助詞「～を」			
13回	5課		テスト対策・読み書き練習、聞き取り練習			
14回	期末テスト		「期末テスト」・韓国文化体験			
15回	まとめ		期末テストのフィードバック			

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	国際ビジネス科
科目名	英語発音練習			クラス	E-1
担当講師(フルネーム)	Pat Brown			実務経験	
授業概要(内容)	We will practice reading aloud and focus on pronouncing different sounds that many English learners find difficult.			授業形態	講義
到達目標	Students will become able to sound more like native English speakers.				
使用テキスト	<i>Keep Talking</i> (New Edition) by Kazuyo Murata, Yasumi Murata, Mami Otani & Yuka Shigemitsu				
成績評価方法	・毎週のロールプレー70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	Orientation Syllabus Explanation Unit 1	Introducing the Syllabus Icebreaker Is This Seat Taken? - Making Small Talk - Role Plays			
2回	Unit 2	That's A Lovely T-shirt - Compliments Role Plays			
3回	Unit 3	Pardon? - I beg your pardon? Role Plays			
4回	Unit 4	I Really Enjoyed It. - Answering with additional information Role Plays			
5回	Unit 5	Is That Right? - Backchanneling Role Plays			
6回	Unit 6	How About You? - Showing Interest Role Plays			
7回	Unit 7	Thank You So Much - Thanking Role Plays			
8回	Unit 8	Excuse Me, But... - Complaints Role Plays			
9回	Unit 9	This Is My Fault - Apologies Role Plays			
10回	Unit 10	I'd Rather Not Say. - Dealing with undesirable questions Role Plays			
11回	Unit 11	Could You Tell Me The Way To The Station? - Requests Role Plays			
12回	Unit 12	How About Next Sunday? - Requests Role Plays			
13回	Unit 13	I'll Think About It - Saying "No" Role Plays			
14回	Unit 14	That's A Good Idea, But... - Softeners Role Plays			
15回	Unit 15	I'd Better Be Going - How to say goodbye Role Plays			

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	国際ビジネス科	
科目名	リーディング			クラス	C	
担当講師(フルネーム)	秋満 陽子			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	英語リーディングに必要な文法やスキルを身につけ、英文を手際良く読解する力を伸ばす			授業形態	講義	
到達目標	新しい知識と実践的な英語リーディング力をつけ、TOEICのスコアアップを目指す					
使用テキスト	READING PALETTE					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		シラバス・成績評価について 長文読解の基本 ウォームアップテスト			
2回	Chapter 1		Stuffed Toys - Vocabulary & sentence, Reading Passage 文法 - 品詞			
3回	Chapter 2		前回の復習 Chapter 1 小テスト Zipf's Law - Vocabulary & sentence, Reading Passage 文法 - 文の要素			
4回	Review of Chapter 1 & 2		前回の復習 Chapter 2 小テスト Chapter 1 & 2 復習テスト 文法振り返り TOEIC実践問題にチャレンジ			
5回	Chapter 3		前回の復習 What A Team - Vocabulary & sentence, Reading Passage 文法 - 文型			
6回	Chapter 4		前回の復習 Chapter3 小テスト Mickey Saves walt - Vocabulary & sentence, Reading Passage 文法 - 句			
7回	Review of Chapter 3 & 4		前回の復習 Chapter 4 小テスト Chapter 3 & 4 復習テスト 文法振り返り TOEIC実践問題にチャレンジ			
8回	Chapter 5		前回の復習 Superstar Vet - Vocabulary & sentence, Reading Passage 文法 - 節			
9回	Chapter 6		前回の復習 Chapter5 小テスト Smash Hit - Vocabulary & sentence, Reading Passage 文法 - 文の種類			
10回	Review of Chapter 5 & 6		前回の復習 Chapter 6 小テスト Chapter 5 & 6 復習テスト 文法振り返り TOEIC実践問題にチャレンジ			
11回	Chapter 7		前回の復習 I've Never Done That - Vocabulary & sentence, Reading Passage 文法 - 接続詞			
12回	Chapter 8		前回の復習 Chapter 7 小テスト Smells And Treats - Vocabulary & sentence, Reading Passage 文法 - 不定詞・動名詞			
13回	Review of Chapter 7 & 8		前回の復習 Chapter 8 小テスト Chapter 7 & 8 復習テスト 文法振り返り			
14回	期末テスト		前期期末テスト			
15回	前期総括		前期振り返りとまとめ			

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	国際ビジネス科	
科目名	基礎韓国語強化			クラス	C選択	
担当講師(フルネーム)	金 恵貞			実務経験	有(通訳翻訳業界勤務歴)	
授業概要(内容)	韓国語の基本を書く、読む、聞き取りを学ぶ			授業形態	講義	
到達目標	簡単な文章書く、読む、聞くことが出来る					
使用テキスト	アイラブ韓国語					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	基本母音		韓国語の仕組み 基本母音と言葉			
2回	基本子音		子音 子音と母音の言葉言葉			
3回	母音に慣れる		子音と母音 子音と母音の言葉			
4回	激音と濃音		発音の練習 ハングルの表を読む			
5回	パッチム		代表音と発音 連音法則			
6回	二重母音		二重母音の仕組み 発音と単語			
7回	発音の規則		激音化 濃音化 鼻音化			
8回	안녕하세요?		会話 ～はと～です。～ですか			
9回	어디에 있습니까?		会話 「に」「で」 합니다体			
10回	생일이 언제입니까?		会話 韓数字と曜日			
11回	주말에 뭐 해요?		会話 해요体の基本 時の表現			
12回	해요体の基本		変則活用 助詞			
13回	몇 분이세요?		会話 ものの数え方 尊敬語			
14回	뭐 먹을래요?		会話 意思を伝える表現 ～が好きです			
15回	뭐 하고 싶어요?		会話 ～したい。～している ～してみる			

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	国際ビジネス科	
科目名	Grammar 英作文中級			クラス	D	
担当講師(フルネーム)	日高 郁子			実務経験	有	
授業概要(内容)	文法の復習をしながら、英語の文章を読む、書く力を身に着ける。 ※レベルに合わせるためシラバス通りに進まない場合があります。			授業形態	講義	
到達目標	英検の英作文問題やTOEICの長文問題のスコアアップにつなげる					
使用テキスト	Grammar Plus: Two-Page Edition 大学英語『グラマープラス』【コンパクト版】/プリント等					
成績評価方法	期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	"Be" Verb		自己紹介文を書いてみよう			
2回	Simple Present Tense		自分の1日のルーティンを文章にしてみよう			
3回	Simple Past Tense		最近の出来事を文章にしてみよう			
4回	Pronouns&Prepositions		家族のことを文章にしてみよう			
5回	Progressive Tenses		現在進行形を使って文章を作る			
6回	Nouns and Articles& Modals		助動詞を使った文章			
7回	Modals		自分の趣味について書いてみよう			
8回	Suggestions&Commands		自分の特技について書いてみよう			
9回	Simple Future Tense		来週の予定について書いてみよう			
10回	Question Words		質問の仕方と答え方 質問に対して、例を出しながら答える文章を作る			
11回	Tag Questions		付加疑問文の作り方と答え方			
12回	Adjective		形容詞の使い方 自分について描写してみよう			
13回	Adverbs		副詞の使い方			
14回	Comperative		比較級の使い方			
15回	期末テスト		期末テスト(授業中に期末テストを行います)			

対象学年	2年	学期	通年(後期)	学科	国際ビジネス科	
科目名	英会話			クラス	D	
担当講師(フルネーム)	Pat Brown			実務経験	無	
授業概要(内容)	We will practice using everyday English phrases to make conversations. We will ask questions and respond to maintain a long conversation.			授業形態	講義	
到達目標	Students will be able to make small talk in English with native speakers.					
使用テキスト	<i>The English Course, Discussion Book 1</i> (First Edition) by Gary Ireland & Max Wollerton					
成績評価方法	・小テスト70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	Orientation Syllabus Explanation		Warm-Up Talking About Vacations			
2回	Unit 1		Talking About Vacations Asking For and Giving Opinions			
3回	Unit 1		Talking About Vacations Asking For And Giving Opinions			
4回	Unit 1 - Quiz Unit 2		Talking About Vacations - Quiz Movies Understanding criteria			
5回	Unit 2		Movies Understanding criteria			
6回	Unit 2 Unit 2 - Quiz		Movies Understanding criteria Quiz			
7回	Unit 3		Dating Agreeing and Disagreeing			
8回	Unit 3		Dating Agreeing and Disagreeing			
9回	Unit 3 - Quiz Unit 4		Dating - Quiz Part-time Jobs Giving Reasons			
10回	Unit 4		Part-time Jobs Giving Reasons			
11回	Unit 4 Unit 4 - Quiz		Part-time Jobs Giving Reasons Quiz			
12回	Unit 5		Learning English Supporting Your Reasons			
13回	Unit 5		Learning English Supporting Your Reasons			
14回	Unit 5 - Quiz Unit 6		Learning English - Quiz Hopes and Dreams Asking Questions			
15回	Unit 6 Unit 6 - Quiz		Hopes and Dreams Asking Questions Quiz			

対象学年	2年	学期	通年(前期)	学科	国際ビジネス科	
科目名	TOEIC			クラス	D	
担当講師(フルネーム)	七田 多貴子			実務経験	無	
授業概要(内容)	TOEICコーチング式自学トレーニング 実践的に解く力を身につける			授業形態	講義	
到達目標	各自の目標スコアを達成する					
使用テキスト	TOEIC公式問題集10/TOEIC L&R戦略的トレーニング:レベル500/TOEIC L&R TEST 出る単特急銀のフレーズ					
成績評価方法	・期末試験50% 単語熟語テスト30% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		授業の進め方について 単語テストの進め方			
2回	公式問題集10-TEST1 (リーディング)		模擬テスト 単語テスト			
3回	公式問題集10-TEST1 (リーディング)		文法復習 単語テスト			
4回	文法復習(R1-2)リスニング(L1.2)		文法復習 単語テスト			
5回	文法復習(R3.4)/リスニング(L3)		文法復習 単語テスト			
6回	文法復習(R5)リスニング(L4)		文法復習 単語テスト			
7回	リスニング(L4.5.6)		リスニング 単語テスト			
8回	公式問題集10-TEST1(リスニング)		模擬テスト 単語テスト			
9回	公式問題集10-TEST1リスニング復習		模擬テスト復習 単語テスト			
10回	公式問題集10TEST1(リーディング)		模擬テスト 単語テスト			
11回	公式問題集10TEST1(リーディング)復習		模擬テスト復習 単語テスト			
12回	リスニング(PART1.2)シャドーイング		リスニングシャドーイング 単語テスト			
13回	リスニングpart3		リスニング 単語テスト			
14回	リーディングpart6		リーディング 単語テスト			
15回	期末テスト		期末テスト(授業中に期末テストを行います)			

対象学年	2年	学期	通年	学科	国際ビジネス科	
科目名	TOEIC I Listening			クラス	D	
担当講師(フルネーム)	日高 郁子			実務経験	有	
授業概要(内容)	語彙力を高め、音読、シャドウイングなどでリスニング力を強化してスコアアップにつなげる。問題を数多く解き、トレーニングする。 ※レベルに合わせるためシラバス通りに進まない場合があります。			授業形態	講義	
到達目標	各自の目標スコアを達成する。					
使用テキスト	TOEIC L&R戦略的トレーニング:レベル600 / TOEIC L&R TEST 出る単特急 銀のフレーズ(1年で使ったものを継続使用する)/プリント等					
成績評価方法	期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	Part1		1年の復習 Part1の解き方 Part1に特化した単語の総復習			
2回	Part1&2		Part2の解き方 テクニックで解いてみる			
3回	Part3		問題の先読み 問題の取捨選択力を身に付けよう 森問題、木問題の区別			
4回	Part3&1		シチュエーションを想像する 問題をスキャン読みして予測する			
5回	Part4		問題の先読み 問題の取捨選択力を身に付けよう 森問題、木問題の区別			
6回	Part3&4		意図問題の解き方 グラフィック問題の解き方			
7回	Part1&2		Part1&2の正答率を上げる			
8回	Part3		問題の先読み 問題をスキャン読みして予測する			
9回	Part4		シチュエーションを想像する 問題をスキャン読みして予測する			
10回	Part2		同じ問題を3回解いてみよう			
11回	Part3&4		問題の先読み 問題をスキャン読みして予測する シチュエーションを想像する			
12回	模擬テスト (リスニング)		模擬テストリスニング 解答			
13回	模擬テスト復習		模擬テスト復習 解説			
14回	リスニング総復習		前期の復習			
15回	期末テスト		期末テスト(授業中に期末テストを行います)			

対象学年	2年	学期	通年	学科	国際ビジネス科	
科目名	TOEIC II Listening			クラス	D	
担当講師(フルネーム)	日高 郁子			実務経験	有	
授業概要(内容)	語彙力を高め、音読、シャドウイングなどでリスニング力を強化してスコアアップにつなげる。問題を数多く解き、トレーニングする。 ※レベルに合わせるためシラバス通りに進まない場合があります。			授業形態	講義	
到達目標	各自の目標スコアを達成する。					
使用テキスト	TOEIC L&R戦略的トレーニング:レベル600 / TOEIC L&R TEST 出る単特急 銀のフレーズ(1年で使ったものを継続使用する)/プリント等					
成績評価方法	期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	Part1		1年の復習 Part1の解き方 Part1に特化した単語の総復習			
2回	Part1&2		Part2の解き方 テクニックで解いてみる			
3回	Part3		問題の先読み 問題の取捨選択力を身に付けよう 森問題、木問題の区別			
4回	Part3&1		シチュエーションを想像する 問題をスキャン読みして予測する			
5回	Part4		問題の先読み 問題の取捨選択力を身に付けよう 森問題、木問題の区別			
6回	Part3&4		意図問題の解き方 グラフィック問題の解き方			
7回	Part1&2		Part1&2の正答率を上げる			
8回	Part3		問題の先読み 問題をスキャン読みして予測する			
9回	Part4		シチュエーションを想像する 問題をスキャン読みして予測する			
10回	Part2		同じ問題を3回解いてみよう			
11回	Part3&4		問題の先読み 問題をスキャン読みして予測する シチュエーションを想像する			
12回	模擬テスト (リスニング)		模擬テストリスニング 解答			
13回	模擬テスト復習		模擬テスト復習 解説			
14回	リスニング総復習		前期の復習			
15回	期末テスト		期末テスト(授業中に期末テストを行います)			

対象学年	2年	学期	通年(前期)	学科	国際ビジネス科
科目名	オンライン英会話			クラス	Dクラス
担当講師(フルネーム)	久保田 博子			実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	英語でロジカルに説明するための「主張→根拠→結論」という型を繰り返し練習し定着させる			授業形態	講義&演習
到達目標	さまざまな分野のトピックで意見を述べる				
使用テキスト	予習・復習プリント Logical Speaking Standard 2nd Edition WORKBOOK(ロジカルスピーキング)				
成績評価方法	・オンラインレッスン評価60% アセスメント25% 平常点15% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	× 期末試験なし				
	テーマ	授業内容			
1回	トピックトーク 中級	Lesson1 School(学校) Learning English(英語学習)・Classes(授業)・After School(放課後)・Lunch(昼食)			
2回	トピックトーク 中級	Lesson13 Relationship(人間関係) Partners(パートナー)・Family(家族)・Teachers(先生)・Friends(友だち)			
3回	トピックトーク 中級	Lesson14 Money(金銭) Part-time Jobs(アルバイト)・Allowance(おこづかい)・Shopping(買い物)・ Earning and Spending(収入と支出)			
4回	トピックトーク 中級	Lesson18 Rules(ルール) Between Friends(友人間)・School Rules(校則)・Public Transportations(公共交通機関)・ House Rules(家庭ルール)			
5回	トピックトーク 中級	Lesson20 Issues(問題) Internet Addiction(インターネット依存)・Environment(環境)・Disasters(災害)・ Internet Crimes(ネット犯罪)			
6回	ロジカルスピーキング スタンダード	Lesson1 趣味について【自分のこと】			
7回	ロジカルスピーキング スタンダード	Lesson2 行ってみたい都市や国【自分のこと】			
8回	ロジカルスピーキング スタンダード	Lesson3 将来の夢【自分のこと】			
9回	ロジカルスピーキング スタンダード	Lesson4 インターネットは子供に良くないか【テクノロジー】			
10回	ロジカルスピーキング スタンダード	Lesson5 ペットは飼うべきか【動物】			
11回	英検2次試験対策 トレーニング	準1級～3級の2次試験を想定した模擬試験			
12回	ロジカルスピーキング スタンダード	Lesson6 都会は田舎より住みやすいか【社会】			
13回	ロジカルスピーキング スタンダード	Lesson7 小学生から英語を教えることは良いか【言語・教育】			
14回	ロジカルスピーキング スタンダード スピーキングアセスメント	Lesson8 高校生は積極的にアルバイトをすべきか【生活・教育】 スピーキングアセスメント			
15回	ロジカルスピーキング スタンダード	Lesson9 公共交通機関に優先席は必要か【社会】			

対象学年	2年	学期	通年(後期)	学科	国際ビジネス科	
科目名	英会話			クラス	D	
担当講師(フルネーム)	Pat Brown			実務経験	無	
授業概要(内容)	We will practice using everyday English phrases to make conversations. We will ask questions and respond to maintain a long conversation.			授業形態	講義	
到達目標	Students will be able to make small talk in English with native speakers.					
使用テキスト	<i>The English Course, Discussion Book 1</i> (First Edition) by Gary Ireland & Max Wollerton					
成績評価方法	・小テスト70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	Orientation Syllabus Explanation		Warm-Up Talking About Vacations			
2回	Unit 1		Talking About Vacations Asking For and Giving Opinions			
3回	Unit 1		Talking About Vacations Asking For And Giving Opinions			
4回	Unit 1 - Quiz Unit 2		Talking About Vacations - Quiz Movies Understanding criteria			
5回	Unit 2		Movies Understanding criteria			
6回	Unit 2 Unit 2 - Quiz		Movies Understanding criteria Quiz			
7回	Unit 3		Dating Agreeing and Disagreeing			
8回	Unit 3		Dating Agreeing and Disagreeing			
9回	Unit 3 - Quiz Unit 4		Dating - Quiz Part-time Jobs Giving Reasons			
10回	Unit 4		Part-time Jobs Giving Reasons			
11回	Unit 4 Unit 4 - Quiz		Part-time Jobs Giving Reasons Quiz			
12回	Unit 5		Learning English Supporting Your Reasons			
13回	Unit 5		Learning English Supporting Your Reasons			
14回	Unit 5 - Quiz Unit 6		Learning English - Quiz Hopes and Dreams Asking Questions			
15回	Unit 6 Unit 6 - Quiz		Hopes and Dreams Asking Questions Quiz			

対象学年	2年	学期	通年(前期)	学科	国際ビジネス科	
科目名	コンピュータMOS			クラス	D	
担当講師(フルネーム)	財津克宜			実務経験	有(IT業界勤務歴)	
授業概要(内容)	Microsoft Excelの基本操作や機能について演習を行いながら学ぶ			授業形態	講義	
到達目標	Microsoft Excelの基本操作や機能を正しく理解し将来の仕事においても活用できるようにする					
使用テキスト	よくわかる Microsoft Excel 2019 ドリル					
成績評価方法	期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2	
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	基礎演習	「Excelの基礎知識」について演習を行いながら学ぶ				
2回	基礎演習	「データの入力」について演習を行いながら学ぶ				
3回	基礎演習	「表の作成」について演習を行いながら学ぶ				
4回	基礎演習	「数式の入力」について演習を行いながら学ぶ				
5回	基礎演習	「複数シートの操作」について演習を行いながら学ぶ				
6回	基礎演習	「表の印刷」について演習を行いながら学ぶ				
7回	基礎演習	「グラフの作成」について演習を行いながら学ぶ				
8回	基礎演習	「データベースの利用」について演習を行いながら学ぶ				
9回	基礎演習	「便利な機能」について演習を行いながら学ぶ				
10回	応用演習	「関数の利用」について演習を行いながら学ぶ				
11回	応用演習	「表作成の活用」について演習を行いながら学ぶ				
12回	応用演習	「グラフの活用」について演習を行いながら学ぶ				
13回	応用演習	「グラフィックの利用」について演習を行いながら学ぶ				
14回	前期のまとめ	前期の振り返りとまとめ 期末テスト対策				
15回	期末テスト実施	期末テスト実施 期末テストの解答と解説				

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	国際ビジネス科・夜間総合観光科
科目名	就職筆記試験対策			クラス	DY
担当講師(フルネーム)	前田 恭子			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	毎回実践問題に取り組み、苦手分野や不足している知識を確認する			授業形態	講義
到達目標	WEBテスト、適性検査、時事問題にも対応できる実力をつける				
使用テキスト	朝日キーワード就職2025 最新時事用語 & 一般常識				
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	内定への近道はない	内定獲得に近道はありません。得点は学習量に比例します。 ・授業の進め方、評価方法について ・実践テストの解答と解説			
2回	必ず復習する	問題を解いたままにしませんか。復習して暗記しない限り、また同じ間違えをします。 ・実践テストの解答と解説 ・一般常識 一問一答テスト ・適性検査			
3回	漢字は不可欠	就職試験でも社会人になっても漢字は不可欠です。 ・実践テストの解答と解説 ・一般常識 一問一答テスト ・適性検査			
4回	情報の分析	先輩の受験報告書を活用して、志望企業の過去問を分析しましょう。 ・実践テストの解答と解説 ・一般常識 一問一答テスト ・適性検査			
5回	初めてに慌てない	見慣れない問題でも対応できるよう、例題を見て即時対応ができるよう練習しましょう。 ・実践テストの解答と解説 ・一般常識 一問一答テスト ・適性検査			
6回	苦手の克服	誰にでも苦手分野があります。諦めないで苦手を克服しましょう。 ・実践テストの解答と解説 ・一般常識 一問一答テスト ・適性検査			
7回	得意を伸ばす	あなたの得意分野は何ですか。得意分野は確実に点数を取りましょう。 ・実践テストの解答と解説 ・一般常識 一問一答テスト ・適性検査			
8回	時間配分	全体量を見て、時間配分を考えて解きましょう。 ・実践テストの解答と解説 ・一般常識 一問一答テスト ・適性検査			
9回	みんなができる問題	みんなができる問題が解けないと、内定への道が遠のきます。ケアレスミスに気をつけましょう。 ・実践テストの解答と解説 ・一般常識 一問一答テスト ・適性検査			
10回	ニュースを気にする	ニュースを毎日チェックしていますか。多方面にアンテナを張りましょう。 ・実践テストの解答と解説 ・一般常識 一問一答テスト ・適性検査			
11回	ニュースを読む	時事問題で扱われる地名は必ず場所を確認するようにしましょう。 ・実践テストの解答と解説 ・一般常識 一問一答テスト ・適性検査			
12回	自分の意見を持つ	時事問題について自分なりの意見を言えるように知識を深めましょう。 ・実践テストの解答と解説 ・一般常識 一問一答テスト ・適性検査			
13回	他人の意見を聞く	新聞のコラムや社説を読んで、他人の意見にも耳を傾けましょう。 ・実践テストの解答と解説 ・一般常識 一問一答テスト ・適性検査			
14回	目標を持つ	内定だけが勉強の目標ではありません。何を目標に勉強しているか考えましょう。 ・実践テストの解答と解説 ・一般常識 一問一答テスト ・適性検査			
15回	社会人へのスタート	社会人にふさわしい一般常識は身につきましたか。社会問題にも目を向けて勉強を続けましょう。 ・実践テストの解答と解説 ・一般常識 一問一答テスト ・適性検査			

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	国際ビジネス科
科目名	就職活動講座			クラス	D
担当講師(フルネーム)	田中友加利			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・受験企業の絞り込みと、面接対策のフォローアップをする。 ・内定後の取り組みと入社後に最低限必要な知識を身につける。 			授業形態	講義
到達目標	・志望する企業への内定を勝ち取る。				
使用テキスト	・「専門学校生のための就職内定基本テキスト」・就職ノート				
成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・提出物・授業態度・身だしなみ・出席率により評価 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 			単位数	2
期末試験	× 期末試験なし				
	テーマ	授業内容			
1回	オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の就職活動状況を把握する。 ・前期授業内容及び評価方法説明 			
2回	受験企業の志望動機/面接対策	<ul style="list-style-type: none"> ・受験企業の志望動機作成(なぜ、希望するのか。自分がどのようなことを実現させたいか) ・受験企業の志望動機を完成させる。/・基礎面接対策 			
3回	受験企業の志望動機/面接対策	<ul style="list-style-type: none"> ・受験企業の志望動機作成(なぜ、希望するのか。自分がどのようなことを実現させたいか) ・受験企業の志望動機を完成させる。/・基礎面接対策 			
4回	受験企業の志望動機/面接対策	<ul style="list-style-type: none"> ・受験企業の志望動機作成(なぜ、希望するのか。自分がどのようなことを実現させたいか) ・受験企業の志望動機を完成させる。/・基礎面接対策 			
5回	受験企業の志望動機/GD対策	<ul style="list-style-type: none"> ・希望受験先の魅力 ・希望受験先の改善点 ・GD対策 			
6回	企業研究・面接対策	<ul style="list-style-type: none"> ・現状の個別活動状況中間報告を行い、それぞれが抱える問題点の洗い出しを行う。 ・個々人の状況に応じた疑問や質問に対して答えていく。 			
7回	企業研究・面接対策	<ul style="list-style-type: none"> ・現状の個別活動状況中間報告を行い、それぞれが抱える問題点の洗い出しを行う。 ・個々人の状況に応じた疑問や質問に対して答えていく。 			
8回	企業研究・面接対策	<ul style="list-style-type: none"> ・現状の個別活動状況中間報告を行い、それぞれが抱える問題点の洗い出しを行う。 ・個々人の状況に応じた疑問や質問に対して答えていく。 			
9回	企業研究・面接対策	<ul style="list-style-type: none"> ・現状の個別活動状況中間報告を行い、それぞれが抱える問題点の洗い出しを行う。 ・個々人の状況に応じた疑問や質問に対して答えていく。 			
10回	企業研究・面接対策	<ul style="list-style-type: none"> ・内定者と未定者とを分け、内定者にはプリントを配布し作成させる。 ・内定未定者に対し個別指導を行う。 			
11回	企業研究・面接対策	<ul style="list-style-type: none"> ・内定者と未定者とを分け、内定者にはプリントを配布し作成させる。 ・内定未定者に対し個別指導を行う。 			
12回	企業研究・面接対策	<ul style="list-style-type: none"> ・内定者と未定者とを分け、内定者にはプリントを配布し作成させる。 ・内定未定者に対し個別指導を行う。 			
13回	企業研究・面接対策	<ul style="list-style-type: none"> ・内定者と未定者とを分け、内定者にはプリントを配布し作成させる。 ・内定未定者に対し個別指導を行う。 			
14回	入社後に必要なこと	<ul style="list-style-type: none"> ・就業規則とは何か ・組織について最小限の知識を身につける。 			
15回	入社後に必要なこと	<ul style="list-style-type: none"> ・税金の仕組み ・給与の仕組み 			

対象学年	2年	学期	通年(前期)	学科	国際ビジネス科	
科目名	選択TOEIC II			クラス	D	
担当講師(フルネーム)	大神 香寿沙			実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	TOEICのリスニングを主とし、問題形式に慣れ、総合的なリスニング力をつける。			授業形態	講義	
	TOEIC頻出の表現を理解する。					
到達目標	各自のTOEIC目標スコアを達成する。					
使用テキスト	公式TOEIC Listening&Reading トレーニング リスニング編					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	授業の目的と進め方、評価方法について説明する。 実力テスト				
2回	Section1	リスニング問題を解き、問題形式に慣れ、出題傾向を習得していく。 練習問題の実施 TOEIC単語・フレーズの復習				
3回	Section2	リスニング問題を解き、問題形式に慣れ、出題傾向を習得していく。 練習問題の実施 TOEIC単語・フレーズの復習				
4回	Section3	リスニング問題を解き、問題形式に慣れ、出題傾向を習得していく。 練習問題の実施 TOEIC単語・フレーズの復習				
5回	Section4	リスニング問題を解き、問題形式に慣れ、出題傾向を習得していく。 練習問題の実施 TOEIC単語・フレーズの復習				
6回	Section5	リスニング問題を解き、問題形式に慣れ、出題傾向を習得していく。 練習問題の実施 TOEIC単語・フレーズの復習				
7回	Section6	リスニング問題を解き、問題形式に慣れ、出題傾向を習得していく。 練習問題の実施 TOEIC単語・フレーズの復習				
8回	Section7	リスニング問題を解き、問題形式に慣れ、出題傾向を習得していく。 練習問題の実施 TOEIC単語・フレーズの復習				
9回	Section8	リスニング問題を解き、問題形式に慣れ、出題傾向を習得していく。 練習問題の実施 TOEIC単語・フレーズの復習				
10回	Section9	リスニング問題を解き、問題形式に慣れ、出題傾向を習得していく。 練習問題の実施 TOEIC単語・フレーズの復習				
11回	Section10	リスニング問題を解き、問題形式に慣れ、出題傾向を習得していく。 練習問題の実施 TOEIC単語・フレーズの復習				
12回	リーディング	リスニング問題を解き、問題形式に慣れ、出題傾向を習得していく。 練習問題の実施 TOEIC単語・フレーズの復習				
13回	復習	TOEIC単語・フレーズの総まとめ 実力テスト				
14回	期末試験	リスニング問題を解き、問題形式に慣れ、出題傾向を習得していく。 練習問題の実施 TOEIC単語・フレーズの復習				
15回	まとめと復習	期末試験 理解度の確認 前期の復習				

対象学年	2年	学期	通年(前期)	学科	国際ビジネス科	
科目名	TOPIK対策 I			クラス	D2	
担当講師(フルネーム)	李尚恩			実務経験	無	
授業概要(内容)	TOPIK II の過去問を中心とした聞き取り、読解、さらに作文の練習をする			授業形態	講義	
到達目標	就職活動に有効な高いレベルの級が取れるようにする					
使用テキスト	新合格できる韓国語能力試験 TOPIK II (アスク出版社)					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30%(小テスト含む) ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	過去問練習	過去問の中の単語や表現を練習する。 聞き取り問題と解解の文法を覚える。				
2回	過去問練習	過去問の中の単語や表現を練習する。 聞き取り問題と解解の文法を覚える。				
3回	過去問練習	過去問の中の単語や表現を練習する。 聞き取り問題と解解の文法を覚える。				
4回	過去問練習	過去問の中の単語や表現を練習する。 聞き取り問題と解解の文法を覚える。				
5回	過去問練習	過去問の中の単語や表現を練習する。 聞き取り問題と解解の文法を覚える。				
6回	過去問練習	過去問の中の単語や表現を練習する。 聞き取り問題と解解の文法を覚える。				
7回	過去問練習	過去問の中の単語や表現を練習する。 聞き取り問題と解解の文法を覚える。				
8回	過去問練習	過去問の中の単語や表現を練習する。 聞き取り問題と解解の文法を覚える。				
9回	過去問練習	過去問の中の単語や表現を練習する。 聞き取り問題と解解の文法を覚える。				
10回	過去問練習	過去問の中の単語や表現を練習する。 聞き取り問題と解解の文法を覚える。				
11回	過去問練習	過去問の中の単語や表現を練習する。 聞き取り問題と解解の文法を覚える。				
12回	過去問練習	過去問の中の単語や表現を練習する。 聞き取り問題と解解の文法を覚える。				
13回	過去問練習	過去問の中の単語や表現を練習する。 聞き取り問題と解解の文法を覚える。				
14回	過去問練習	過去問の中の単語や表現を練習する。 聞き取り問題と解解の文法を覚える。				
15回	期末試験	復習・期末試験				

対象学年	2年	学期	通年(前期)	学科	国際ビジネス科	
科目名	ビジネス英語			クラス	D	
担当講師(フルネーム)	Pat Brown			実務経験	無	
授業概要(内容)	We will look at how to interact with people at work face-to-face and by e-mail. We will do role plays and listening practice.			授業形態	講義	
到達目標	Students will be able to interact with customers and co-workers in English.					
使用テキスト	<i>Business Venture - Student Book</i> by Roger Bernard and Jeff Gady - Oxford University Press					
成績評価方法	・テスト(2)40%、E-メール30%、平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	Syllabus Explanation Introduction to Writing E-mails		Introduction and explanation of this semester's goals and the lesson flow Introducing the basic elements of business e-mail writing Practice writing a business e-mail.			
2回	Unit 1		Checking In An Hotel Learn phrases, practice listening and do role plays. Write an e-mail about a reservation.			
3回	Unit 1 Unit 2		Checking In An Hotel (continued) At A Trade Fair Practice asking for information at a trade fair. Write an e-mail.			
4回	Unit 2 Unit 3		At A Trade Fair (continued) Schedules Asking about meetings and practicing saying the time. Write e-mail about schedules.			
5回	Unit 3 Unit 5		Schedules (continued) Meeting People Learn to introduce yourself and other people and making small talk			
6回	Unit 5 Unit 6		Meeting People (continued) In The Office Building vocabulary for office furniture and tools. Write an e-mail.			
7回	Unit 6 Unit 7		In The Office (continued) Work Learn about duties in the office and the different jobs. Write an e-mail.			
8回	Unit 7 中期テスト		Work (continued) Write an e-mail about a job and duties. Mid-Term Test			
9回	Unit 8		Appointments Learn how to make an appointment and saying dates. Listening practice & role plays. Write an e-mail about an appointment.			
10回	Unit 8 Unit 9		Appointments (continued) Directions & Shopping Asking for and giving directions and talking about money. Write e-mail.			
11回	Unit 9 Unit 11		Directions & Shopping (continued) Reservations Learn to make hotel, car and restaurant reservations. Write an e-mail.			
12回	Unit 10 Unit 11		Reservations (continued) Requests & Offers Learn how to ask people to do something and offer to do something for others. Write an e-mail.			
13回	Unit 11 Unit 12		Requests & Offers (continued) Socializing Practice interacting appropriately with co-workers and customers.			
14回	Unit 12		Socializing (continued) Write and e-mail about social event.			
15回	期末試験		Written Test			

対象学年	2年	学期	通年(後期)	学科	国際ビジネス科	
科目名	韓国語会話			クラス	D2	
担当講師(フルネーム)	金 恵貞			実務経験	有(通訳翻訳業界勤務歴)	
授業概要(内容)	習った単語や文型を使って実用的な会話練習をし、話すスキルを習得する			授業形態	講義	
到達目標	実際の会話に活用する					
使用テキスト	できる韓国語 初級 I・II 会話トレーニング					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	만나서 반갑습니다.	[입니다] [이/가 아닙니다] 初対面の挨拶				
2回	이건 책이에요.	指示語 縮約語				
3回	가방은 책상 위에 있어요.	位置名詞 道案内 ~にあります・います				
4回	영화를 보고 밥을 먹습니다.	~습니다 ~고 ~지 않습니다				
5回	얼마예요?	漢字語数字 固有数字				
6回	회사까지 버스로 가요.	해요体 目的地に行く方法				
7回	한국에 갔어요.	過去形 国名				
8回	성함이 어떻게 되세요?	尊敬語 自己紹介				
9回	여기는 넓지만 저기는 좁습니다.	文作り 韓国と日本 反対語				
10回	뭘 먹고 싶어요?	~고 싶어요 ~고 싶어해요 インタビュー				
11回	전화해도 돼요?	~아/어도 돼요 ~기 때문에				
12回	스키 타러갈까요?	~아/어서 ~고				
13回	매일 책을 읽는 사람은 누구예요?	動詞の連体形 形容詞の連体形				
14回	예측 인물설명	~(으)ㄴ 편이다 ~(으)ㄴ 것 같다				
15回	間接話法	~다고해요 ~자고해요 ~라고해요				

対象学年	2年	学期	通年(前期)	学科	国際ビジネス科	
科目名	英語で日本文化紹介			クラス	D-1	
担当講師(フルネーム)	Pat Brown			実務経験	無	
授業概要(内容)	Students will role play YouTubers explaining about Japanese culture to foreigners. They will work in pairs.			授業形態	講義	
到達目標	Students will be able to explain about their culture with confidence.					
使用テキスト	No textbook. Handouts will be given to students.					
成績評価方法	・発表70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	Orientation Syllabus Explanation Basic Phrases	Warm-Up Introduction and explanation of this semester's goals and the lesson flow Introduce basic phrases when explaining, listing and demonstrating.				
2回	Japanese Language	Review of basic phrases used when explaining, listing and demonstrating. Basic phrases used in everyday conversations. Start preparing vlog explaining and demonstrating Japanese language.				
3回	Japanese Language	Finish preparing script for vlog Practice the role plays. Record vlogs.				
4回	Japanese Food	Introduce some popular food that foreigners usually like or want to try. Learn relevant vocabulary Start preparing vlog explaining about Japanese food and etiquette.				
5回	Japanese Food	Finish preparing script for vlog Practice the role plays. Record vlogs.				
6回	Japanese Art & Music	Introduce 1 Japanese artform (for example, calligraphy, painting, pottery, kabuki, bon odori etc.) Vocabulary associated with it. Start preparing vlog explaining about Japanese art and music.				
7回	Japanese Art & Music	Finish preparing script for vlog Practice the role plays. Record vlogs.				
8回	Japanese Festivals	Introduce 1 famous and popular festivals in Japan and relevant phrases associated with them. Explain what is done at these festivals and why? Start preparing vlog explaining and demonstrating Japanese festivals.				
9回	Japanese Festivals	Finish preparing script for vlog Practice the role plays. Record vlogs.				
10回	Japanese Pop Culture	Introduce 1 aspect of Japanese pop culture such as anime, manga, J-F Relevant vocabulary and phrases. Start preparing vlog explaining about Japanese pop				
11回	Japanese Pop Culture	Finish preparing script for vlog Practice the role plays. Record vlogs.				
12回	Japanese Sports & Recreation	Introduce 1 sport and 1 recreational activity that's popular in Japan Relevant vocabulary and phrases. Start preparing vlog explaining about Japanese sports and recreational activities.				
13回	Japanese Sports & Recreation	Finish preparing script for vlog Practice the role plays. Record vlogs.				
14回	Japanese Holidays	Introduce and explain about 2 Japanese holidays. Vocabulary associated with them. Start preparing vlog explaining about Japanese holidays				
15回	Japanese Holidays	Finish preparing script for vlog Practice the role plays. Record vlogs.				

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	国際ビジネス科	
科目名	韓国文化研究			クラス	D	
担当講師(フルネーム)	李尚恩			実務経験	無	
授業概要(内容)	韓国の歴史、伝統、習慣、社会、文化、政治など全ての分野を理解し、韓国と外国の文化的特性と違いを理解する。			授業形態	講義	
到達目標	韓国語及び韓国の文化への理解を深め、より国際的な眼目を養う。韓国の文化や社会などの教養を涵養し、異文化とは何かその一面を理解する。					
使用テキスト	ワイワイ話そう中級韓国語					
成績評価方法	平常点100% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	1
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	취미생활		나의 취미생활 발표 한국 사람들의 취미			
2回	좋아하는 TV, 영화		한국영화 감상 감상소감 발표			
3回	내가 잘하는 것		나의 장점을 한국어로 발표			
4回	한국의 연휴		한국의 중요 연휴			
5回	추억여행		추억여행과 한국여행에 대해서			
6回	한국의 음식		한국의 식사			
7回	동네 소개하기		한국의 거리와 일본의 거리			
8回	아르바이트하기		아르바이트에 한국사람이 왔을 때			
9回	친구사귀기		한국친구 사귀기			
10回	추석		추석에 대해서			
11回	한국의 정치		일본정치와의 구조 비교			
12回	추천하고 싶은 물건		일본의 추천하고 싶은 물건 소개			
13回	패션		한국과일본의 다양한 패션			
14回	교통		한국의 교통에 대해서			
15回	나의 꿈		나의 꿈			

ITビジネス

学年	科目名
1	ITリテラシー基本用語Ⅰ
1	基本情報技術者試験対策Ⅰ
1	Pythonプログラミング基礎Ⅰ
1	Javaプログラミング基礎Ⅰ
1	SQLプログラミング/データベース作
1	ITインフラ構築(仮想マシン構築)
1	AI活用ChatGPT/API連携Ⅰ
1	楽しいIT技術(VR/AR/MR/メタバ
1	ITパスポート試験対策Ⅰ
1	楽しく学ぶプログラミング(入門)
1	セルフマネジメント
1	就職活動講座

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	ITビジネス科	
科目名	ITリテラシー基本用語			クラス	G	
担当講師(フルネーム)	財津克宜			実務経験	有(IT業界勤務歴)	
授業概要(内容)	IT関連の基本用語を正しく理解する			授業形態	講義	
到達目標	IT関連の基本用語を正しく理解し仕事や実生活においても活用できるようにする					
使用テキスト	見るだけIT用語図鑑278 SBクリエイティブ					
成績評価方法	期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	現代がわかるIT用語		キャッシュレス、ブロックチェーンなどについて正しく理解する			
2回	現代がわかるIT用語		仮想通貨、DXなどについて正しく理解する			
3回	現代がわかるIT用語		MaaS、SDGsなどについて正しく理解する			
4回	現代がわかるIT用語		人工知能(AI)、機械学習などについて正しく理解する			
5回	現代がわかるIT用語		ディープラーニング(深層学習)、データサイエンスなどについて正しく理解する			
6回	コンピューターがわかる基本用語		CPU、クロックとコア、入力と出力などについて正しく理解する			
7回	コンピューターがわかる基本用語		OSとアプリケーションソフトウェア、ファイルとディレクトリなどについて正しく理解する			
8回	コンピューターがわかる基本用語		レジストリ、バックアップ、記憶装置、RAMとROM、SSDとHDD、RAIDなどについて正しく理解する			
9回	コンピューターがわかる基本用語		リソース、プロセス、タスクなどについて正しく理解する			
10回	コンピューターがわかる基本用語		NAS、USB、SDカード、ピクセル、RGB、HDMI、液晶と有機ELなどについて正しく理解する			
11回	ニュースを読むためのIT用語		VR(仮想現実)、AR(拡張現実)、MR(複合現実)などについて正しく理解する			
12回	ニュースを読むためのIT用語		ライドシェア、クラウドファンディングなどについて正しく理解する ヘルステック(医療テック)、アグリテック(スマート農業)などについて正しく理解する			
13回	ニュースを読むためのIT用語		教育テック(EdTech)、HRテックなどについて正しく理解する B2B、B2C、C2B、C2Cなどについて正しく理解する			
14回	前期のまとめ		前期の振り返りとまとめ 期末テスト対策			
15回	期末テスト実施		期末テスト実施 期末テストの解答と解説			

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	ITビジネス科	
科目名	基本情報技術者試験対策 I			クラス	G	
担当講師(フルネーム)	財津克宜			実務経験	有(IT業界勤務歴)	
授業概要(内容)	基本情報技術者資格取得に向けての対策および過去問にチャレンジする ※科目A試験免除に向けての対策も実施する			授業形態	講義	
到達目標	基本情報技術者資格取得					
使用テキスト	基本情報技術者試験対策教材セット(科目A+アルゴ+問題集セット) ウイネット					
成績評価方法	期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	コンピュータの基礎知識		コンピュータとは			
2回	コンピュータの基礎知識		「コンピュータの種類と五大装置」について学ぶ			
3回	コンピュータの数値表現		「コンピュータ内部の情報表現」について学ぶ			
4回	コンピュータの数値表現		「基数変換」について学ぶ			
5回	コンピュータの数値表現		「補数」について学ぶ			
6回	コンピュータの数値表現		「数値表現」について学ぶ 演習問題を解く			
7回	ハードウェア		「プロセッサ」について学ぶ			
8回	ハードウェア		「論理演算と論理回路」について学ぶ			
9回	ハードウェア		「記憶装置」について学ぶ			
10回	ハードウェア		「入出力インターフェース」について学ぶ			
11回	ハードウェア		「入出力装置」について学ぶ 演習問題を解く			
12回	システムの構成要素		「システムの評価指標」について学ぶ 「システムの構成」について学ぶ			
13回	システムの構成要素		「システムの構成」について学ぶ 「ソフトウェアの分類とOS」について学ぶ			
14回	前期のまとめ		前期の振り返りとまとめ 期末テスト対策			
15回	期末テスト実施		期末テスト実施 期末テストの解答と解説			

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	ITビジネス科	
科目名	Pythonプログラミング基礎			クラス	G	
担当講師(フルネーム)	財津克宜			実務経験	有(IT業界勤務歴)	
授業概要(内容)	Pythonプログラミングの基礎を学ぶ			授業形態	講義	
到達目標	Pythonプログラミングを通してAIなども開発できるスキルを身に着ける					
使用テキスト	プログラムの作りかた Python 基礎編 Lv.1 実教出版					
成績評価方法	期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	第1章 Pythonプログラミングの基礎	「画面表示とデータ入力」について学ぶ				
2回	第1章 Pythonプログラミングの基礎	「変数とリスト」について学ぶ				
3回	第1章 Pythonプログラミングの基礎	「順次処理と選択処理」について学ぶ				
4回	第1章 Pythonプログラミングの基礎	「繰り返し処理」について学ぶ				
5回	第1章 Pythonプログラミングの基礎	「関数」について学ぶ 演習問題を解く				
6回	第2章 Pythonのデータ構造	「リストの活用」について学ぶ				
7回	第2章 Pythonのデータ構造	「タプルの活用」について学ぶ				
8回	第2章 Pythonのデータ構造	「集合の活用」について学ぶ				
9回	第2章 Pythonのデータ構造	「辞書の活用」について学ぶ				
10回	第2章 Pythonのデータ構造	「削除の方法」について学ぶ 演習問題を解く				
11回	第3章 Pythonのファイル処理	「ファイルの扱い」について学ぶ				
12回	第3章 Pythonのファイル処理	「データの入出力」について学ぶ				
13回	第3章 Pythonのファイル処理	「ファイルの読み込み」について学ぶ 「読み込んだファイルへの書き込み」について学ぶ				
14回	前期のまとめ	前期の振り返りとまとめ 期末テスト対策				
15回	期末テスト実施	期末テスト実施 期末テストの解答と解説				

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	ITビジネス科	
科目名	Javaプログラミング基礎			クラス	G	
担当講師(フルネーム)	濱田裕美(コンフォニイ)			実務経験	有(IT業界勤務歴)	
授業概要(内容)	オブジェクト指向の代表言語であるJavaの基礎を最初から優しく丁寧に学習を進める			授業形態	講義	
到達目標	Javaプログラミングの基礎を固める					
使用テキスト	初級Java ～やさしいJava～					
成績評価方法	期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	はじめてのプログラミング	Javaプログラミングについて学ぶ Eclipseを利用したJavaプログラミングについて学ぶ 練習問題				
2回	Javaの基礎知識	変数について学ぶ 変数の宣言と使い方について学ぶ				
3回	Javaの基礎知識	プログラムで計算させてみよう 文字列と真偽値について学ぶ				
4回	Javaの基礎知識	オブジェクトについて学ぶ オブジェクトの定義と使い方について学ぶ				
5回	Javaの基礎知識	練習問題				
6回	図形を表示する	塗りつぶした四角形を描く 四角形をいくつか描いてみる				
7回	図形を表示する	さまざまな色で描く 塗りつぶした楕円を描く 四角形と楕円を同時に描く				
8回	図形を表示する	文字列を書く 練習問題				
9回	繰り返し・条件判断	図形をたくさん描く while文を利用する				
10回	繰り返し・条件判断	for文を利用する if文を利用する				
11回	繰り返し・条件判断	練習問題				
12回	アニメーションを作る	図形をゆっくり表示する 図形を動かす(アニメーション)				
13回	アニメーションを作る	図形をいろいろな方向に動かす 練習問題				
14回	前期のまとめ	前期の振り返りとまとめ 期末テスト対策				
15回	期末テスト実施	期末テスト実施 期末テストの解答と解説				

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	ITビジネス科
科目名	SQLプログラミング/データベース作成			クラス	G
担当講師(フルネーム)	濱田裕美(コンフォニイ)			実務経験	有(IT業界勤務歴)
授業概要(内容)	データベース構築とSQL言語を使用してデータベースを操作する方法についての学習を進める			授業形態	講義
到達目標	データの取り扱いから運用方法、SQL言語まで確かな知識を習得する				
使用テキスト	図解まるわかり データベースのしくみ				
成績評価方法	期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	データベースの基本	データベースの概要をつかむ			
2回	データの保存形式	リレーショナルデータベースの特徴について学ぶ			
3回	データベースの構築	MySQLのインストールとセットアップ			
4回	データベースを操作する	SQL言語の4大命令(1)「SELECT」文について学ぶ SQL言語の4大命令(2)「UPDATE」文について学ぶ (参考文献: スッキリわかるSQL入門)			
5回	データベースを操作する	SQL言語の4大命令(3)「DELETE」文について学ぶ SQL言語の4大命令(4)「INSERT」文について学ぶ (参考文献: スッキリわかるSQL入門)			
6回	データベースを操作する	操作する行の絞り込みについて学ぶ (参考文献: スッキリわかるSQL入門)			
7回	データベースを操作する	検索結果の加工について学ぶ (参考文献: スッキリわかるSQL入門)			
8回	データベースを操作する	式と関数について学ぶ (参考文献: スッキリわかるSQL入門)			
9回	データを管理する	不正なデータを防ぐための機能について学ぶ (参考文献: スッキリわかるSQL入門)			
10回	データベースを導入する	データベースの構成とテーブル設計について学ぶ			
11回	データベースを運用する	安全な運用を目指すために			
12回	データベースを守るための知識	トラブルとセキュリティ対策について学ぶ			
13回	データベースを活用する	アプリケーションからデータベースを使う			
14回	前期のまとめ	前期の振り返りとまとめ 期末テスト対策			
15回	期末テスト実施	期末テスト実施 期末テストの解答と解説			

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	ITビジネス科	
科目名	インフラ構築			クラス	G	
担当講師(フルネーム)	財津克宜			実務経験	有(IT業界勤務歴)	
授業概要(内容)	サーバー/クライアントシステム、仮想マシン、ネットワークなどのインフラの基本について実技を進めながら学ぶ			授業形態	講義	
到達目標	プログラム開発のみならずITインフラエンジニアとしての将来もターゲットになるようにする					
使用テキスト	自作テキストなど					
成績評価方法	期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2	
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	【実技】 パソコン基礎	パソコン初期セットアップについて学び実際に実施する				
2回	【実技】 パソコン基礎	システム設定について学び実際に使ってみる				
3回	【実技】 パソコン基礎	コントロールパネルパネルについて学び実際に使ってみる				
4回	【実技】 パソコン基礎	各種アプリケーションについて学び実際に使ってみる				
5回	【実技】 パソコン基礎	リモートデスクトップ接続について学び実際に使ってみる				
6回	【実技】 パソコン基礎	ファイルサーバーについて学び実際に使ってみる				
7回	【実技】 サーバー構築	Webサーバーについて学び実際に使ってみる				
8回	【実技】 サーバー構築	メールサーバーなどその他のサーバーについて学び実際に使ってみる				
9回	【実技】 サーバー構築	仮想マシン(仮想サーバー)について学び実際に使ってみる				
10回	【実技】 サーバー構築	LinuxOSのサーバーについて学び実際に使ってみる				
11回	【実技】 クラウド利用	AWSの基本的な使い方について学び実際に使ってみる				
12回	【実技】 クラウド利用	AWSの実践方法について学び実際に使ってみる				
13回	【実技】 クラウド利用	IaaS/PaaS/SaaSについて学び実際に使ってみる その他のクラウドサービスについて学び実際に使ってみる				
14回	前期のまとめ	前期の振り返りとまとめ 期末テスト対策				
15回	期末テスト実施	期末テスト実施 期末テストの解答と解説				

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	ITビジネス科	
科目名	AI活用			クラス	G	
担当講師(フルネーム)	財津克宜			実務経験	有(IT業界勤務歴)	
授業概要(内容)	ChatGPTの正しい使用方法を学ぶ			授業形態	講義	
到達目標	今後の私たちの生活・ビジネスに確実に浸透していくであろう生成AIを活用できるようにする					
使用テキスト	ゼロからはじめる なるほど! ChatGPT活用術 技術評論社					
成績評価方法	期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2	
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	ChatGPTの基礎知識	ChatGPTってなに? ChatGPTの仕組み				
2回	ChatGPTの基礎知識	ChatGPTを使えるようにする ChatGPTの使い方 無償版と有償版の違い				
3回	ChatGPTでできること	ChatGPTと対話する テキストを生成する 情報を検索する				
4回	ChatGPTでできること	文章を翻訳する ソースコードを生成する				
5回	ChatGPTを使ってみよう	プロンプトとは 目的を明確にしてテキストを生成する 条件を明示し文章を要約する				
6回	ChatGPTを使ってみよう	文字数を調整する 理由や根拠、方法論を尋ねる 別の方法を提案させる				
7回	ChatGPTを使ってみよう	役割を与える Excelの関数について教えてもらう さまざまな言語でプログラムを生成する				
8回	ChatGPTを使ってみよう	画像生成AIのプロンプトをつくる				
9回	ChatGPTビジネス活用法	販売・営業 × ChatGPT 商品企画・マーケティング × ChatGPT				
10回	ChatGPTビジネス活用法	小売・ECサイト × ChatGPT 起業家・経営者 × ChatGPT				
11回	ChatGPTビジネス活用法	SE・プログラマー × ChatGPT 教育関係者 × ChatGPT コンテンツ制作 × ChatGPT				
12回	ChatGPTの拡張と他のAIツール	ブラウジング機能を使う プラグインを使う				
13回	ChatGPTの拡張と他のAIツール	Phoneアプリを使う ChatGPTを組み込んだサービス Stable Diffusion(について学ぶ)				
14回	前期のまとめ	前期の振り返りとまとめ 期末テスト対策				
15回	期末テスト実施	期末テスト実施 期末テストの解答と解説				

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	ITビジネス科	
科目名	楽しいIT技術			クラス	G	
担当講師(フルネーム)	財津克宜			実務経験	有(IT業界勤務歴)	
授業概要(内容)	今期はメタバースや自動車の自動運転などの新しいIT技術について楽しくかつ研究的に学習を進める			授業形態	講義	
到達目標	自動運転などを実現するIT技術についての知識を深めより一層の興味や探求心を向上させる					
使用テキスト	図解ポケット メタバースがよくわかる本					
成績評価方法	期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2	
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	【研究】 メタバース	メタバースとは? メタバースとWeb3				
2回	【研究】 メタバース	メタバースとXR ソーシャルVRにおけるアバター				
3回	【研究】 メタバース	注目のメタバース 企業のメタバース活用事例				
4回	【研究】 メタバース	メタバースで稼ぐ SDGs的な視点から見たメタバース				
5回	【研究】 メタバース	メタバースの問題とリスク				
6回	【研究】 ドローン	ドローンの基礎知識 (参考文献:ドローンビジネス 成功の方程式)				
7回	【研究】 ドローン	さまざまな業界で活躍するドローン (参考文献:ドローンビジネス 成功の方程式)				
8回	【研究】 ドローン	ドローンビジネスを始めるにあたり (参考文献:ドローンビジネス 成功の方程式)				
9回	【研究】 自動運転のためのIT技術	自動運転における「位置の特定」について理解をすすめる 自動運転における「認識技術」について理解をすすめる				
10回	【研究】 自動運転のためのIT技術	自動運転における「人工知能(AI)」について理解をすすめる 自動運転における「予測」について理解をすすめる				
11回	【研究】 自動運転のためのIT技術	自動運転における「プランニング」について理解をすすめる 自動運転における「ドライバーのモニタリング」について理解をすすめる				
12回	【研究】 自動運転のためのIT技術	自動運転における「通信」について理解をすすめる 自動運転における「HMI(ヒューマン・マシン・インターフェイス)」について理解をすすめる				
13回	【研究】 自動運転のためのIT技術	自動運転における「サイバーセキュリティ」について理解をすすめる 自動運転における「データの処理」について理解をすすめる				
14回	前期のまとめ	前期の振り返りとまとめ 期末テスト対策				
15回	期末テスト実施	期末テスト実施 期末テストの解答と解説				

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	ITビジネス科	
科目名	ITパスポート			クラス	G	
担当講師(フルネーム)	野見山 朋尚			実務経験	無	
授業概要(内容)	ITパスポート試験に向けて出題範囲を学び、演習問題や過去問題にチャレンジする。前期はテクノロジー分野を中心。			授業形態	講義	
到達目標	ITパスポート試験に合格する。					
使用テキスト	よくわかるマスター 令和6-7年度版 ITパスポート試験 対策テキスト&過去問題集(FOM出版)					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	ITパスポート試験の概要	ITパスポート試験の概要を理解する 試験を構成する3分野の概要を理解する 授業の概要や合格に向けての勉強方法を伝える				
2回	基礎理論	離散数学を学ぶ 応用数学を学ぶ 情報に関する理論を学ぶ				
3回	アルゴリズムとプログラミング	データ構造を学ぶ アルゴリズムとプログラミングを学ぶ マークアップ言語を学ぶ				
4回	コンピュータ要素 システム構成要素	コンピュータの仕組みを理解する プロセッサ・記憶装置・入力デバイスを学ぶ システムの構成を学ぶ				
5回	ソフトウェア ハードウェア	OSやファイル管理を学ぶ オープンソースソフトウェアを学ぶ ハードウェアを学ぶ				
6回	情報デザイン 情報メディア	情報デザインを学ぶ マルチメディア技術を学ぶ マルチメディア応用を学ぶ				
7回	データベース(1)	データベース方式を学ぶ データベース設計を学ぶ				
8回	データベース(2)	データ操作を学ぶ トランザクション処理を学ぶ				
9回	ネットワーク(1)	ネットワーク方式を学ぶ 通信プロトコルを学ぶ				
10回	ネットワーク(2)	ネットワーク応用を学ぶ				
11回	セキュリティ(1)	情報セキュリティを学ぶ				
12回	セキュリティ(2)	情報セキュリティ管理を学ぶ				
13回	セキュリティ(3)	情報セキュリティ対策を学ぶ 情報セキュリティ実装技術を学ぶ				
14回	表計算 テクノロジー分野まとめ	表計算ソフトの機能を学ぶ 式やセル参照、関数を学ぶ テクノロジー分野の重要項目のおさらい				
15回	期末試験	期末試験を行う 期末試験を通して、テクノロジー分野の理解を深める				

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	ITビジネス科
科目名	楽しく学ぶプログラミング			クラス	G
担当講師(フルネーム)	若松 亮佑			実務経験	有(IT業界勤務歴)
授業概要(内容)	Webでプレゼンや3Dサイト・3Dミニゲームをプログラミングする。 JavaScript、HTML、CSS、ライブラリについて楽しく学ぶ。			授業形態	講義
到達目標	JavaScript、HTML、CSS、ライブラリを使って3Dサイト作成・3Dプログラミングができるようになる。				
使用テキスト	独自作成				
成績評価方法	・小テスト30% 成果物40% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	オリエンテーション・AR体験	オリエンテーション(会社・講師紹介、授業の進め方・評価について) AR・VR・MRIについて学ぶ Ai.R Cord・チャギプロ を体験する オリジナルステージを作成して、ペアで対決する			
2回	HTMLで作るプレゼンテーション	環境作成 エディタ VisualStudioCode、ソース管理 Git Web、HTML、CSS(スタイルシート)について学ぶ JavaScriptの基礎を学ぶ、reveal.jsの基礎を学ぶ			
3回	〃	reveal.jsの基礎を学ぶ(復習) 自己紹介プレゼンをreveal.js(HTML、CSS、JavaScript)で作成する			
4回	〃	reveal.jsの様々な機能について学ぶ 自己紹介プレゼンをreveal.js(HTML、CSS、JavaScript)で作成する			
5回	〃	自己紹介プレゼンをreveal.js(HTML、CSS、JavaScript)で作成する 発表 人数×10分 小テスト(Web、HTML、CSS、JavaScript基礎) 理解度を確認する			
6回	Three.js で作る3Dサイト	three.jsについて学ぶ シーン、モデルについて学ぶ JavaScriptの基礎を学ぶ(復習)			
7回	〃	three.jsについて学ぶ(復習) three.jsを使って3Dサイトを作成する			
8回	〃	three.jsを使って3Dサイトを作成する			
9回	〃	three.jsを使って3Dサイトを作成する。発表準備を行う。 発表 人数×10分 小テスト(Javascript基礎、three.js) 理解度を確認する			
10回	3Dミニゲームを作ろう!	Playcanvas について理解する。Playcanvas ID を作成する 3Dモデルについて理解する。(3Dボタン作成、地面・ドローン・3Dテキスト設置)			
11回	〃	PlayCanvas・JavaScriptによる3Dテキスト表示・音声制御について学ぶ PlayCanvas・JavaScriptによるアニメーション制御について学ぶ PlayCanvas・JavaScriptによる物理モデルについて学ぶ			
12回	〃	3Dミニゲームを作成する 3Dミニゲームの案を練る⇒技術的に可能な範囲か先生に相談ください			
13回	〃	Webで3Dステージを作ろう!(復習) 3Dミニゲームを作成する			
14回	〃	3Dミニゲームを作成する。			
15回	〃	チームで3Dミニゲームを作成する。発表準備を行う 発表 人数×10分 小テスト(3Dモデル、3Dテキスト表示・音声制御、アニメーション制御、物理モデル) 理解度を確認する			

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	ITビジネス科	
科目名	セルフマネジメント			クラス	G	
担当講師(フルネーム)	野見山 朋尚			実務経験	無	
授業概要(内容)	ビジネスパーソンが身につけておく必要があるセルフマネジメントについて学ぶ。			授業形態	講義	
到達目標	授業を通してセルフマネジメントを理解する。自分の人生目標を決めて、実現に向けて実行する。					
使用テキスト	ドラッカー・スクールのセルフマネジメント教室(プレジデント社)					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	セルフマネジメントの概要		セルマネジメントを学ぶ理由を理解する セルフマネジメントの概要を理解する			
2回	ドラッカーのマネジメント論		社会学者P・F・ドラッカーを理解する ドラッカーのマネジメント論の概要を知る			
3回	ストレス		ストレスを学ぶ 自分のストレスを理解する ストレスを学ぶ減らす方法を理解する			
4回	感情		感情について理解を深める 自分の感情を把握する グラウティングを学ぶ			
5回	休息		休息の重要性を理解する 戦略的な休息を学ぶ 呼吸について理解を深める			
6回	神経系のマネジメント		交感神経と副交感神経を理解する 過覚醒と低覚醒を理解する			
7回	リゾーシング		レジリエンス・ゾーンを学ぶ リゾーシングについて理解する リゾーシングを実際に行う			
8回	マインドレスネス		マインドレスネスの状態を理解する マインドレスネスの良い効果を理解する オートパイロットを学ぶ			
9回	マインドフルネス		マインドフルネスを理解する マインドフルネスの手法を学ぶ 集中力を養う方法を学ぶ			
10回	望んでいない結果を変える		自分の人生において望んでいない結果を考える 自分の人生において望む結果を考える			
11回	IRマップと逆算思考		望んでいない結果を望む結果へと近づける考え方を理解する 自分なりのIRマップを作成する 目標から手段を考える逆算思考を理解する			
12回	思い込みを変える		思い込みにとらわれないことを理解する 自分の思い込みを把握し、思い込みから脱却して変化できることを理解する			
13回	変化を前提にする		変化に柔軟に対応できる必要性の理解を深める 今後どのような変化が起こるのかを考えてみる			
14回	アプリケーションリスト		アプリケーションリストの概要を学ぶ 自分のアプリケーションリストを作成する			
15回	期末試験		期末試験を行う。 期末試験を通して、セルフマネジメントへの理解を深める			

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	ITビジネス科	
科目名	就職活動講座			クラス	G	
担当講師(フルネーム)	財津克宜			実務経験	有(IT業界勤務歴)	
授業概要(内容)	仕事とキャリアの考え方から自己分析、企業研究、面接対策まで、専門生が就職活動に際して知っておくべきノウハウを学習			授業形態	講義	
到達目標	就職活動能力のレベルアップ					
使用テキスト	専門学校生のための就職内定基本テキスト 日本能率協会マネジメントセンター					
成績評価方法	期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	就職活動	就職活動へのアプローチ				
2回	就職活動	就職活動の流れを知ろう				
3回	自己分析	自分を知ろう				
4回	自己分析	自分を知ってキャリアを考えよう				
5回	自己アピール	自己アピールの方法を身に着けよう				
6回	自己アピール	自己アピールの方法を身に着けよう				
7回	会社研究	様々な会社の事業内容を知ろう				
8回	会社研究	様々な会社の事業内容を知ろう				
9回	会社研究	福岡や九州など地元の会社の事業内容を知ろう				
10回	会社研究	様々な会社の業務以外の雇用労働条件や福利厚生サービスなどを知ろう				
11回	筆記試験対策	様々な筆記試験について知ろう				
12回	履歴書	履歴書を書き方を学ぼう				
13回	履歴書	履歴書を書いてみよう				
14回	面接対策	面接の受け方を学ぼう				
15回	面接対策	面接を実践してみよう				

夜間総合観光

学年	科目名
1	マナープロトコール
1	就職対策
1	コンピュータ
1	観光業界研究
1	観光地理
1	危険物取扱者
2	観光マーケティング
2	面接対策
2	観光地理
2	ITリテラシー

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	夜間総合観光科	
科目名	マナープロトコール			クラス	Z選択	
担当講師(フルネーム)	金森 和彦			実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	授業を通して社会人になった際の知識(国際儀礼・文化)を事前に身につける			授業形態	講義	
到達目標	国際人としての一般知識を身につける					
使用テキスト	マナー&プロトコールの基礎知識					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	マナーとは何か	マナー、エチケット、礼儀、作法の違いやプロトコールを学ぶ意義 新入社員としての多様性の事態のマナーについて				
2回	マナーの歴史と意味	日本の礼儀、作法の成り立ち 西洋のマナー、エチケットの成り立ち アジアのマナーの特徴				
3回	マナーの歴史と意味	日本の礼儀、作法の成り立ち 西洋のマナー、エチケットの成り立ち アジアのマナーの特徴				
4回	国際人としてのプロトコール	プロトコールの原則 具体的な席次 異文化コミュニケーション				
5回	国際人としてのプロトコール	プロトコールの原則 具体的な席次 異文化コミュニケーション				
6回	社会人として必要なマナー	好印象を与えるコミュニケーションとは 礼装の基準 手紙のマナー				
7回	社会人として必要なマナー	好印象を与えるコミュニケーションとは 礼装の基準 手紙のマナー				
8回	ビジネスシーンのマナー	ビジネスマナーの必要性 社会人としての心構え 来客対応				
9回	ビジネスシーンのマナー	ビジネスマナーの必要性 社会人としての心構え 来客対応				
10回	食事のマナー	食事の作法の基準 和食のマナー 和室の作法				
11回	お酒のマナー	お酒の種類 ワインの基礎知識 その他のお酒				
12回	国際儀礼について	国際人としての振る舞いについて				
13回	国際儀礼について	主要国の文化の違い				
14回	国際儀礼について	宗教における風習の違い				
15回	まとめ	新入社員として、必要なマナーを習得する				

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	夜間総合観光科	
科目名	就職対策			クラス	Zクラス	
担当講師(フルネーム)	金森和彦			実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	就職活動に向けて意識を高め、具体的な行動と準備ができるようになる。 この授業はLHRと平行して行う			授業形態	講義	
到達目標	就職活動に必要な必要事項の完成を目指す					
使用テキスト	就職ノート					
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 平常点(授業態度 就職活動の姿勢)80% レポート・演習20%				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ	授業内容				
1回	就職活動の心構え	就職活動とは・学生と社会人の違い・なぜ働くのか？ 採用の基準(求められる人材・一緒に働きたい人とは)				
2回	就職活動の基本	入社試験の内容と流れ 就職活動のルール 当学科の2年間				
3回	自己分析	あなたのモットー・座右の銘は？				
4回	自己分析	キャリアプラン・ライフプラン 自身の経験をもとに自己分析を行なう 入学理由・業界や職種に興味を持ったきっかけ				
5回	自己分析	もっとも打ち込んだ事は？ 現在の生活状況やアルバイトから自身の強みを考える				
6回	自己分析	自身はクラスメイトからどのように思われている？ 前回までの授業の続き				
7回	自己PR	自己PRの作り方				
8回	自己PR	パーソナルチェック(挫折経験・ストレス解消法・趣味・特技)				
9回	質問事例	接客・サービス・おもてなしについての質問 感動のサービス・お客様に満足していただくためには				
10回	質問事例	職業観についての質問				
11回	コミュニケーションスキル	自分の意見を伝えるためには…「結論から話す」 結論から話す練習				
12回	企業研究	働きたい会社を見つけて志望動機につなげる				
13回	履歴書作成	履歴書の記入項目と書き方 文章のまとめ方・志望動機と自己PR以外の項目の書き方				
14回	履歴書作成	志望動機&自己PR完成				
15回	まとめ	履歴書完成				

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	夜間総合観光 科
科目名	コンピュータ			クラス	Z
担当講師(フルネーム)	乙咩 清美			実務経験	有(通信業界勤務歴)
授業概要(内容)	タイピング、ビジネスレター(文書、メール等)を繰り返し練習する。 ビジネス文書のルール、ファイル管理を練習する。			授業形態	講義&演習
到達目標	Microsoft Wordの基礎知識を学び、タイピングスキルと、就活や社会人として必要なITスキルを身につける				
使用テキスト	実教出版 30時間でマスターOffice2019				
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	IT基礎	OAルームの使用について 授業の進め方・その他の確認、ファイルとフォルダの操作・クラウドについて ウィンドウズについて、タイピングスキルチェック、自己紹介カードの入力			
2回	Word基礎	キーボード操作(様々な入力方法やショートカットキーの活用) ビジネス文書作成(社内文書) ※ページ設定、文字書式、文字のコピー・削除・移動など、ファイル保存について			
3回	Word基礎	タイピング練習 ビジネス文書作成(社内文書) ※表作成、ビジネス文書の基本など			
4回	Word基礎	タイピング練習 ビジネス文書作成(社内文書) ※画像の挿入、図形描画など			
5回	Word基礎	タイピング練習 ビジネス文書作成(社外文書) ※ビジネス文書の基本、箇条書きなど			
6回	Word基礎	タイピング練習 ビジネス文書作成(社外文書) ※ページ設定、文字書式、段落書式(箇条書き・均等割り付け)			
7回	Word基礎	タイピング練習 ビジネス文書作成(ビジネスレター、ビジネスメール) ※ビジネスメールの基本、書き方			
8回	Word基礎	タイピング練習 ビジネス文書作成(ビジネスレター、ビジネスメール) ※ビジネスメールの基本、書き方			
9回	Word基礎	タイピング練習 ビジネス文書作成(チラシ・ポスター作成) ※画像の挿入、図形描画・ワードアートなど			
10回	Word基礎	タイピング練習 ビジネス文書作成(チラシ・ポスター作成) ※画像の挿入、図形描画・ワードアートなど			
11回	Word基礎	タイピング練習 ビジネス文書作成(今までの復習)			
12回	前期期末試験	前期期末試験実施			
13回	PowerPoint基礎	パワーポイントの画面構成と基本操作 スライド編集 文字入力と装飾、図形・画像などコンテンツの挿入と編集 スライド編集 スライドショーのための効果(アニメーション、画面切替、サウンド、ビデオなど)			
14回	PowerPoint基礎	スライド4枚程度のショートストーリー作成			
15回	PowerPoint基礎	スライド4枚程度のショートストーリー作成・仕上げ			

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	夜間総合観光科	
科目名	観光業界研究			クラス	Zクラス	
担当講師(フルネーム)	金森和彦			実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	【旅行】旅行業界の知識・販売・添乗について講義 【エアライン】航空業界の知識・空港、航空機、業種について講義			授業形態	講義	
到達目標	旅行・エアラインの基礎知識を習得する					
使用テキスト	観光学基礎 JTB総合研究所					
成績評価方法	【旅行】確認テスト実施(70%)+平常点(小テスト含む)(30%) / 【エアライン】確認テスト実施(80%)+平常点(20%) ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	旅行①	旅行とは？旅行業の歴史、観光業界の中の旅行業 旅行業界を取り巻く環境、課題をテーマに講義				
2回	旅行②	旅行会社の概説 各旅行会社の形態と業務内容、ブランドについて知る 旅行会社の求人について				
3回	旅行③	基礎知識① <鉄道> JRとは？JR各社と路線(新幹線・在来線特急)、営業規則を確認 JR時刻表の使い方				
4回	旅行④	基礎知識② <航空> 国内線の航空会社、路線、運賃種別、営業規則を確認				
5回	旅行⑤	基礎知識③ <フェリー・バス> 日本国内のフェリー会社、路線、バスの種別を確認				
6回	旅行⑥	旅行業界の業界用語、言い回し 旅行パンフレットの見方、カウンターでのロールプレイを通して実践				
7回	旅行⑦	添乗業務／業務の流れ(準備・添乗・精算)、添乗あいさつ、案内の言い回しなどをロールプレイを通して実践				
8回	確認テスト	確認テストを実施。 授業のまとめ、振り返り				
9回	エアラインビジネス	航空業界に対するイメージの意見交換を行う 航空会社の業務とそれを取り巻く関連会社の業務について学ぶ 空港の旅客、貨物取扱能力について学ぶ				
10回	航空業界とは	航空輸送事業の歴史と近年の動向について学ぶ 航空会社の新規参入と格安航空会社(LCC)の台頭について学ぶ 航空会社グループ化の進展(アライアンス)について学ぶ				
11回	空港業務の概要	空港の種類、機能及び施設について学ぶ 航空会社及び関連会社について学ぶ 航空機の歴史、活躍中の航空機及び将来の航空機について学ぶ				
12回	航空業界の仕事	JAL・ANAグループ航空会社とハンドリング会社の組織と業務内容について説明し学ぶ 日本に就航している格安航空会社について学ぶ				
13回	航空業界の仕事	旅客業務の一般的な流れについて学ぶ 運行管理業務、ステーション・コーディネーション業務について学ぶ 運行支援業務(グランドハンドリング業務)について学ぶ				
14回	航空業界の仕事	整備業務、ケータリング業務について学ぶ 航空貨物業務について学ぶ 航空保安対策基準について学ぶ				
15回	確認テスト	航空業界の今後の動向について学ぶ 確認テストを実施 授業のまとめ				

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	夜間総合観光科	
科目名	観光地理			クラス	T	
担当講師(フルネーム)	牟田口 真理子			実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	国内管理者対策(実務 国内地理)対策			授業形態	講義	
到達目標	国内管理者対策(実務 国内地理)の合格点取得					
使用テキスト	国内旅行実務(国内観光資源)					
成績評価方法	取り組む姿勢、期末試験 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	山岳、峠・峡谷・渓谷		解説と例題にチャレンジ			
2回	滝・鍾乳洞、高原・湿原		解説と例題にチャレンジ			
3回	湖・沼・池、河川		解説と例題にチャレンジ			
4回	岬・半島、海岸・砂丘・島		解説と例題にチャレンジ			
5回	温泉と鉄道最寄り駅、 神社・寺院		解説と例題にチャレンジ			
6回	庭園・名園、 歴史上有名な合戦城		解説と例題にチャレンジ			
7回	美術館・博物館、 文学作品とその舞台		解説と例題にチャレンジ			
8回	テーマパーク、祭り、名産品		解説と例題にチャレンジ			
9回	陶磁器、城		解説と例題にチャレンジ			
10回	空港、世界遺産、 ラムサール条約		解説と例題にチャレンジ			
11回	国立公園、国定公園		解説と例題にチャレンジ			
12回	文化財、重要伝統的建造 物群保存地区		解説と例題にチャレンジ			
13回	知っておきたい名数、旧国名		解説と例題にチャレンジ			
14回	都道府県と県庁所在地、 日本の百選		解説と例題にチャレンジ			
15回	まとめ・期末試験		模擬試験			

対象学年	2年	学期	通年(前期)	学科	夜間総合観光科
科目名	観光マーケティング			クラス	Y
担当講師(フルネーム)	牟田口 真理子			実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	マーケティングを理解するための用語を学ぶ。 関心ある企業の取組みについて調べ発表する。			授業形態	講義
到達目標	観光業界(旅行、エアライン、ホテル)についての基礎知識。マーケティングについての理解をし 身の回りの取組みについて理解する。				
使用テキスト	プリント				
成績評価方法	・期末試験50% 平常点30% 提出物20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	マーケティングとは	マーケティングの定義 4Pと4C 旅行会社の誕生			
2回	マーケティングミックス	マーケティングの実例 マーケティングコンセプト 旅行商品の種類			
3回	マーケティングコンセプト	ニーズを読み取る ターゲティング 旅行会社の職種			
4回	商品購入プロセス	購買意思決定サービス マーケティングに役立つ行動心理学 航空業界の歴史			
5回	商品購入プロセス	旅行商品が顧客に届くまで マーケティングに役立つ行動心理学 航空業界知識			
6回	販売の手法	価格について マーケットシェア マーケティングに役立つ行動心理学 航空業界知識			
7回	販売の環境	SWOT分析 ホテル業界の知識			
8回	商品の衰退	プロダクトライフサイクル ホテル業界の知識			
9回	商品の紹介	プロモーションミックス ホテル業界の知識			
10回	付加価値	観光地ブランディング 新しい観光の流れ			
11回	顧客の心をつかむ	カスタマーリレーションシップ Bto B、BtoC			
12回	発表準備	プレゼンテーション PPT作成			
13回	発表	興味ある企業の取組みについて調べ発表			
14回	発表	興味ある企業の取組みについて調べ発表 ※1～11週のプリントを提出			
15回	期末試験				

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	夜間総合観光科
科目名	面接対策			クラス	Y
担当講師(フルネーム)	牟田口真理子			実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	それぞれの進路目標に沿って受験準備を進める。			授業形態	講義
到達目標	志望企業への内定。				
使用テキスト	専門学校生のための就職内定基本テキスト				
成績評価方法	・授業態度、提出物 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	× 期末試験なし				
	テーマ		授業内容		
1回	自分史History	就職試験の流れ、会社に提出する書類について確認しよう マイナビに登録しよう。気になる企業を登録しよう ①自分史Historyを書こう			
2回	自分の特徴	新着求人案内 マイナビ長所短所診断をしてみよう ②自分の特徴を書いてみよう			
3回	自己PR	新着求人案内 適性診断をしてみよう ③自己PRを書いてみよう			
4回	志望動機	新着求人案内 お願い他己診断をしてみよう ④志望動機を書いてみよう			
5回	学生時代に力を入れたこと	新着求人案内 全国一斉WEB模擬試験にチャレンジ ⑤学生時代に力を入れたこと			
6回	エントリーシート	新着求人案内 ⑥エントリーシート作成			
7回	エントリーシート	新着求人案内 エントリーシート作成			
8回	職務経歴書	新着求人案内 ⑦職務経歴書作成			
9回	職務経歴書	新着求人案内 職務経歴書作成			
10回	郵送物のマナー	新着求人案内 メールや郵便を送る際のマナーを知ろう ⑧企業宛ての封筒やメールを書いてみよう			
11回	グループディスカッション	新着求人案内 グループディスカッションのポイントを知ろう 実際にディスカッションをやってみよう			
12回	オンライン面接	新着求人案内 オンライン面接の際の注意事項を知ろう 実際にオンライン面接をやってみよう			
13回	動画面接	新着求人案内 ⑨自己紹介動画を作成してみよう			
14回	内定お礼状	新着求人案内 内定お礼状の書き方を知ろう ⑩実際に内定お礼状を書いてみよう			
15回	まとめ	就職活動を振り返ってみよう ①～⑩の提出			

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	夜間総合観光科
科目名	観光地理			クラス	Yクラス
担当講師(フルネーム)	金森和彦			実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	地域ごとの国々・主な都市及び都市コードを白地図に記入 有名観光地の映像を見る			授業形態	講義
到達目標	日本の地域・国々・主な都市・有名観光地を覚える				
使用テキスト	国内観光地理サブノート				
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	九州の概要説明	九州各県の経済、特徴について説明			
2回	福岡県(観光、空港情報)	九州の中心地、福岡の経済について説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 スリーレター、国内線、国際線紹介			
3回	佐賀県(観光、空港情報)	有田焼など焼き物文化について説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 スリーレター、国内線、国際線紹介			
4回	長崎県(観光、空港情報)	南蛮文化、長崎の世界遺産群の説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 スリーレター、国内線、国際線紹介			
5回	大分県(観光、空港情報)	日本屈指の温泉地について説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 スリーレター、国内線、国際線紹介			
6回	熊本県(観光、空港情報)	阿蘇山の観光資源について説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 スリーレター、国内線、国際線紹介			
7回	宮崎県(観光、空港情報)	高千穂など神々の歴史について説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 スリーレター、国内線、国際線紹介			
8回	鹿児島県(観光、空港情報)	幕末の薩摩藩の歴史について説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 スリーレター、国内線、国際線紹介			
9回	沖縄県(観光、空港情報)	沖縄リゾートについて説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 スリーレター、国内線、国際線紹介			
10回	広島県(観光、空港情報)	世界遺産厳島神社について説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 スリーレター、国内線、国際線紹介			
11回	兵庫県(観光、空港情報)	世界遺産姫路城について説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 スリーレター、国内線、国際線紹介			
12回	香川県(観光、空港情報)	金毘羅さんなどの観光地説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 スリーレター、国内線、国際線紹介			
13回	高知県(観光、空港情報)	よさこい祭りの歴史について説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 スリーレター、国内線、国際線紹介			
14回	愛媛県(観光、空港情報)	道後温泉など観光地説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 スリーレター、国内線、国際線紹介			
15回	まとめ	まとめ 期末試験について			

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	夜間総合観光科
科目名	ITリテラシー			クラス	Yクラス
担当講師(フルネーム)	金森 和彦			実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	観光業界におけるDXの現状把握 パソコンの高度な活用法について説明			授業形態	講義
到達目標	近年のAI技術の必要性を理解し観光業界において今後必要な専門知識を習得する				
使用テキスト	基盤モデルで進化するAI 日経BP				
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	AIを身近に知る	ITパスポート内容 便利なパソコン操作術 ChatGPTについて理解する 観光業のDXの展開			
2回	AI最新動向	ITパスポート内容 便利なパソコン操作術 産業を変えるすごいAI図鑑 AI活用に潜むリスク			
3回	AI最新動向	ITパスポート内容 便利なパソコン操作術 AIの精度を左右する3技術 プライバシー保護の切り札			
4回	AI最新動向	ITパスポート内容 便利なパソコン操作術 数値最適化で意思決定 AIモデルと処理の軽量化			
5回	AI注目事項	ITパスポート内容 便利なパソコン操作術 画像AIが大きく進化した技術について			
6回	AI注目事項	ITパスポート内容 便利なパソコン操作術 各業界で活躍するAIシステム			
7回	AI注目事項	ITパスポート内容 便利なパソコン操作術 学習効果をAIで進化させる仕組み			
8回	AI活用の最新手法	ITパスポート内容 便利なパソコン操作術 これからのDXについて解説			
9回	AI活用の最新手法	ITパスポート内容 便利なパソコン操作術 疑似言語の理解			
10回	AI活用の最新手法	ITパスポート内容 便利なパソコン操作術			
11回	AI活用の最新手法	ITパスポート内容 便利なパソコン操作術 セキュリティシステムの最適化			
12回	AIプロジェクトを成功に導く	ITパスポート内容 便利なパソコン操作術			
13回	AIプロジェクトを成功に導く	ITパスポート内容 便利なパソコン操作術 AI Drivenの成熟度について解説			
14回	AIプロジェクトを成功に導く	ITパスポート内容 便利なパソコン操作術 AIガバナンスで安全運用			
15回	まとめ	まとめ 期末試験について			

